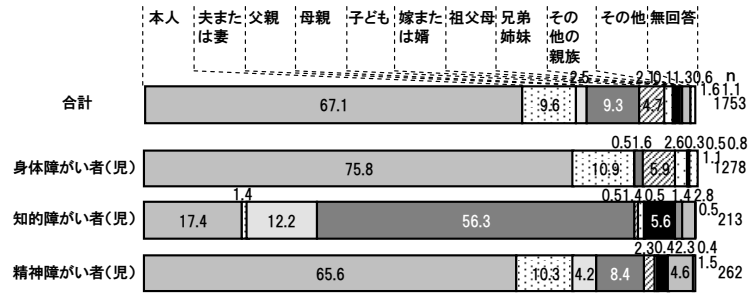
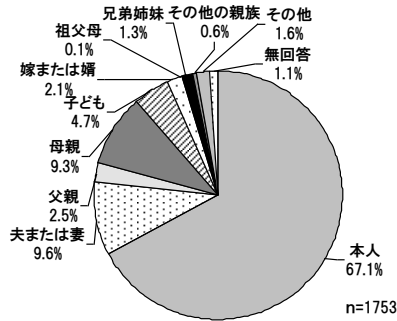


# 1. アンケートにお答えになる(記載される)方

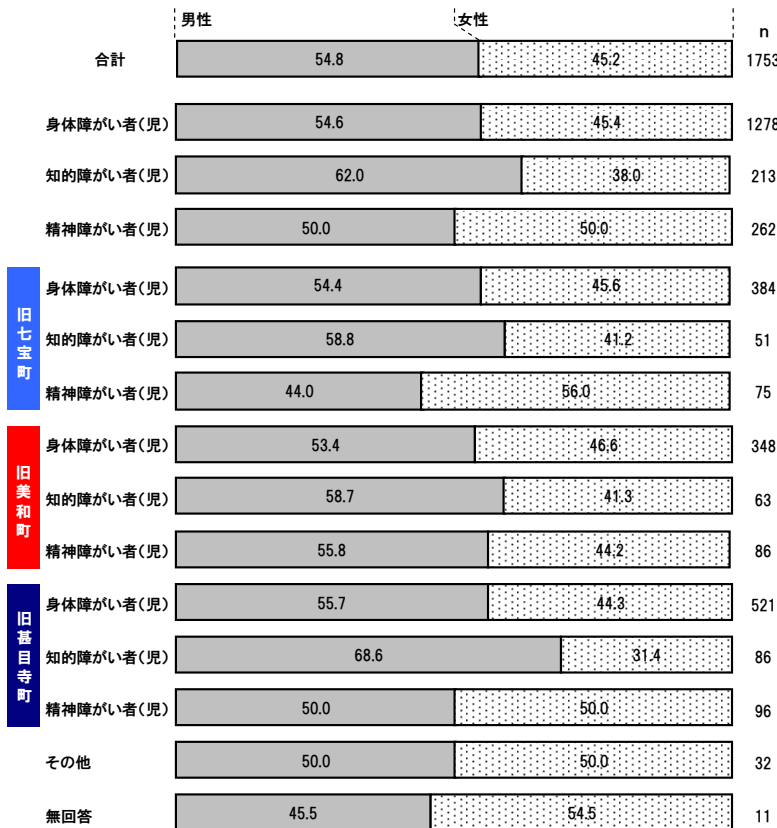
## 1. アンケートにお答えになった(記載された)方【問1】

全体では、「本人」が 67.1%と最も多く、次いで、「夫または妻」が 9.6%、「母親」が 9.3%、「子ども」が 4.7%などとなっています。身体障がい者(児)では、「本人」が 75.8%、精神障がい者(児)では、「本人」が 65.6%、知的障がい者(児)では、「母親」が 56.3%と最も多くなっています。



## 2. 障がいのあるご本人について

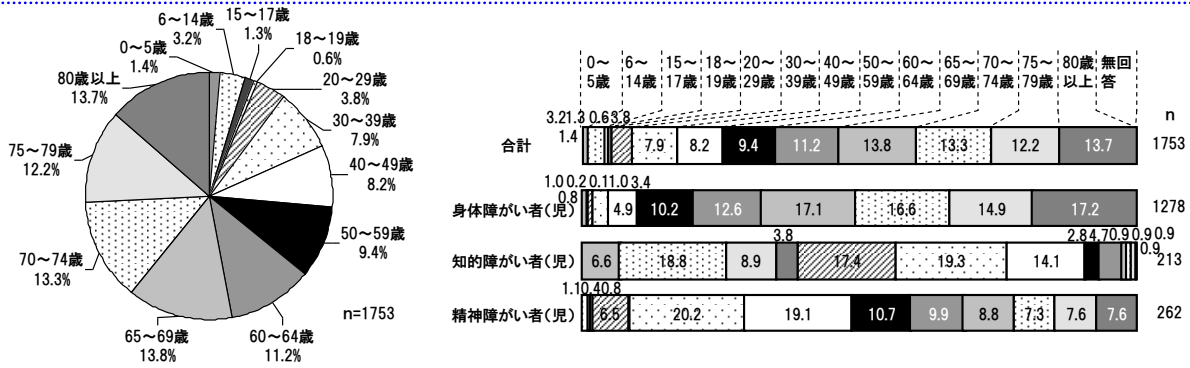
### (1) 性別【問2】



全体では、「男性」が 54.8%、「女性」が 45.2%となっています。

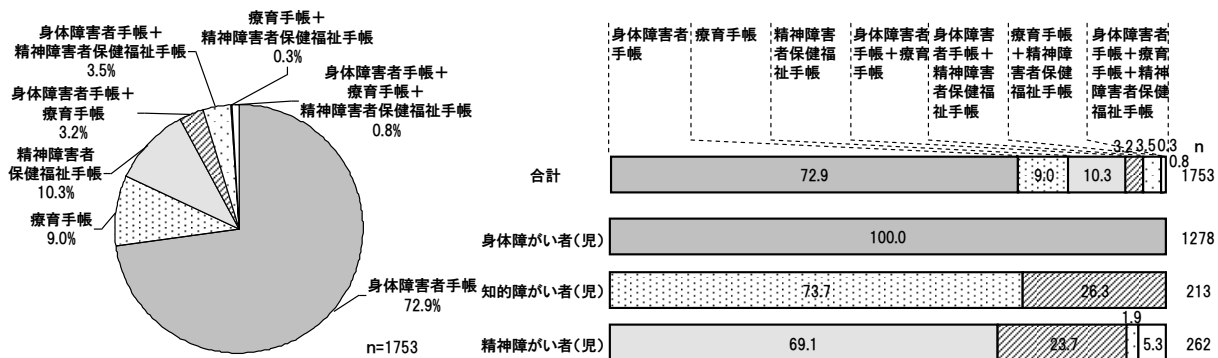
## (2)年齢【問3】

全体では、「65～69歳」が13.8%と最も多く、次いで、「80歳以上」が13.7%、「70～74歳」が13.3%、「75～79歳」が12.2%、「60～64歳」が11.2%などとなっています。身体障がい者(児)では、「65歳以上」が65.8%を占め、知的障がい者(児)では、「30歳未満」が55.5%を占め、精神障がい者(児)では、「30～64歳」が59.9%を占めています。



## (3)所持手帳の種別【問4-1】

全体では、「身体障害者手帳のみの所持者」が72.9%と最も多く、次いで、「精神障害者保健福祉手帳のみの所持者」が10.3%、「療育手帳のみの所持者」が9.0%となっています。「複数の手帳所持者」は、全体の7.8%となっています。

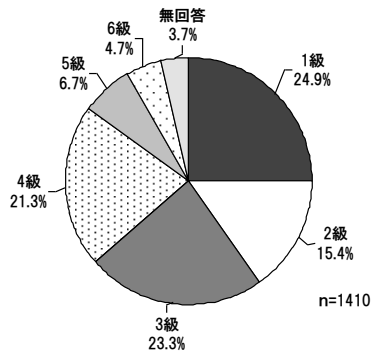


	全体	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	身体障害者手帳+療育手帳	身体障害者手帳+精神障害者保健福祉手帳	療育手帳+精神障害者保健福祉手帳	身体障害者手帳+療育手帳+精神障害者保健福祉手帳
合計	1753	1278	157	181	56	62	5	14
	100.0	72.9	9.0	10.3	3.2	3.5	0.3	0.8
身体障がい者(児)	1278	1278	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
知的障がい者(児)	213	0	157	0	56	0	0	0
	100.0	0.0	73.7	0.0	26.3	0.0	0.0	0.0
精神障がい者(児)	262	0	0	181	0	62	5	14
	100.0	0.0	0.0	69.1	0.0	23.7	1.9	5.3

※療育手帳を含む複数所持者を知的障がい者(児)、精神障害者保健福祉手帳を含む複数所持者を精神障がい者(児)としました。

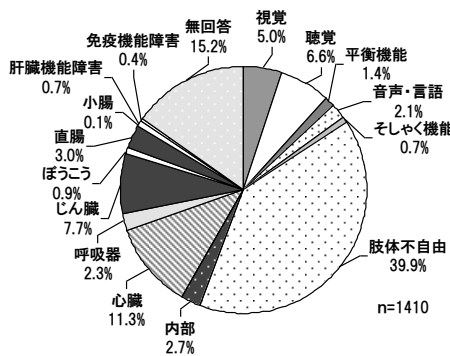
#### (4)障がいの等級【問4-2】

##### 1-1. 身体障害者手帳(複数回答)



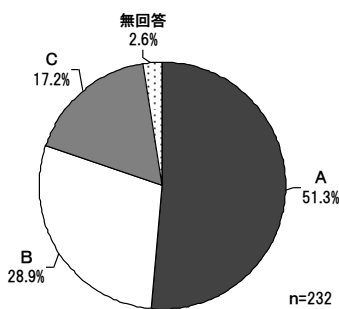
「1級」が 24.9%と最も多く、次いで、「3級」が 23.3%、「4級」が 21.3%、「2級」が 15.4%などとなっています。

##### 1-2. 身体障害者手帳所持者の最も重い障がい



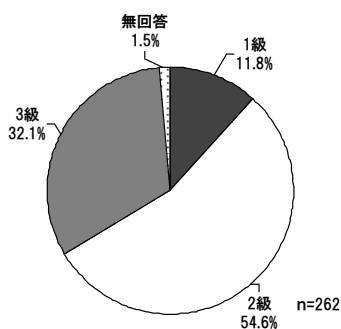
無回答を除き、「肢体不自由」が 39.9%と最も多く、次いで「心臓」が 11.3%、「じん臓」が 7.7%、「聴覚」が 6.6%、「視覚」が 5.0%などとなっています。

##### 2. 療育手帳(複数回答)



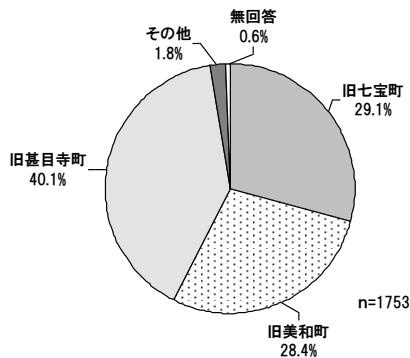
「A」が 51.3%と最も多く、次いで、「B」が 28.9%、「C」が 17.2%となっています

##### 3. 精神障害者保健福祉手帳(複数回答)

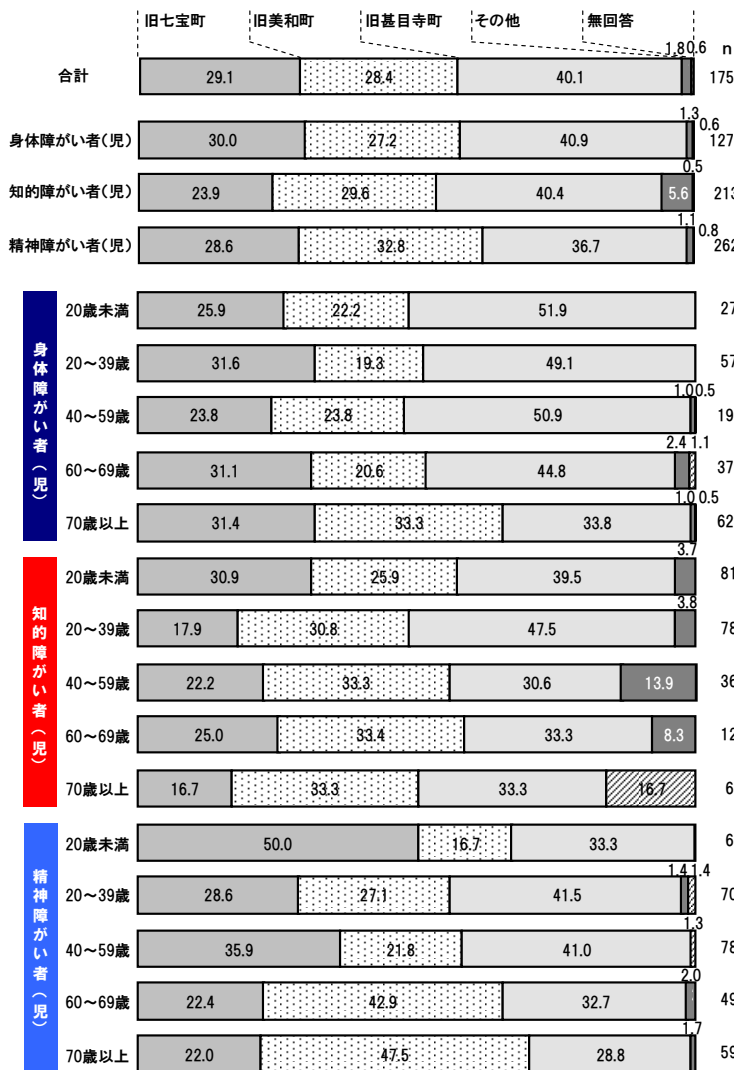


「2級」が 54.6%と最も多く、次いで、「3級」が 32.1%、「1級」が 11.8%となっています。

(5)現在のお住まいの地区【問5】



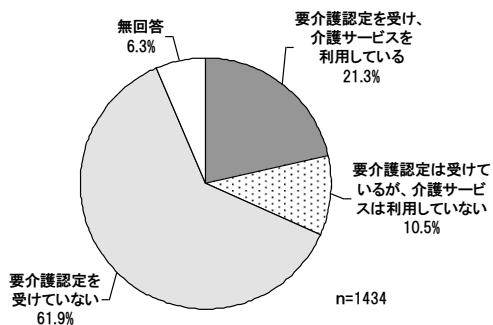
全体では、「旧七宝町」が29.1%、「旧美和町」が28.4%、「旧甚目寺町」が40.1%などとなっています。



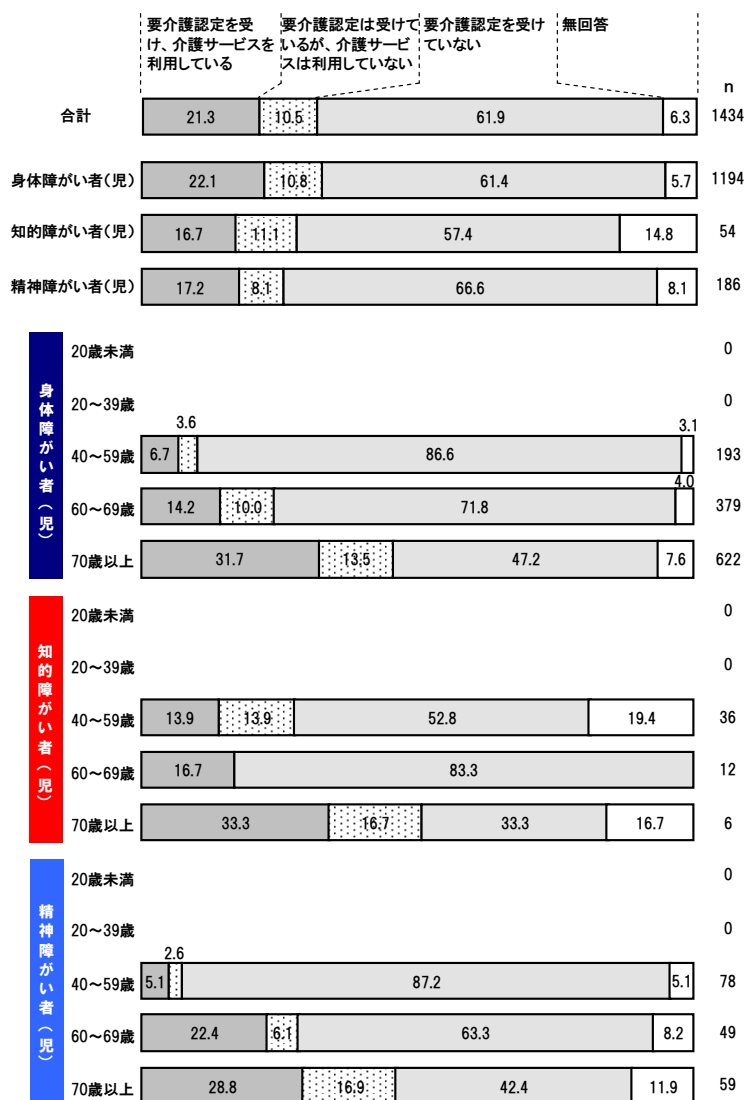
各障がい者(児)ともに、旧甚目寺町が最も多い割合となっています。

身体障がい者(児)では、各年齢ともに旧甚目寺町が最も多い割合となっています。知的障がい者(児)では、20歳未満と20~39歳で旧甚目寺町が最も多い割合となっています。また、40~59歳と60~69歳で旧美和町が最も多い割合となっています。精神障がい者(児)では、20歳未満で旧七宝町、60~69歳と70歳以上で旧美和町、20~39歳と40~59歳で旧甚目寺町が最も多い割合となっています。

(6)介護保険制度の要介護認定やサービスの利用の有無(40歳以上の方)【問6】



全体では、「要介護認定は受けていない」が 61.4%と最も多く、次いで、「介護認定を受け、介護サービスを利用している」が 21.3%となっています。一方、「要介護認定を受けているが、介護サービスは利用していない」が 10.5%となっています。

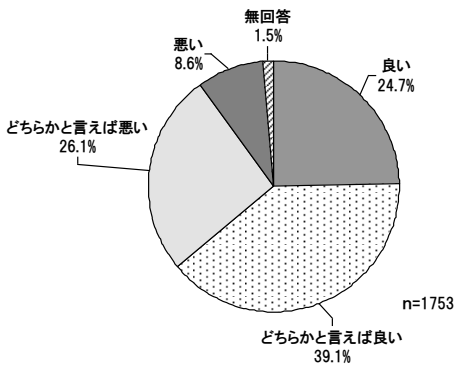


“要介護認定を受けている”割合(「介護認定を受け、介護サービスを利用している」+「要介護認定を受けているが、介護サービスは利用していない」を合わせた割合)では、身体障がい者(児)が 32.9%と最も多くなっています。

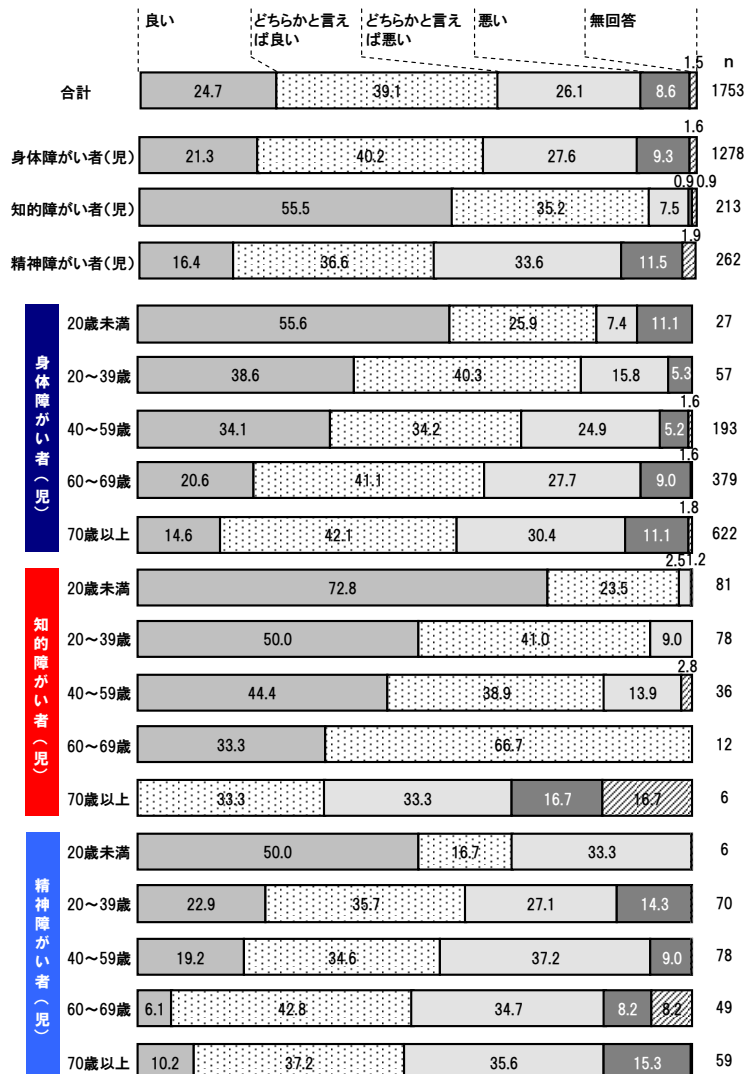
“要介護認定を受けている”割合(「介護認定を受け、介護サービスを利用している」+「要介護認定を受けているが、介護サービスは利用していない」を合わせた割合)では、知的障がい者(児)の 70歳以上が 50.0%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)の 70歳以上が 45.7%、身体障がい者(児)の 70歳以上が 45.2%などとなっています。

### 3. ご本人の健康状態について

#### (1) 最近(ここ3か月以内)の健康状態【問7】

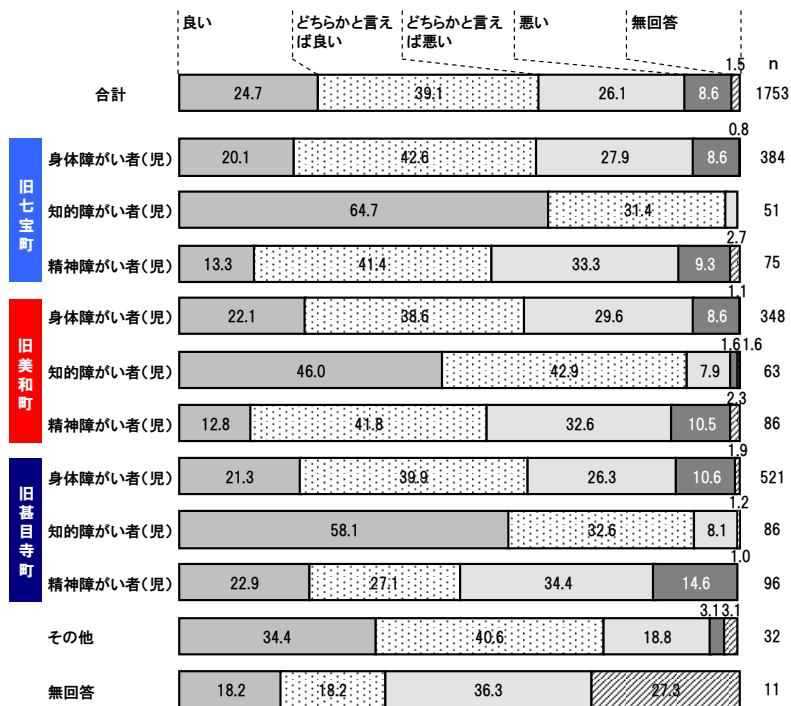


主観的健康感が“良い”(良い+どちらかと言えば良いを合わせた割合)が 63.8%、“悪い”(悪い+どちらかと言えば悪いを合わせた割合)が 34.7%となっています。



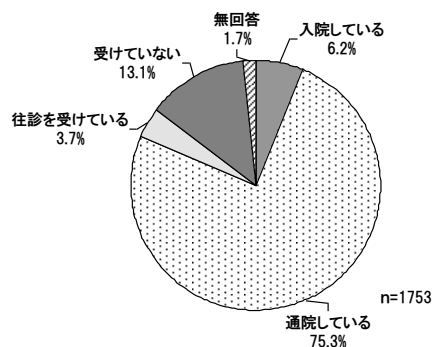
主観的健康感が“悪い”割合では、身体障がい者(児)が 36.9%、知的障がい者(児)が 8.4%、精神障がい者(児)が 45.1%となっています。

主観的健康感が“悪い”割合では、身体障がい者(児)では、70歳以上が 41.5%と最も多く、次いで、60~69歳が 36.7%などとなっています。知的障がい者(児)では、70歳以上が 50.0%、精神障がい者(児)では、70歳以上が 50.9%と最も多く、次いで、40~59歳が 46.2%などとなっています。

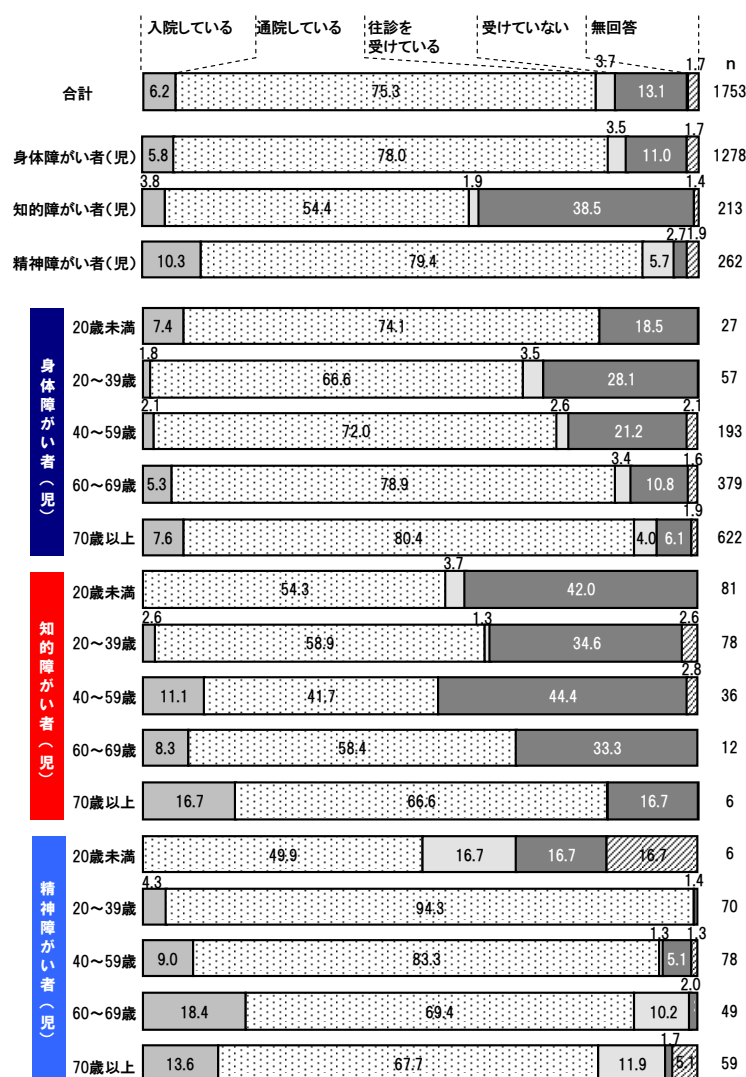


主観的健康感が“悪い”割合では、旧甚目寺町の精神障がい者(児)が49.0%と最も多く、次いで、旧美和町の精神障がい者(児)が43.1%、旧七宝町の精神障がい者(児)が42.6%などとなっています。

## (2)お医者さんなどによる受診察状況【問8】



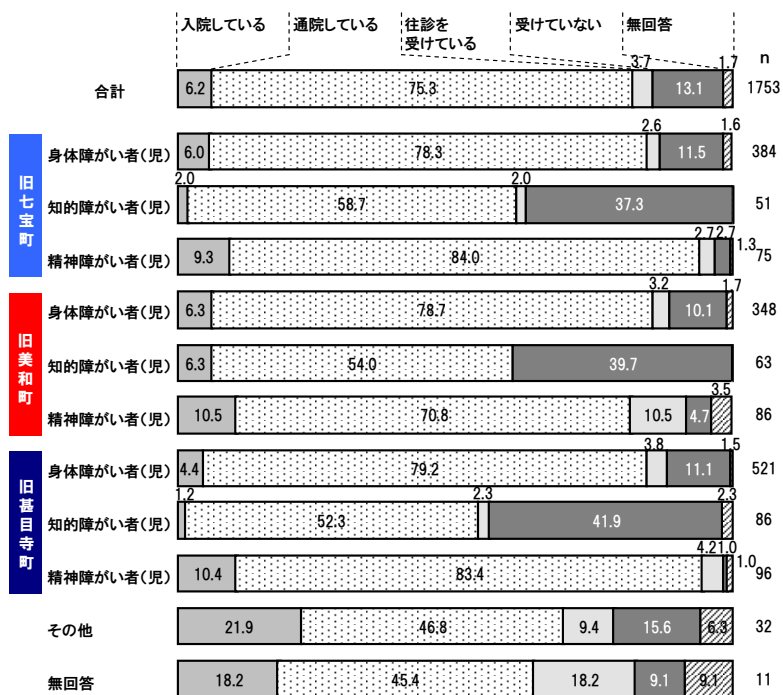
全体では、「通院している」が75.3%を占め、精神障がい者(児)が79.4%と最も多く、次いで、身体障がい者(児)が78.0%などとなっています。



「通院している」割合では、身体障がい者(児)が78.0%、知的障がい者(児)が54.4%、精神障がい者(児)が79.4%となっています。

「通院している」割合では、精神障がい者(児)の20~39歳が94.3%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)の40~59歳が83.3%、身体障がい者(児)の70歳以上が80.4%などとなっています。一方、受けていない割合では、知的障がい者(児)の40~59歳が44.4%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の20歳未満が42.0%などとなっています。

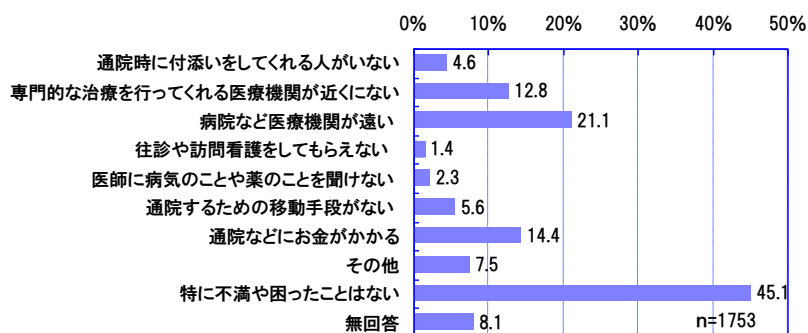




「通院している」割合では、旧七宝町の精神障がい者(児)が84.0%と最も多く、次いで、旧甚目寺町の精神障がい者(児)が83.4%、旧甚目寺町の身体障がい者(児)が79.2%などとなっています。

### (3) 病院など医療機関にかかる時などで困ったこと(複数回答)【問9】

「特に不満や困ったことはない」が45.1%と最も多く、次いで、「病院など医療機関が遠い」が21.1%、「通院などにお金がかかる」が14.4%、「専門的な治療を行ってくれる医療機関が近くにない」が12.8%などとなっています。



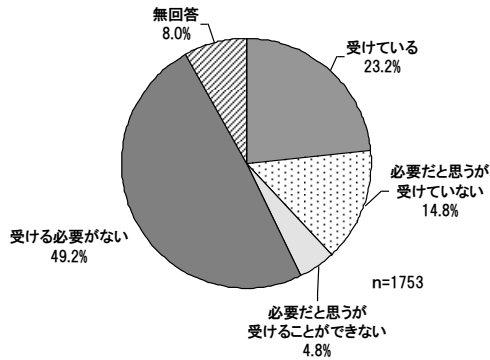
#### (その他記入)

- ✚ 待ち時間が長い。
- ✚ タクシー券がなくなり、通院のためのタクシー代が大きな負担となっている。
- ✚ 本人が受診する事を拒否する。
- ✚ ジェネリックを使用できない薬が多く、薬代が高い。
- ✚ 耳が不自由なので、医師との会話がスムーズにいかない。手話通訳等がないので通じない。医師が筆談をしてくれない時は困ります。失語症の為、言葉が出にくいから伝えたいことが言えない事がある。
- ✚ 乳幼児がいるので、自身の急病の時、子供の面倒を見てくれる人がいないので困っ

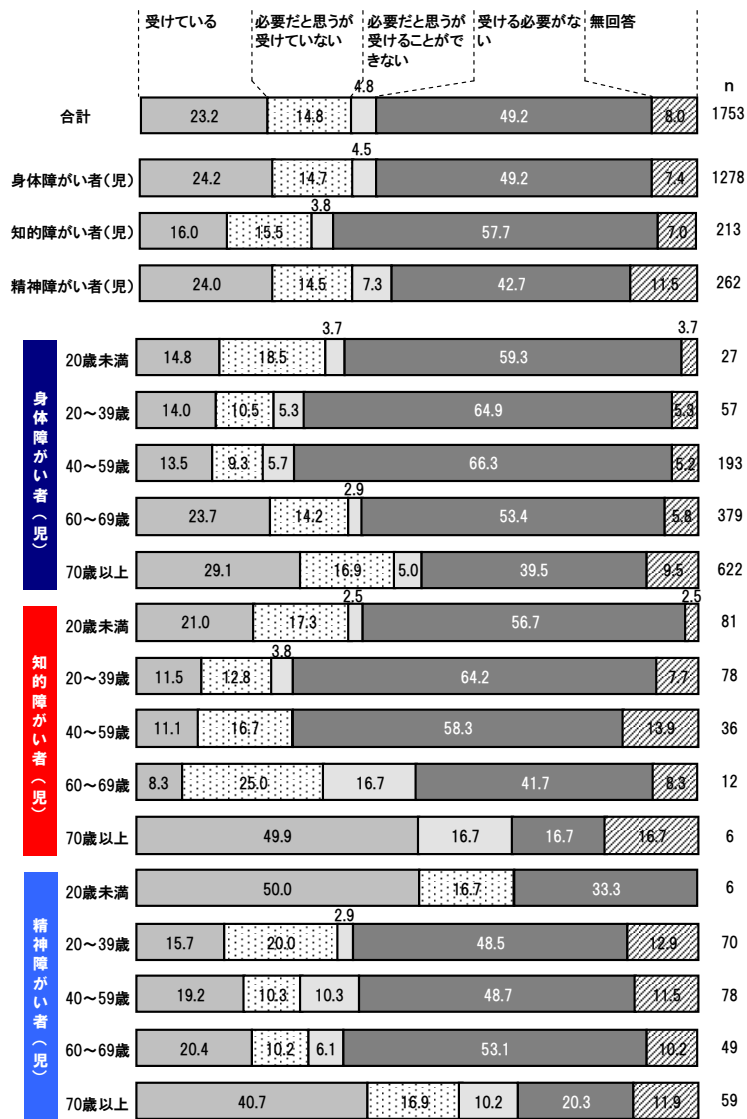
ています。自分では行けないので家の方が同行、付き添いが大変。。日時が合わない時がある。家族頼み。

- ✚ 近くで診ていただける専門の病院がない。治療法がこれと違ってない。
- ✚ じっくりカウンセリングを受けられない。歯科を治療してくれる所が近くにない。
- ✚ 個人の医院に車椅子が常設してない所がある。車椅子で入れる病院が少ない。バリアフリーになってない。駐車場から病院に入る時には車椅子用のスロープが設置されているが、玄関を入ってから場所によって段差があるので、車椅子が利用しにくい病院がある(特に個人病院)

#### (4)リハビリテーション(機能訓練や指導)の有無【問10】

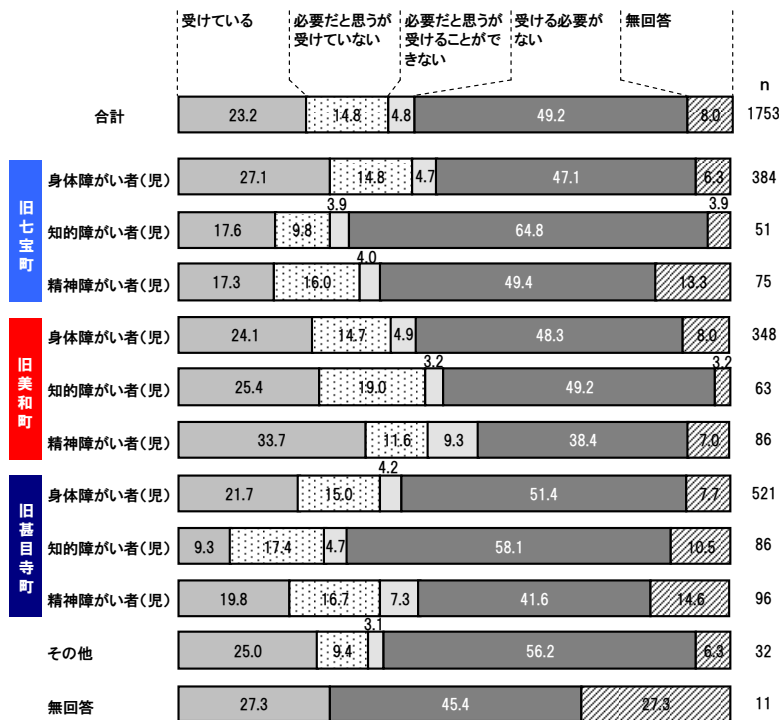


全体では、「受ける必要がない」が 49.2%と最も多く、次いで、「受けている」が 23.2%、「必要だと思いが受けていない」が 14.8%などとなっています。



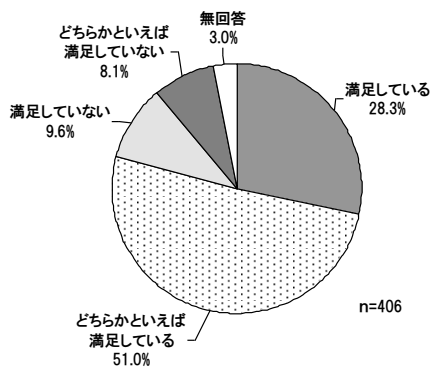
「必要だと思いが受けていない」割合では、身体障がい者(児)が 14.7%、知的障がい者(児)が 15.5%、精神障がい者(児)が 14.5%となっています。

「必要だと思いが受けていない」割合では、知的障がい者(児)の 60~69 歳が 25.0%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)の 20~39 歳が 20.0%、身体障がい者(児)の 20 歳未満が 18.5%などとなっています。「受けている」割合では、精神障がい者(児)の 20 歳未満が 50.0%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 70 歳以上が 49.9%、精神障がい者(児)の 70 歳以上が 40.7%などとなっています。

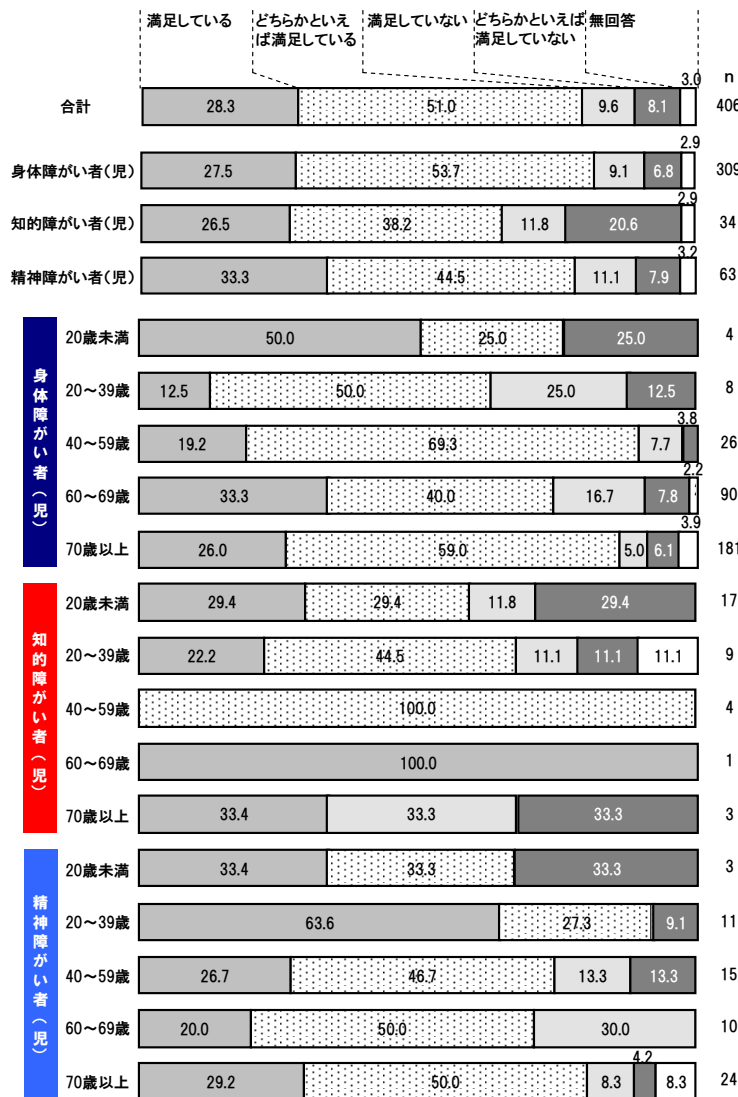


「必要だと思うが受けていない」割合では、旧美和町の知的障がい者(児)が19.0%と最も多く、次いで、旧甚目寺町の知的障がい者(児)が17.4%、旧甚目寺町の精神障がい者(児)が16.7%などとなっています。

【問10】で「1. 受けている」に○をした方  
 (5)リハビリテーションに対する満足度【問10-①】

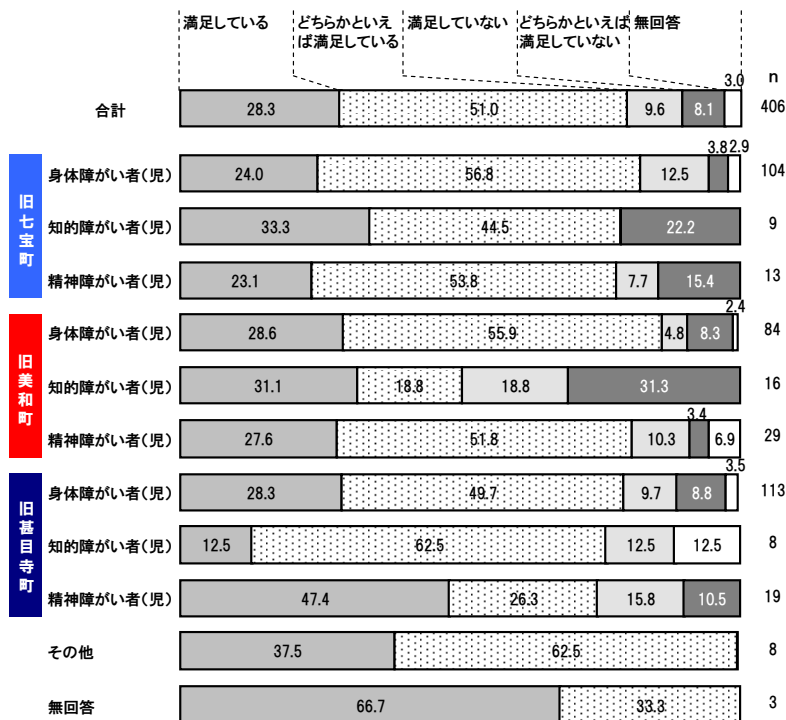


全体では、“満足している”割合(「満足している」+「どちらかといえば満足している」を合わせた割合)が 79.3%を占めています。一方、“満足していない”割合(「満足していない」+「どちらかといえば満足していない」を合わせた割合)が 17.7%となっています。



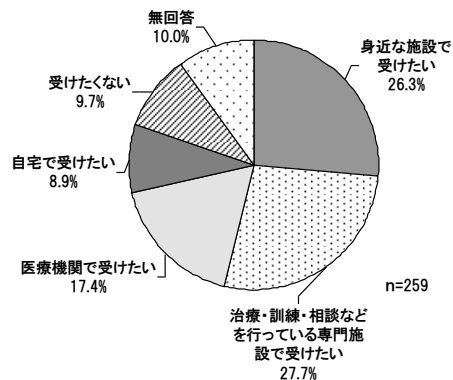
“満足していない”割合では、身体障がい者(児)が 15.9%、知的障がい者(児)が 32.4%、精神障がい者(児)が 19.0%となっています。

“満足していない”割合では、知的障がい者(児)の 70歳以上が 66.6%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 20歳未満が 41.2%、身体障がい者(児)の 20~39歳が 37.5%などとなっています。

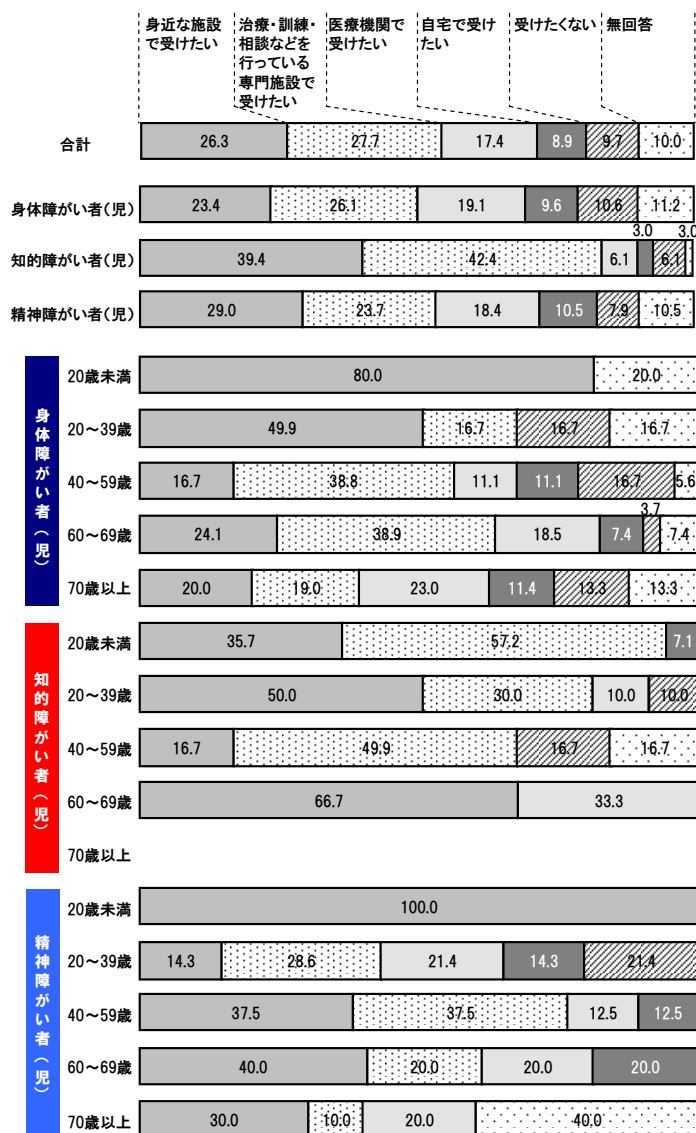


“満足していない”割合では、旧美和町の知的障がい者(児)が50.1%と最も多く、次いで、旧甚目寺町の精神障がい者(児)が26.3%、旧七宝町の精神障がい者(児)が23.1%などとなっています。

【問10】で「2. 必要だと思うが受けてない」に○をした方  
 (6)今後のリハビリテーション(機能訓練、指導)の意向【問10-②】

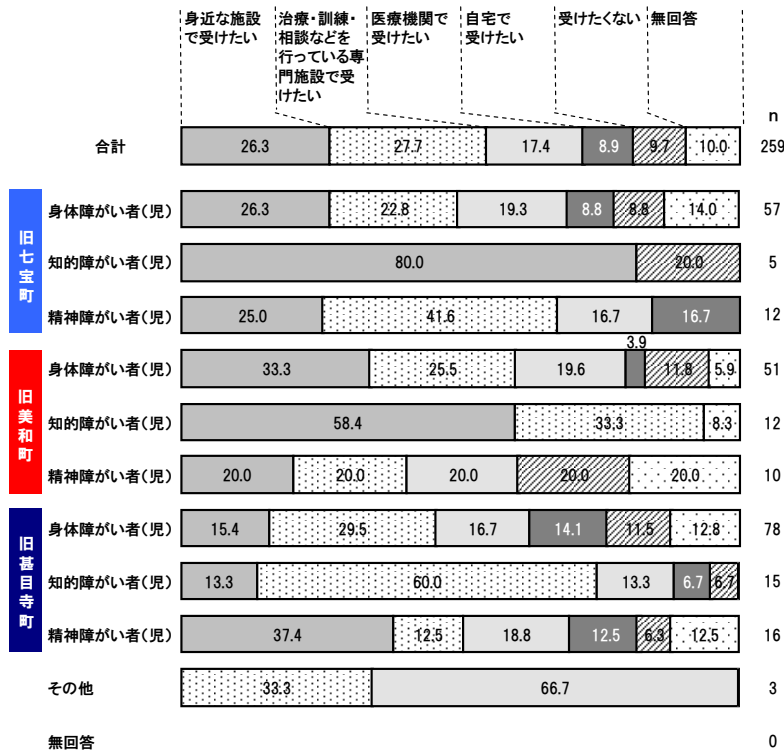


全体では、「治療・訓練・相談などを行っている専門施設で受けてたい」が27.7%と最も多く、次いで、「身近な施設で受けてたい」が26.3%などとなっています。



「治療・訓練・相談などを行っている専門施設で受けてたい」割合では、身体障がい者(児)が26.1%、知的障がい者(児)が42.4%、精神障がい者(児)が23.7%となっています。

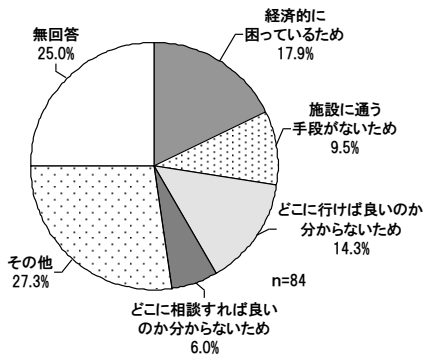
「治療・訓練・相談などを行っている専門施設で受けてたい」割合では、知的障がい者(児)の20歳未満が57.2%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の40~59歳が49.9%などとなっています。また、「身近な施設で受けてたい」割合では、精神障がい者(児)の20歳未満が100.0%、身体障がい者(児)の20歳未満が80.0%、知的障がい者(児)の60~69歳が66.7%などとなっています。



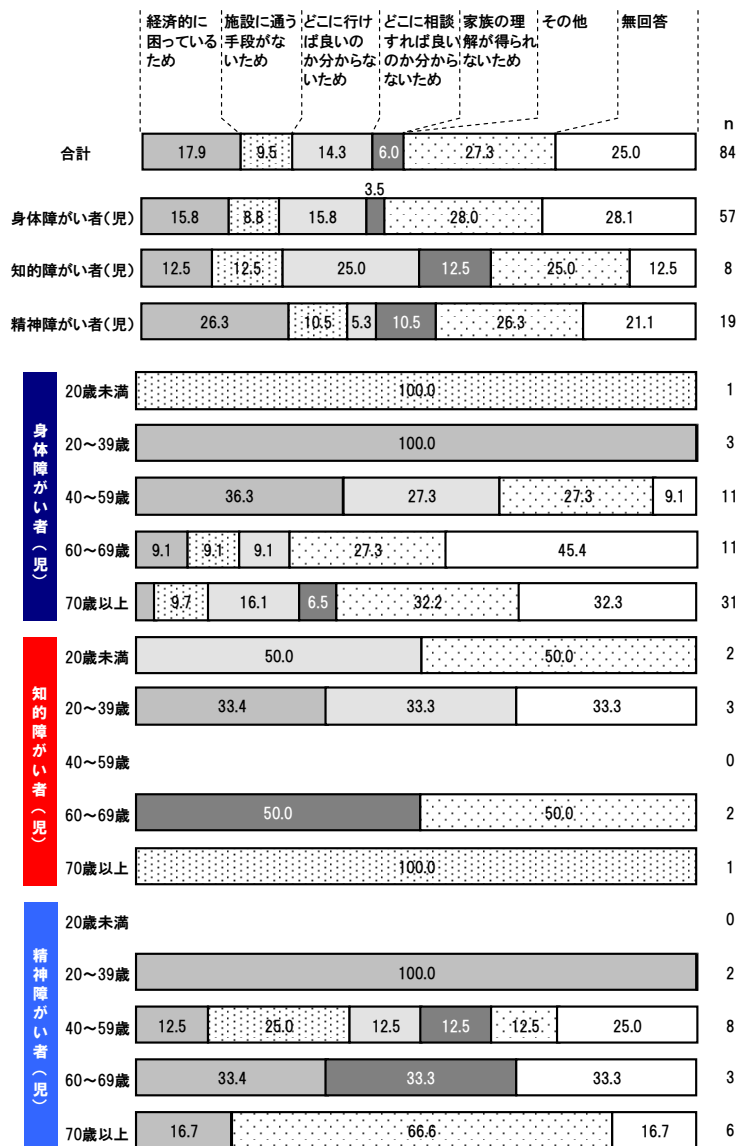
「治療・訓練・相談などを行っている専門施設で受けたい」割合では、旧甚目寺町の知的障がい者(児)が60.0%と最も多く、次いで、旧七宝町の精神障がい者(児)が41.6%などとなっています。また、「身近な施設で受けたい」割合では、旧七宝町の知的障がい者(児)が80.0%と最も多く、次いで、旧美和町の知的障がい者(児)が58.4%、旧甚目寺町の精神障がい者(児)が37.4%などとなっています。



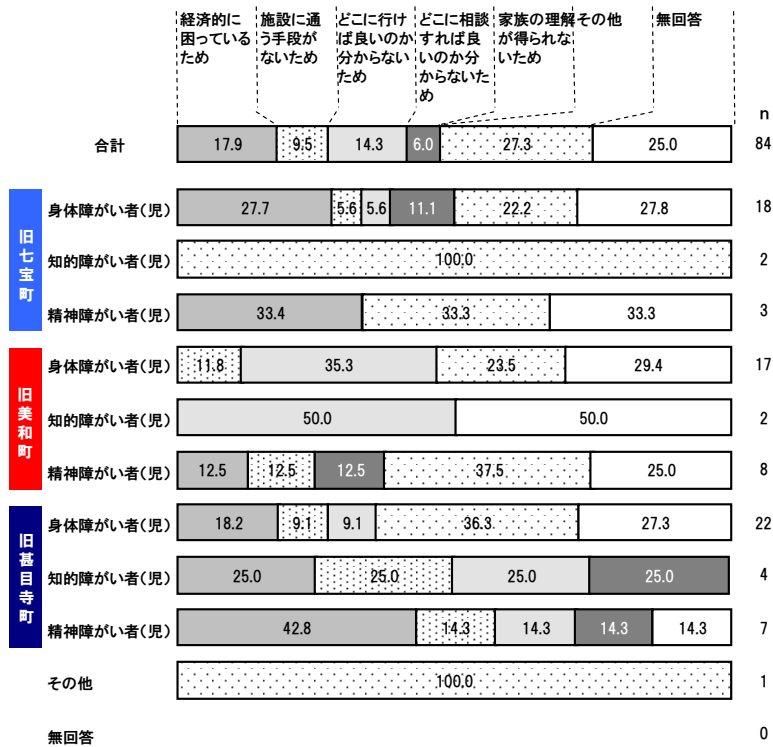
【問10】で「3. 必要だと思うが受けることができない」に○をした方  
 (7)リハビリテーション(機能訓練、指導)を受けることができない理由【問10-③】



全体では、無回答を除き、「その他」が27.3%と最も多く、次いで、「経済的に困っているため」が17.9%、「どこに行けば良いのか分からないため」が14.3%などとなっています。



「経済的に困っているため」の割合では、精神障がい者(児)が26.3%と最も多く、「どこに行けば良いのか分からないため」の割合では、知的障がい者(児)が25.0%と最も多くなっています。



「経済的に困っているため」の割合では、旧甚目寺町の精神障がい者(児)が42.8%と最も多く、次いで、旧七宝町の精神障がい者(児)が33.4%、旧七宝町の身体障がい者(児)が27.7%、旧甚目寺町の知的障がい者(児)が25.0%などとなっています。「どこに行けば良いのかわからないため」の割合では、旧美和町の知的障がい者(児)が50.0%、身体障がい者(児)が35.3%、旧甚目寺町の知的障がい者(児)が25.0%などとなっています。

### (主なその他記入)

- ✚ 訪問医が来てくれても本人の体調が悪く、寝たきりで受けることが出来ない。
- ✚ 施設にリハビリテーションがない。
- ✚ 病院で受けられる期間が定められている。

## 4. ご本人の生活の支援状況について

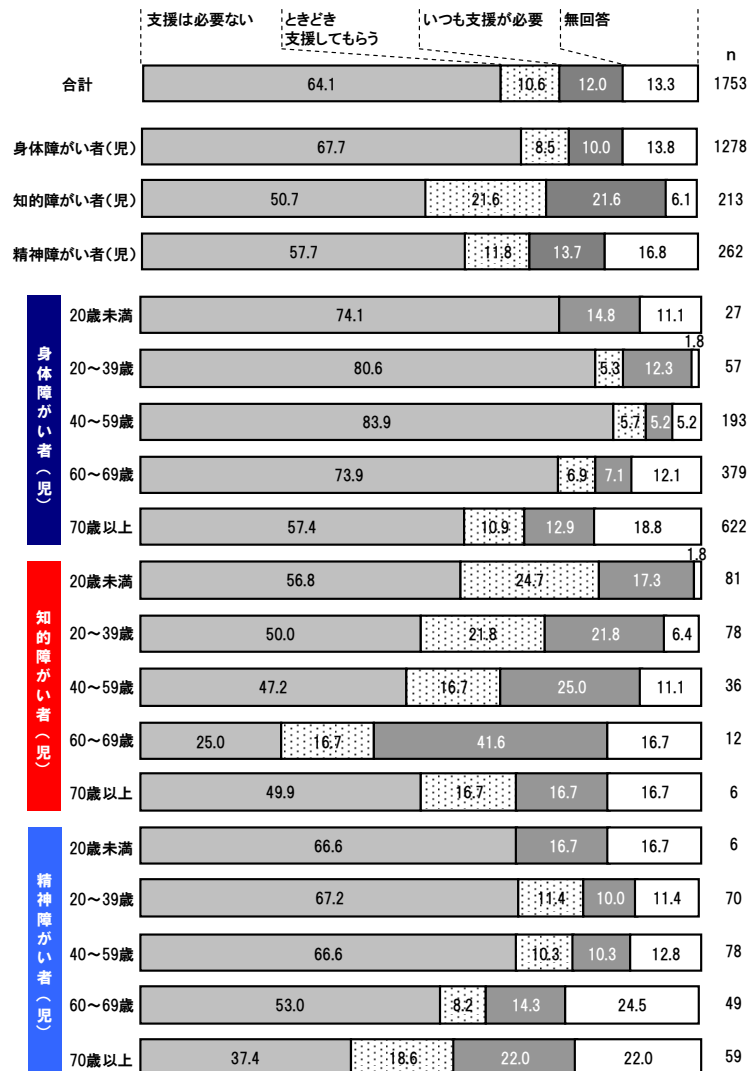
### (1)生活の状況について【問11】

※ご本人が寝たきりで動けない方は、「いつも支援が必要」に○をつけてください。

“支援が必要”な割合（「ときどき支援してもらおう」＋「いつも支援が必要」を合わせた割合）では、「炊事、洗濯、掃除など」が 44.0%と最も多く、次いで、「金銭管理や書類の手続き」が 40.7%、「入浴について」が 28.0%、「日常会話や意思を伝えること」が 27.5%などとなっています。

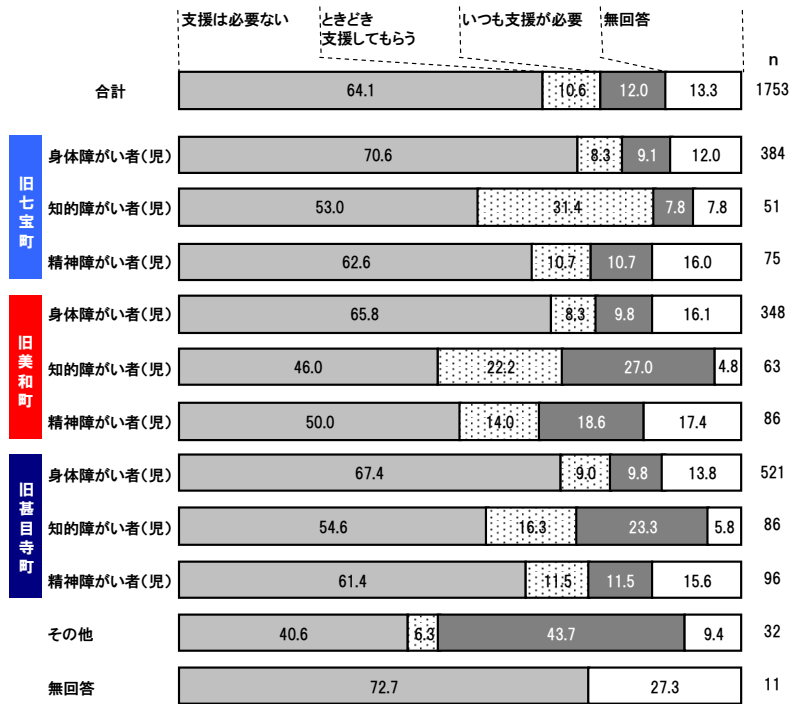
	支援は必要ない	ときどき支援してもらおう	いつも支援が必要	無回答	n
① 食事について	64.1	10.6	12.0	13.3	1753
② トイレについて	65.0	10.0	11.1	13.9	
③ 入浴について	58.3	9.5	18.5	13.7	
④ 着替えについて	62.3	11.8	12.2	13.7	
⑤ 家の中での移動について	65.9	10.0	9.6	14.5	
⑥ 炊事、洗濯、掃除など	41.6	14.8	29.2	14.4	
⑦ 金銭管理や書類の手続	44.9	13.3	27.4	14.4	
⑧ 日常会話や意思を伝えること	58.0	14.0	13.5	14.5	

# ① 食事について



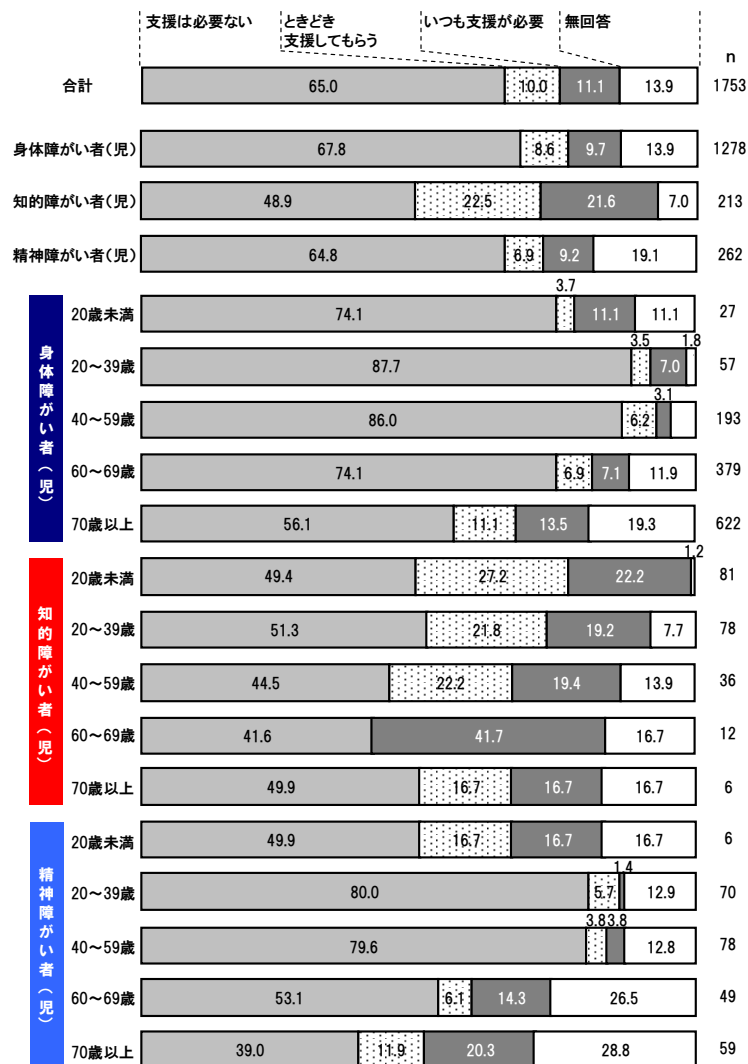
「いつも支援が必要」の割合では、全体で 12.0%となっており、知的障がい者(児)が 21.6%と最も多くなっています。

「いつも支援が必要」の割合では、知的障がい者(児)の 60～69歳が 41.6%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 40～59歳が 25.0%、精神障がい者(児)の 70歳以上が 22.0%、知的障がい者(児)の 20～39歳が 21.8%などとなっています。



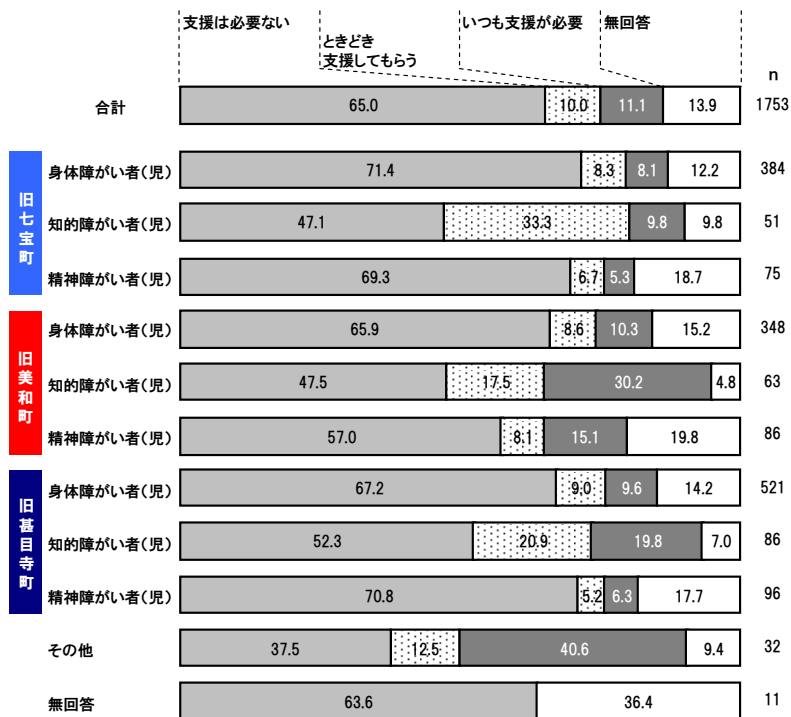
「いつも支援が必要」の割合では、その他の居住地区が 43.7%と最も多く、次いで、旧美和町の知的障がい者(児)が 27.0%、旧甚目寺町の知的障がい者(児)が 23.3%などとなっています。

## ② トイレについて



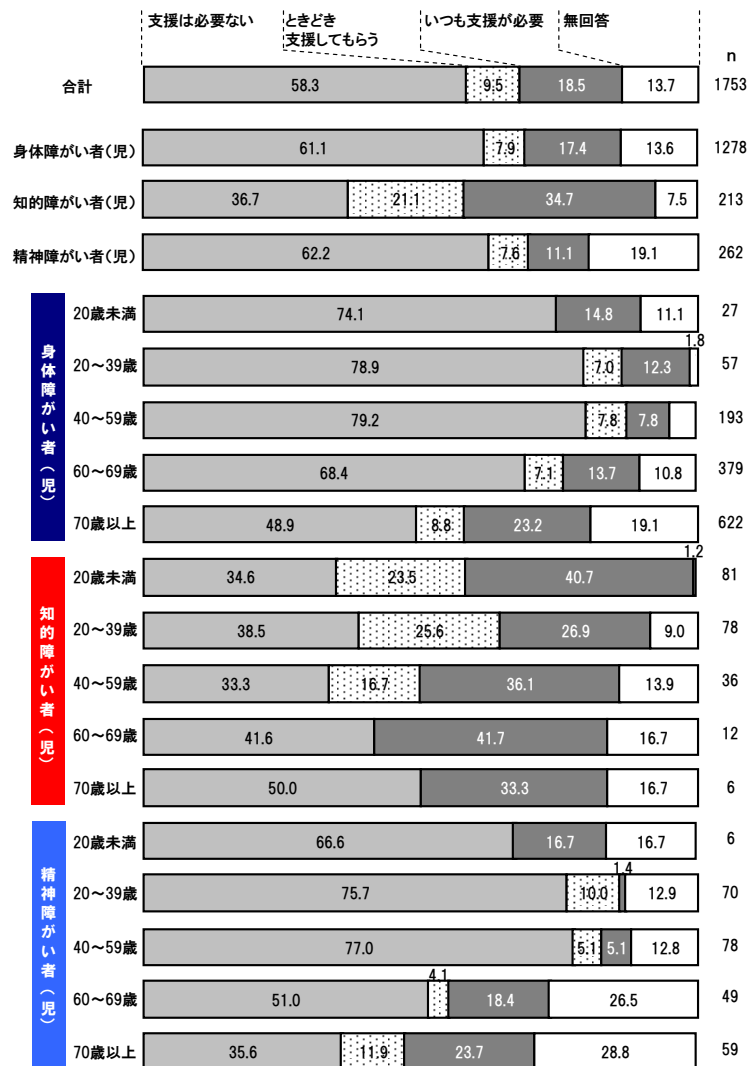
「いつも支援が必要」の割合では、全体で 11.1%となっており、知的障がい者(児)が 21.6%と最も多くなっています。

「いつも支援が必要」の割合では、知的障がい者(児)の 60~69歳が 41.7%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 20歳未満が 22.2%、精神障がい者(児)の 70歳以上が 20.3%などとなっています。



「いつも支援が必要」の割合では、その他の居住地区が 40.6%と最も多く、次いで、旧美和町の知的障がい者(児)が 30.2%などとなっています。

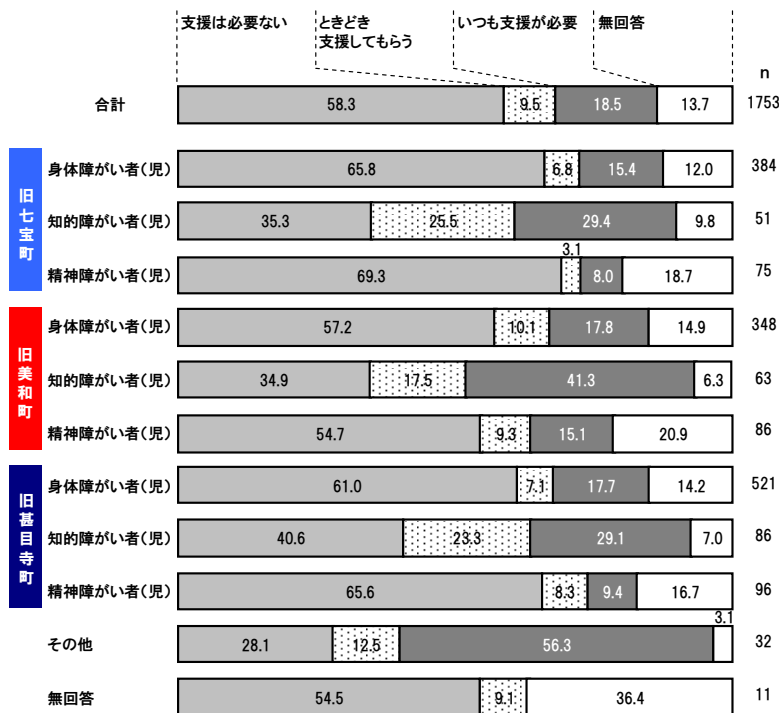
### ③ 入浴について



「いつも支援が必要」の割合では、全体で 18.5%となっており、知的障がい者(児)が 34.7%と最も多くなっています。

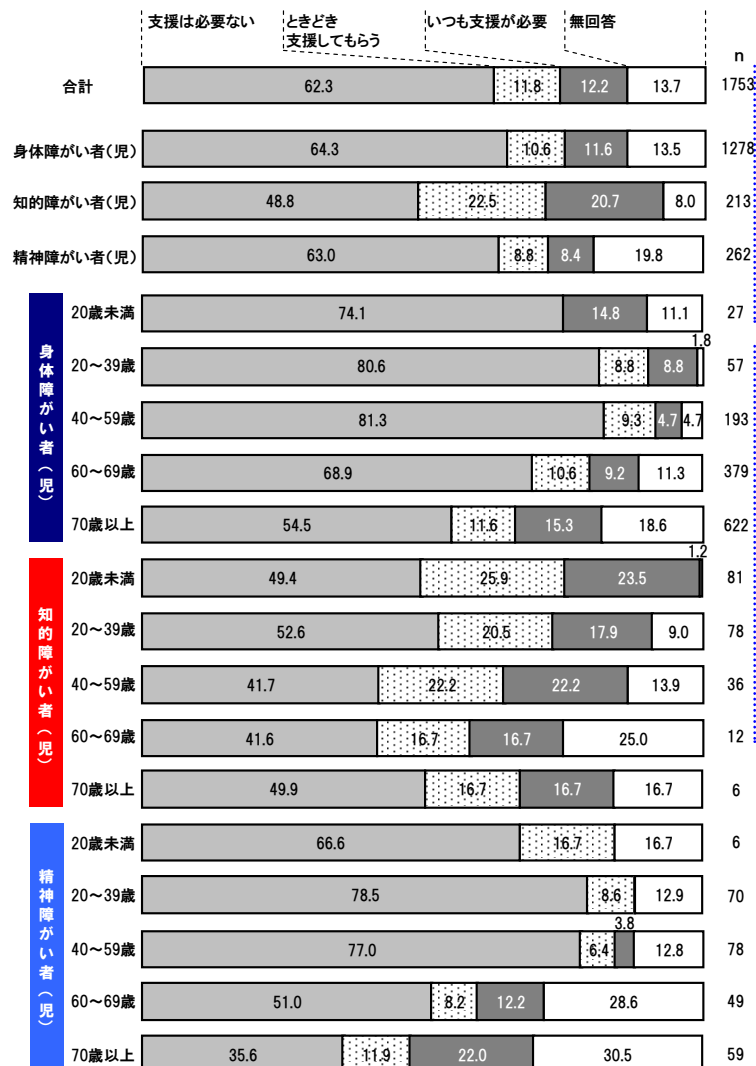
「いつも支援が必要」の割合では、知的障がい者(児)の 60~69歳が 41.7%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 20歳未満が 40.7%、知的障がい者(児)の 40~59歳が 36.1%などとなっています。





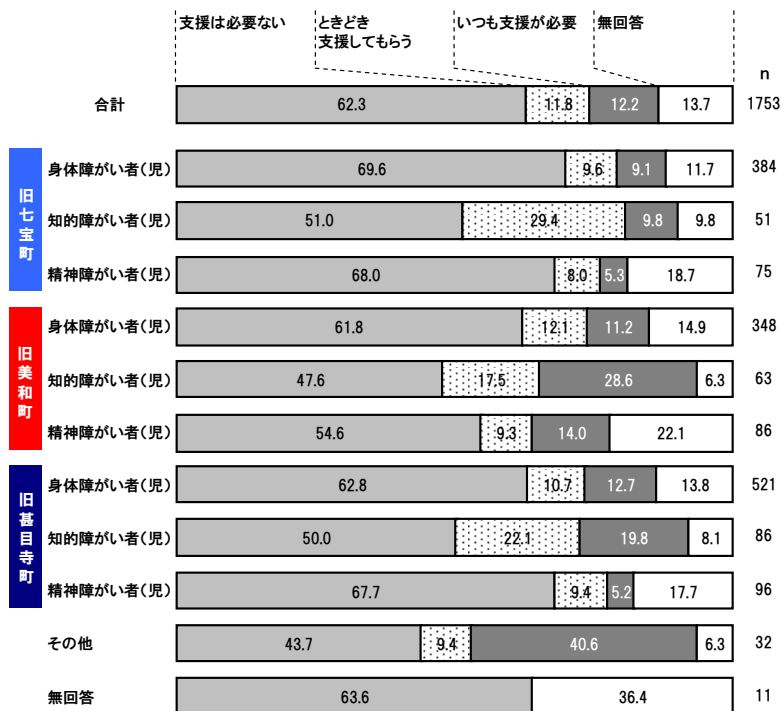
「いつも支援が必要」の割合では、その他の居住地区が 56.3%と最も多く、次いで、旧美和町の知的障がい者(児)が 41.3%などとなっています。

#### ④ 着替えについて



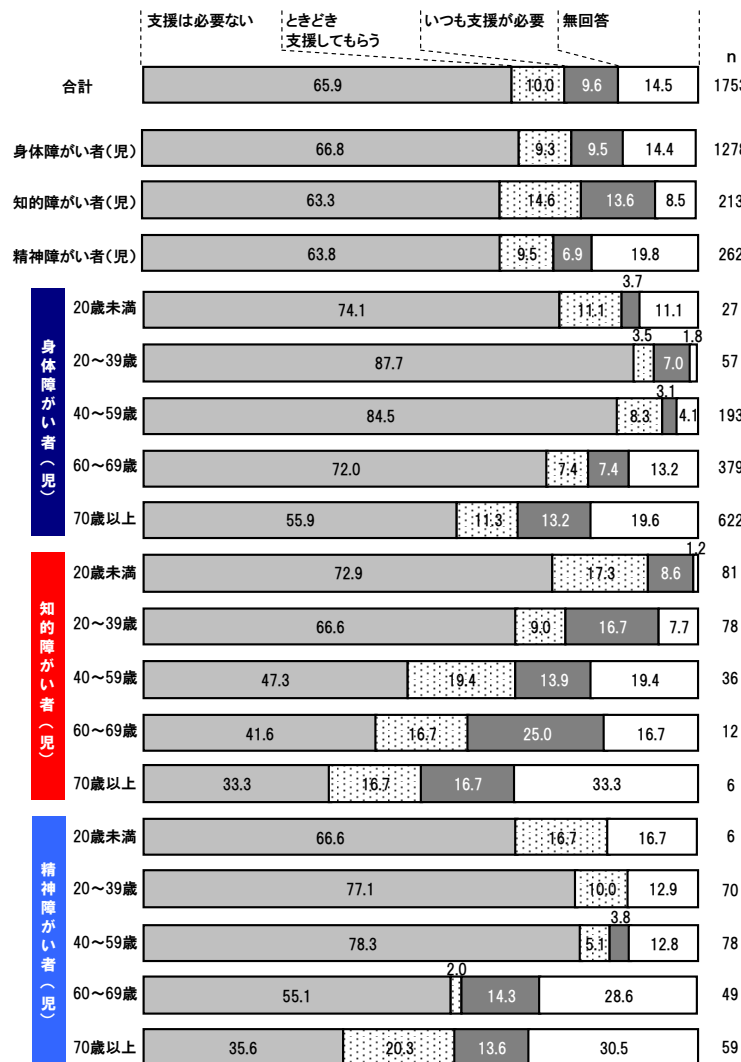
「いつも支援が必要」の割合では、全体で 12.2% となり、知的障がい者(児)が 20.7% と最も多くなっています。

「いつも支援が必要」の割合では、知的障がい者(児)の 20 歳未満が 23.5% と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 40～59 歳が 22.2%、精神障がい者(児)の 70 歳以上が 22.0% などとなっています。



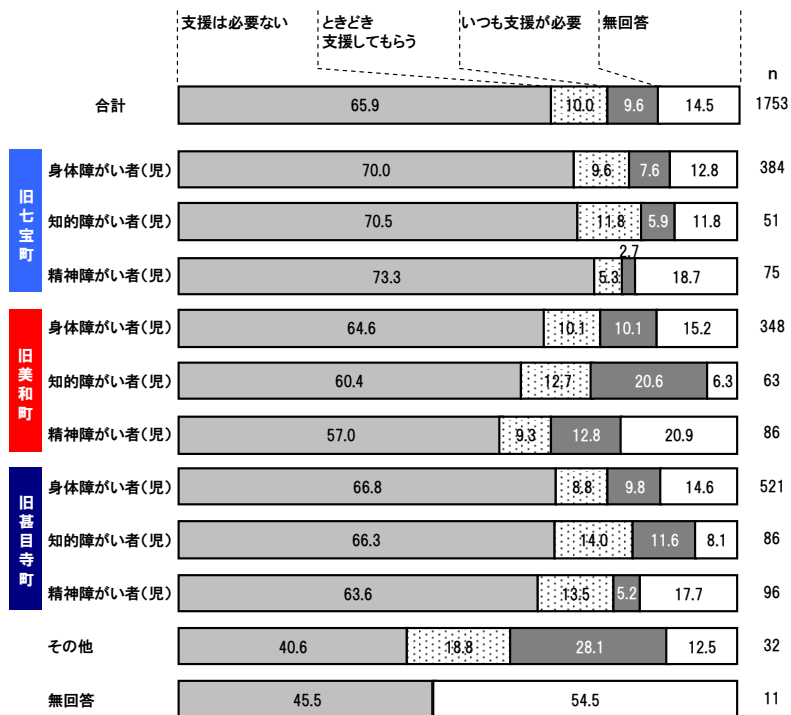
「いつも支援が必要」の割合では、その他の居住地区が 40.6%と最も多く、次いで、旧美和町の知的障がい者(児)が 28.6%などとなっています。

## ⑤ 家の中での移動について



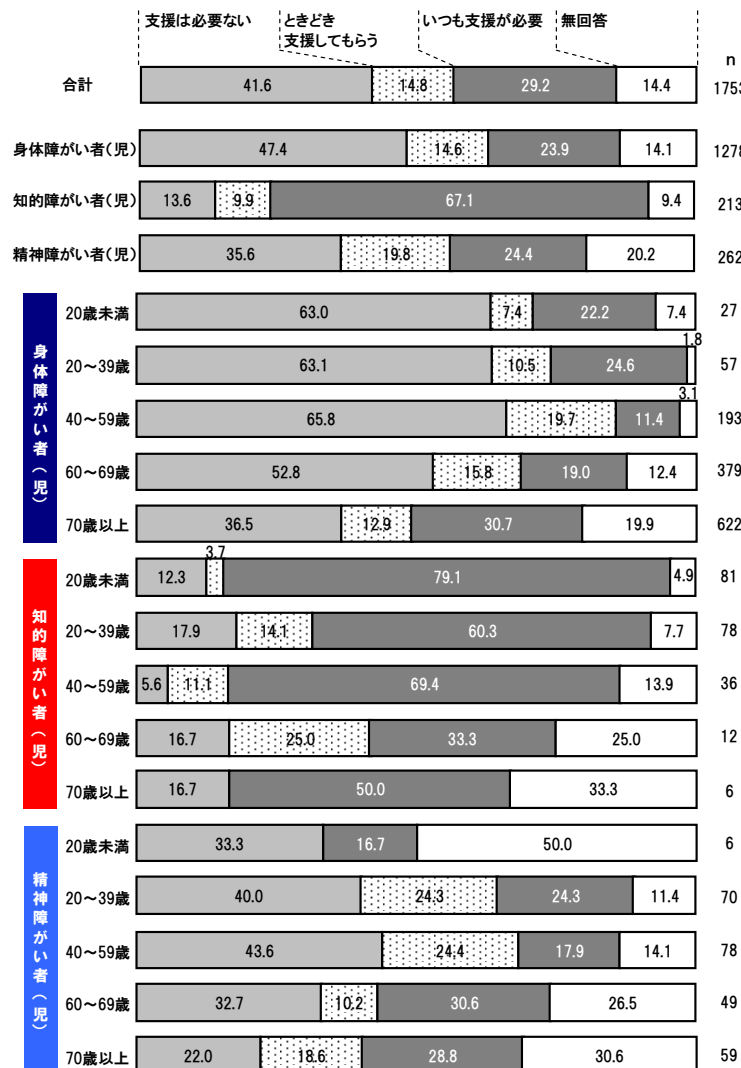
「いつも支援が必要」の割合では、全体で9.6%となっており、知的障がい者(児)が13.6%と最も多くなっています。

「いつも支援が必要」の割合では、知的障がい者(児)の60~69歳が25.0%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の20~39歳と70歳以上がともに16.7%などとなっています。



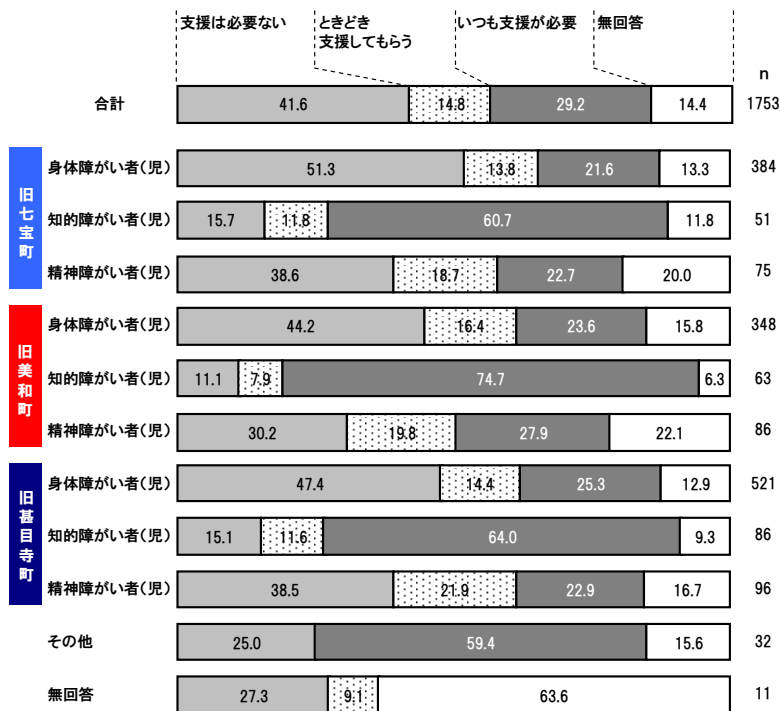
「いつも支援が必要」の割合では、その他の居住地区が 28.1%と最も多く、次いで、旧美和町の知的障がい者(児)が 20.6%などとなっています。

## ⑥ 炊事、洗濯、掃除など日常の家事について



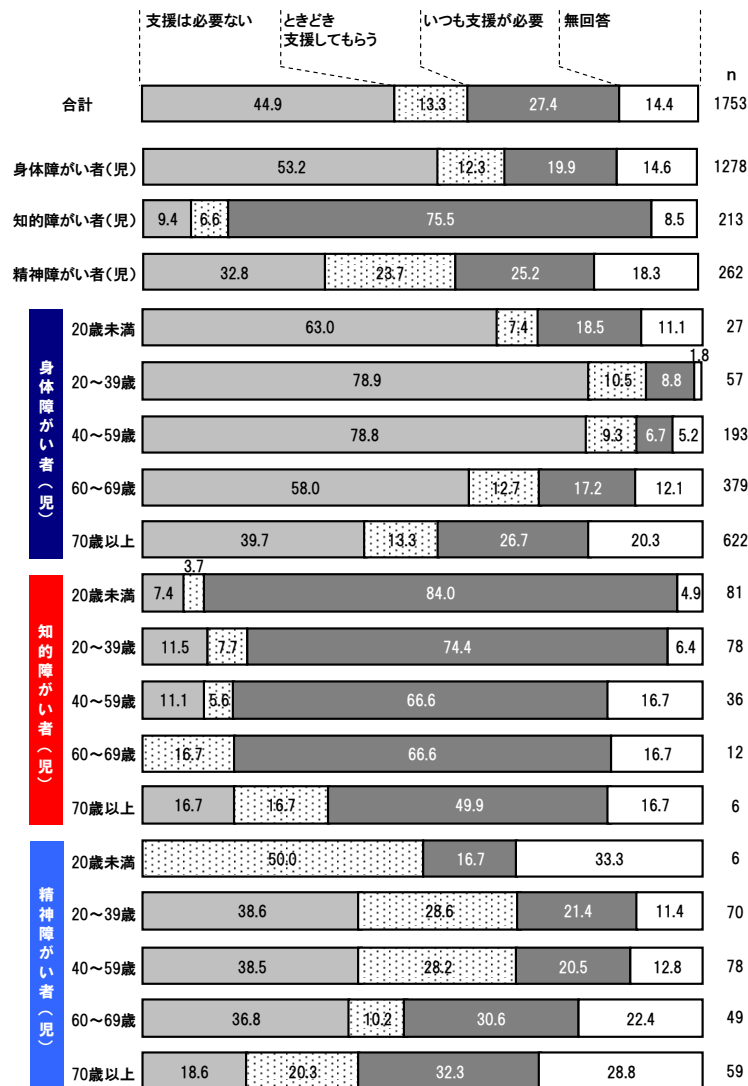
「いつも支援が必要」の割合では、全体で 29.2%となっており、知的障がい者(児)が 67.1%と最も多くなっています。

「いつも支援が必要」の割合では、知的障がい者(児)の 20歳未満が 79.1%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 40～59歳が 69.4%、知的障がい者(児)の 20～39歳が 60.3%などとなっています。



「いつも支援が必要」の割合では、旧美和町の知的障がい者(児)が 74.7% と最も多く、次いで、旧甚目寺町の知的障がい者(児)が 64.0%、旧七宝町の知的障がい者(児)が 60.7% などとなっています。

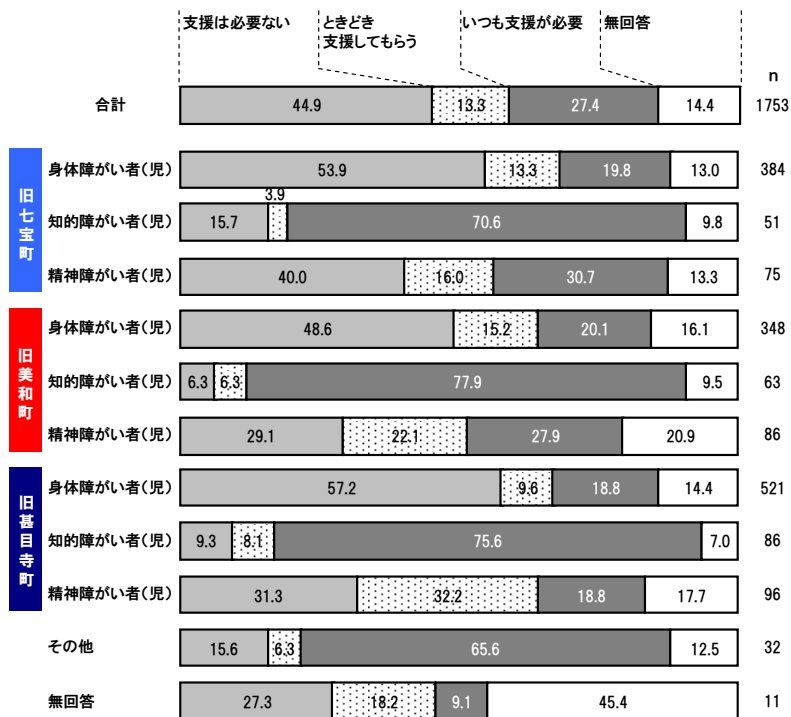
## ⑦ 金銭管理や書類の手続きについて



「いつも支援が必要」の割合では、全体で 27.4%となっており、知的障がい者(児)が 75.5%と最も多くなっています。

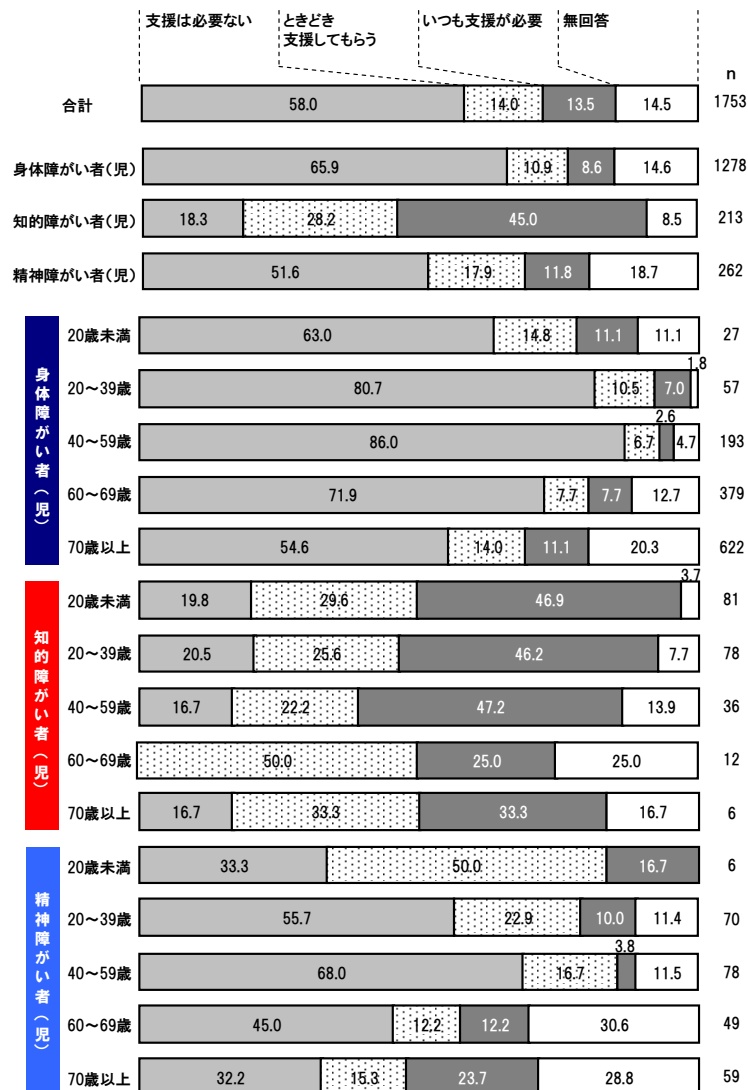
「いつも支援が必要」の割合では、知的障がい者(児)の 20歳未満が 84.0%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 20~39歳が 74.4%、知的障がい者(児)の 40~59歳と 60~69歳がともに 66.6%などとなっています。





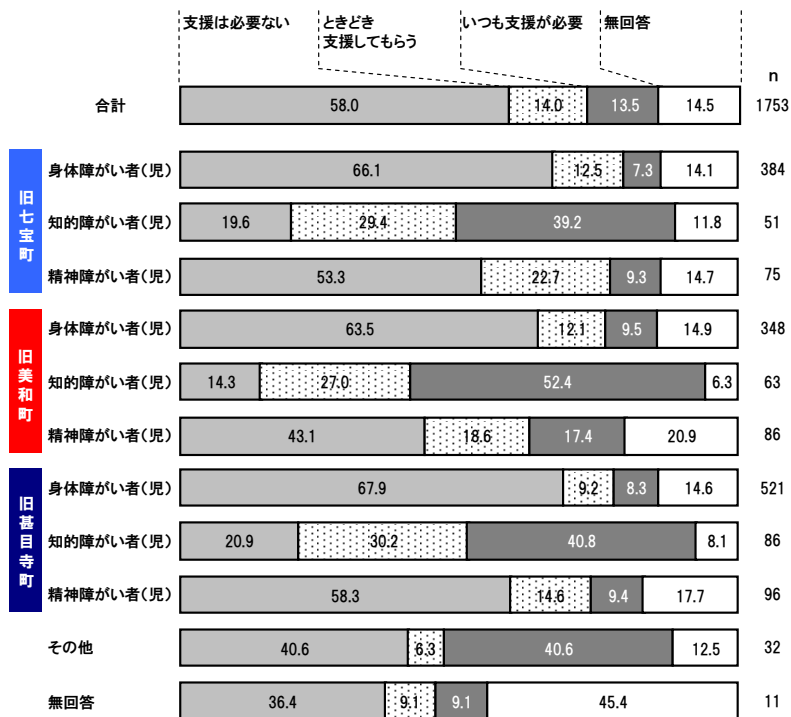
「いつも支援が必要」の割合では、旧美和町の知的障がい者(児)が 77.9% と最も多く、次いで、旧甚目寺町の知的障がい者(児)が 75.6%、旧七宝町の知的障がい者(児)が 70.6% などとなっています。

## ⑧ 日常会話や意思を伝えることについて



「いつも支援が必要」の割合では、全体で 13.5%となっており、知的障がい者(児)が 45.0%と最も多くなっています。

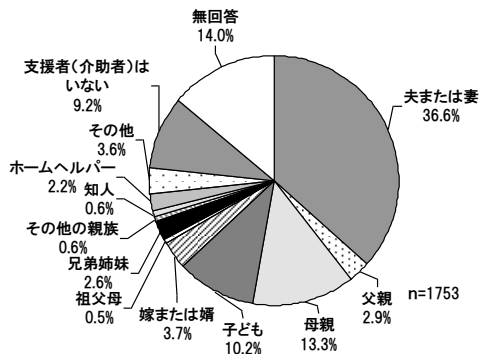
「いつも支援が必要」の割合では、知的障がい者(児)の 20歳未満が 46.9%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 40~59歳が 47.2%、知的障がい者(児)の 20~39歳が 46.2%などとなっています。



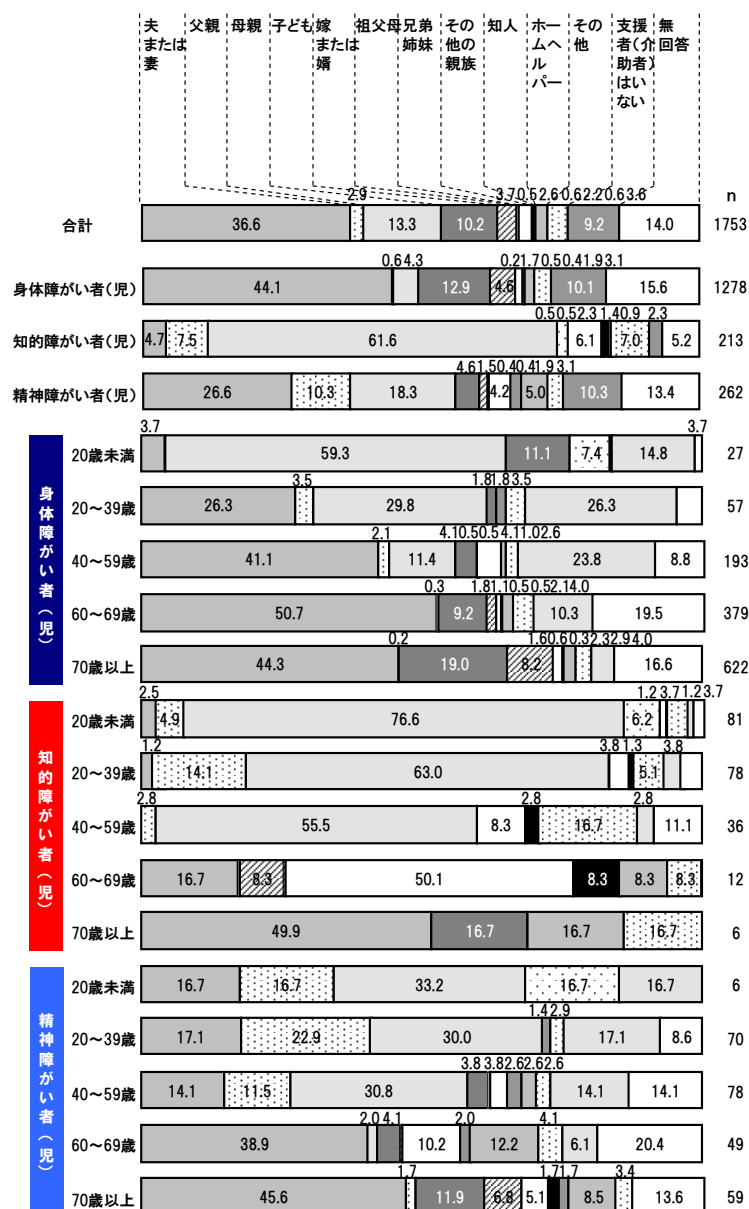
「いつも支援が必要」の割合では、旧美和町の知的障がい者(児)が 52.4% と最も多く、次いで、旧甚目寺町の知的障がい者(児)が 40.8%、その他の居住地区が 40.6% となっています。

## 5. 支援者(介助者)の状況について

### (1) 主な支援者(介助者)【問12】

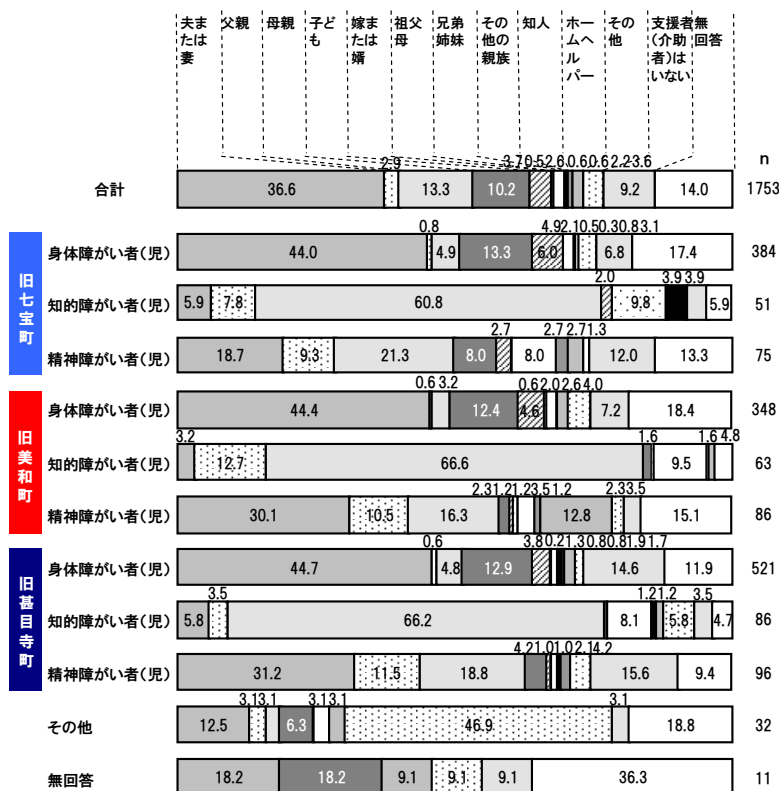


全体では、無回答を除き、「夫または妻」が36.6%と最も多く、次いで、「母親」が13.3%、「子ども」が10.2%、「支援者(介護者)はいない」が9.2%などとなっています。



「夫または妻」の割合では、身体障がい者(児)が44.1%と最も多く、「母親」の割合では、知的障がい者(児)が61.6%と最も多くなっています。

「夫または妻」の割合では、身体障がい者(児)の60~69歳が50.7%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の70歳以上が49.9%、次いで、精神障がい者(児)の70歳以上が45.6%、身体障がい者(児)の70歳以上が44.3%などとなっています。「母親」の割合では、知的障がい者(児)の20歳未満が76.6%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の20~39歳が63.0%、身体障害者(児)の20歳未満が59.3%などとなっています。

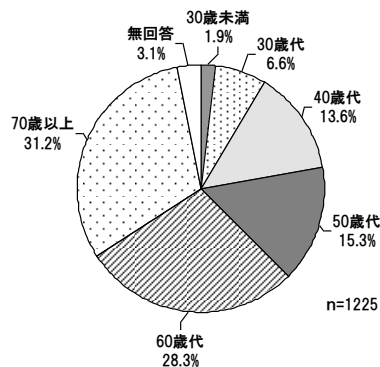


「夫または妻」の割合では、旧甚目寺町の身体障がい者(児)が 44.7%と最も多く、次いで、旧美和町の身体障がい者(児)が 44.4%、旧七宝町の身体障がい者(児)が 44.0%などとなっています。「母親」の割合では、旧美和町の知的障がい者(児)が 66.6%と最も多く、次いで、旧甚目寺町の知的障がい者(児)が 66.2%、旧七宝町の知的障がい者(児)が 60.8%などとなっています。

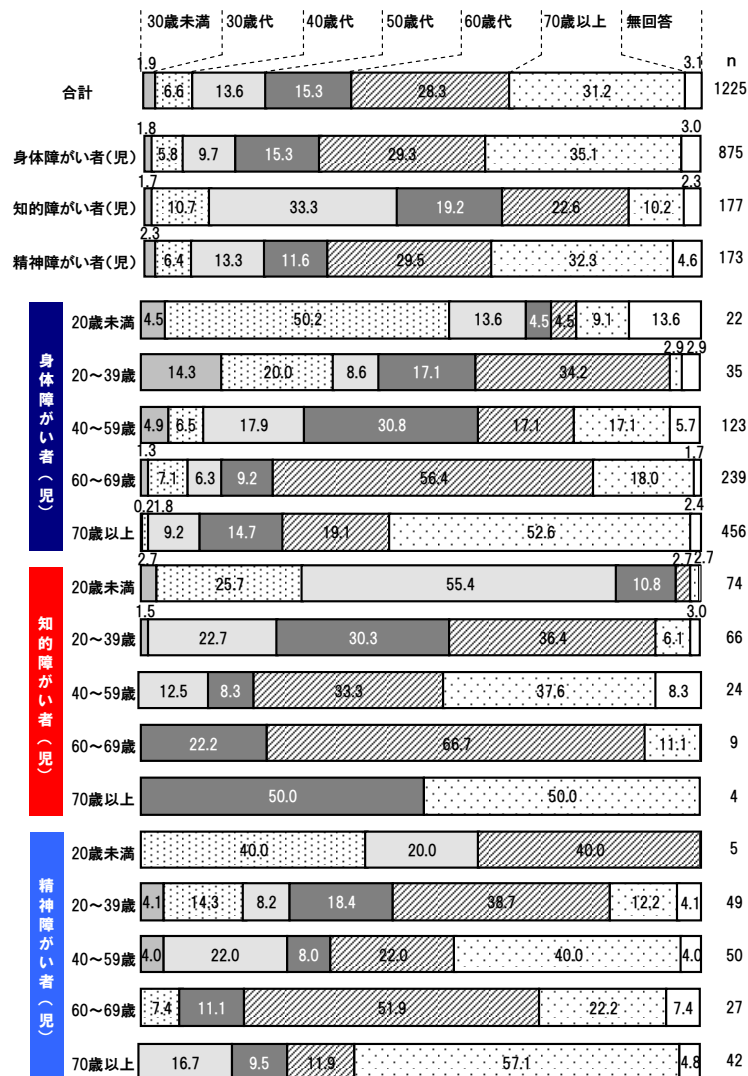
(主なその他記入)

- ✚ グループホーム・デイサービスの職員。
- ✚ 病院や入所施設職員(支援員)。
- ✚ 生活支援員。
- ✚ 職場の職員の方。
- ✚ 成年後見人。

【問12】で1～7に○をした方  
 (2)親族の主な支援者(介助者)の年齢【問12-①】

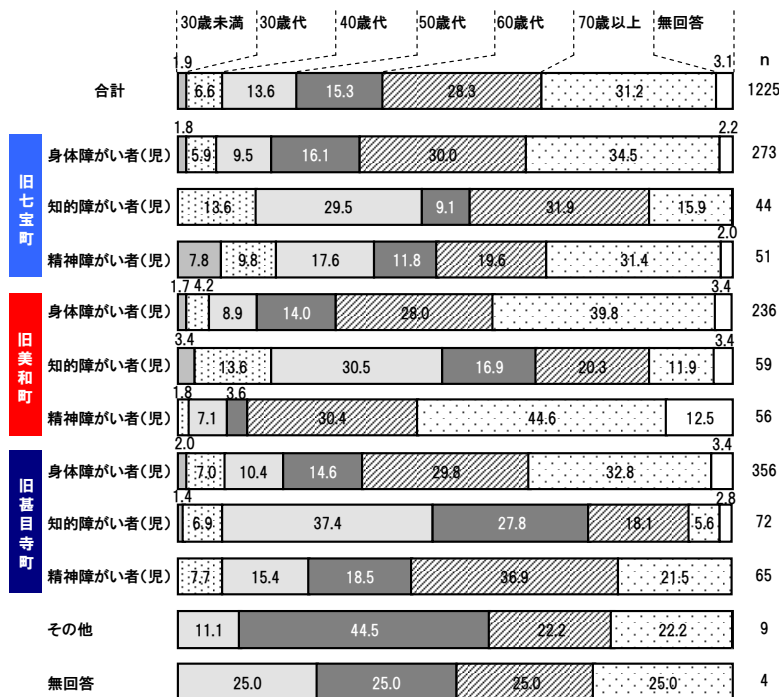


全体では、支援者(介助者)の年齢が「70歳以上」が31.2%と最も多く、次いで、「60歳代」が28.3%、「50歳代」が15.3%、「40歳代」が13.6%などとなっています。



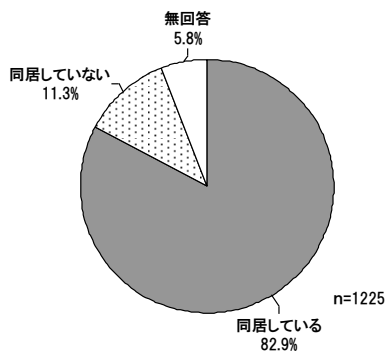
支援者(介助者)の年齢が「70歳以上」の割合では、身体障がい者(児)が35.1%と最も多く、「60歳代」の割合では、精神障がい者(児)の29.5%が最も多くなっています。

支援者(介助者)の年齢が「70歳以上」の割合では、精神障がい者(児)の70歳以上が57.1%と最も多く、次いで、身体障がい者(児)の70歳以上が52.6%、知的障がい者(児)の70歳以上が50.0%などとなっています。60歳代の割合では、知的障がい者(児)の60～69歳66.7%と最も多く、次いで、身体障がい者(児)の60～69歳が56.4%、精神障がい者(児)の60～69歳が51.9%などとなっています。

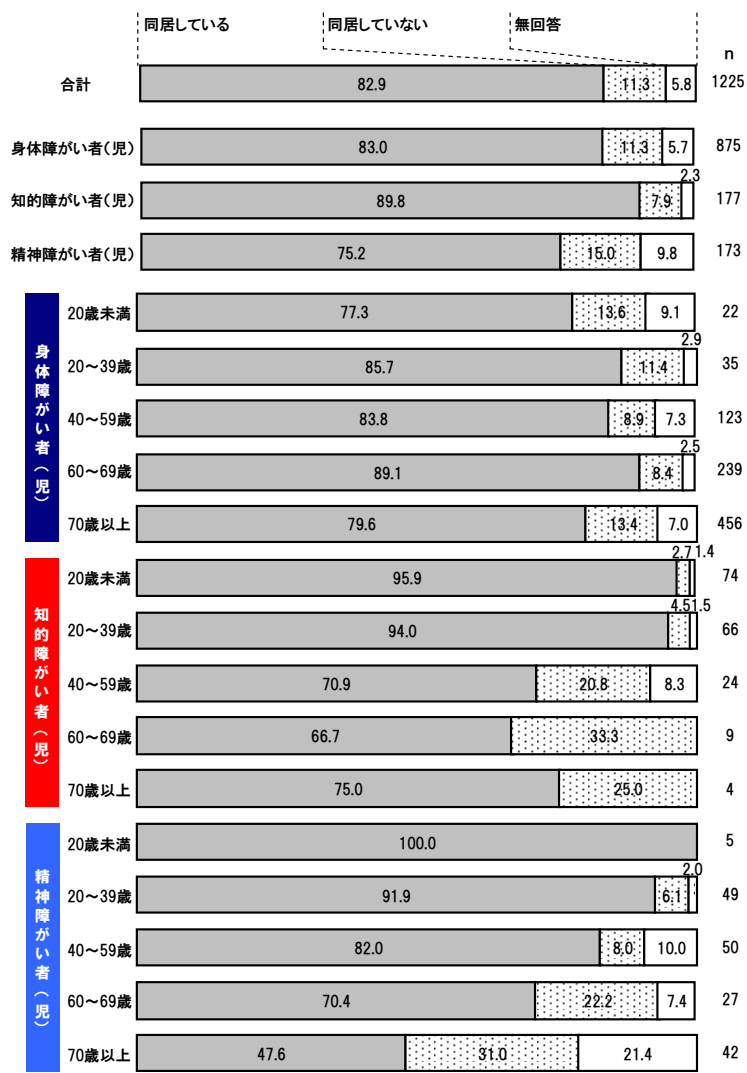


支援者(介助者)の年齢が「70歳以上」の割合では、旧美和町の精神障がい者(児)が44.6%と最も多く、次いで、旧美和町の身体障がい者(児)が39.8%、旧七宝町の身体障がい者(児)が34.5%、などとなっています。

【問12】で1～7に○をした方  
 (3)主な支援者(介助者)との同居【問12-②】



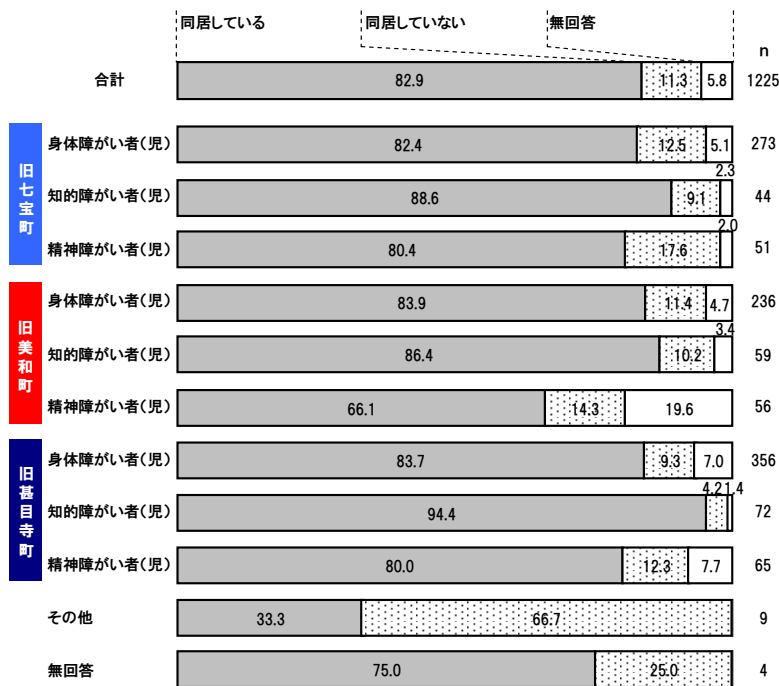
全体では、「同居している」が 82.9%を占め、「同居していない」が 11.3%となっています。



「同居していない」割合では、精神障がい者(児)が 15.0%と最も多く、次いで、身体障がい者(児)が 11.3%などとなっています。

「同居していない」割合では、知的障がい者(児)の 60～69歳が 33.3%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)の 70歳以上が 31.0%、知的障がい者(児)の 70歳以上が 25.0%などとなっています。

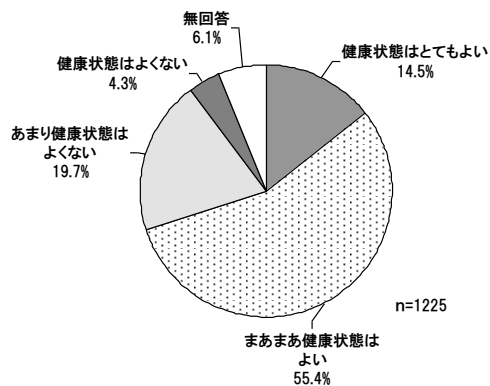




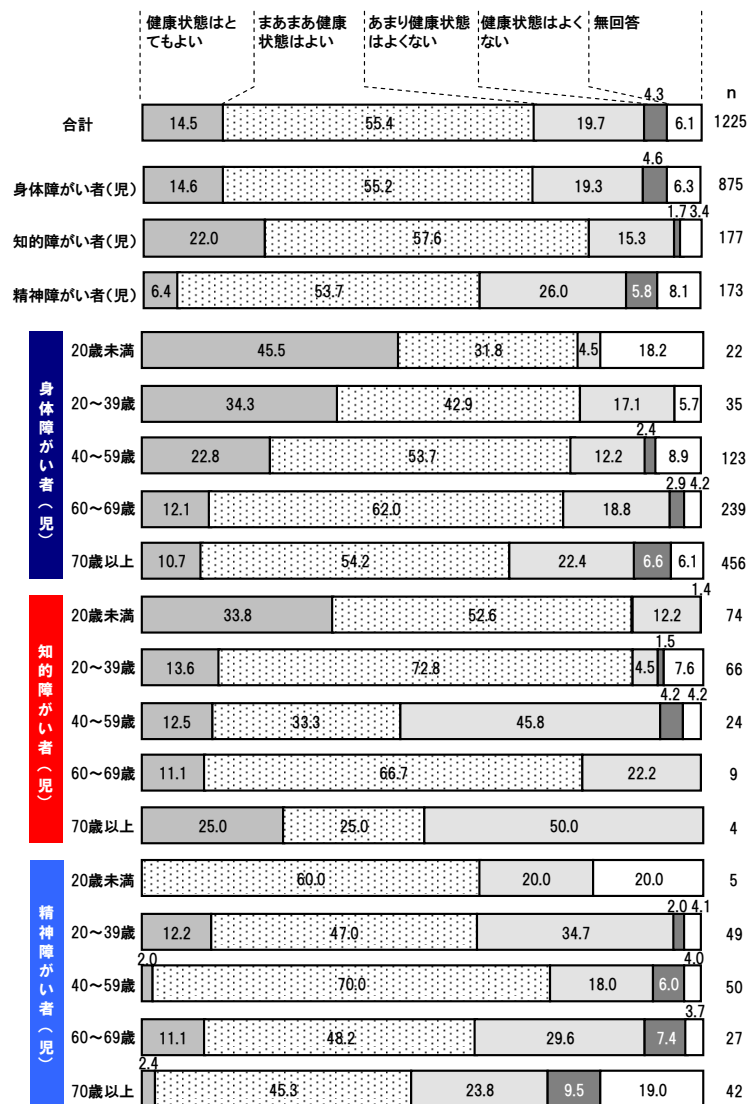
「同居していない」割合では、その他の居住地区が66.7%と最も多く、次いで、旧七宝町の精神障がい者(児)が17.6%、旧美和町の精神障がい者(児)が14.3%などとなっています。

【問12】で1～7に○をした方

(4)主な支援者(介助者)の健康状態(身体と精神面)【問12-③】

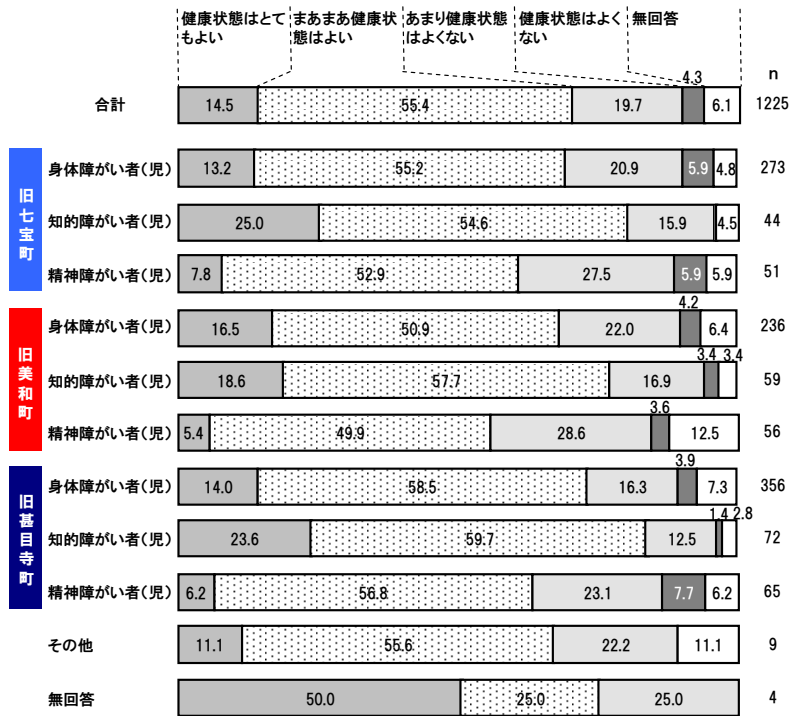


全体では、主観的健康感が“良い”割合(「健康状態はとてもよい」+「まあまあ健康状態はよい」を合わせた割合)が 69.9%を占め、一方、主観的健康感が“悪い”割合(「健康状態はよくない」+「あまり健康状態はよくない」を合わせた割合)が 24.0%となっています。



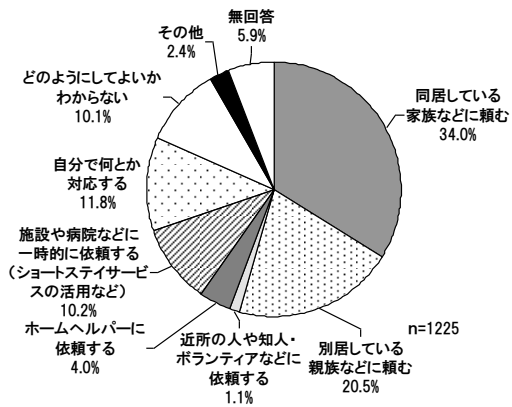
主観的健康感が“悪い”割合では、精神障がい者(児)の支援者が 31.8%と最も多く、次いで、身体障がい者(児)の支援者が 23.9%、知的障がい者(児)の支援者が 17.0%となっています。

主観的健康感が“悪い”割合では、知的障がい者(児)の 40～59歳と 70歳以上の支援者が 50.0%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)の 60～69歳が 37.0%、20～39歳の支援者が 36.7%、精神障がい者(児)の 70歳以上の支援者が 33.3%などとなっています。

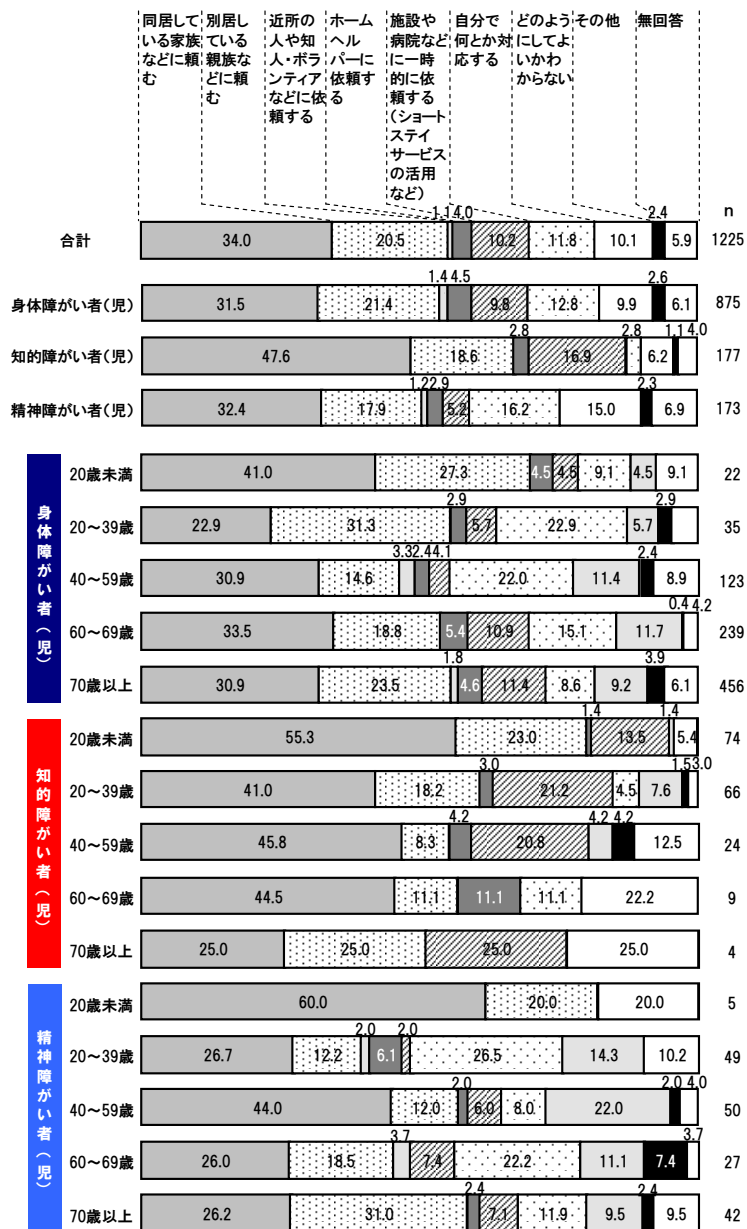


主観的健康感が“悪い”割合では、旧七宝町の精神障がい者(児)の支援者が33.4%と最も多く、次いで、旧美和町の精神障がい者(児)の支援者が32.2%、旧甚目寺町の精神障がい者(児)の支援者が30.8%などとなっています。

【問12】で1~7に○をした方  
 (5)主な支援者(介助者)の緊急時での対応【問12-④】

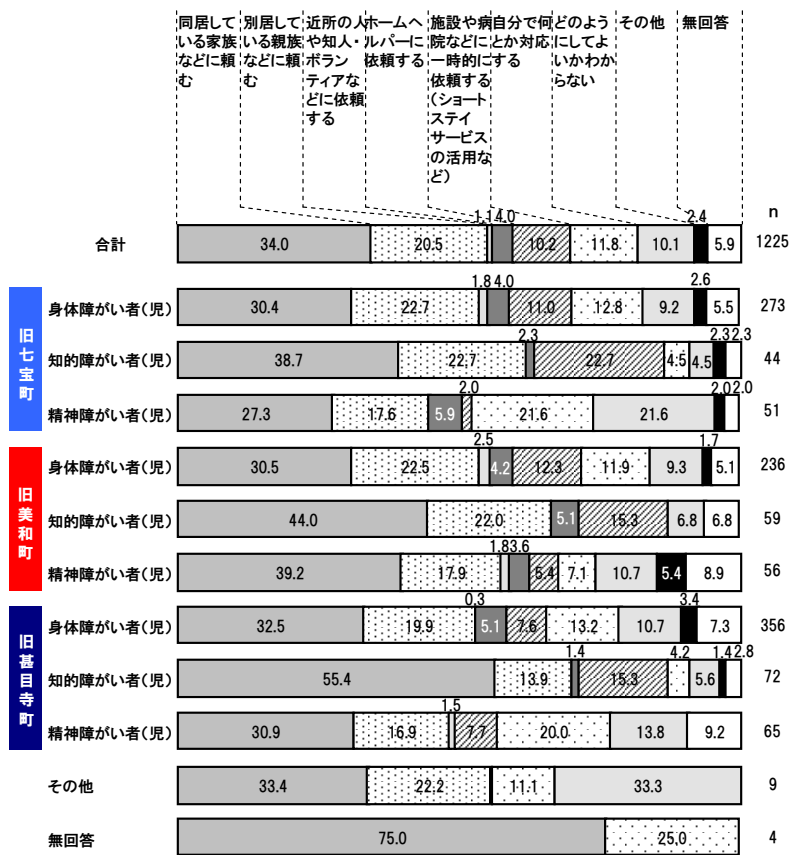


全体では、「同居している家族などに頼む」が34.0%と最も多く、次いで、「別居している親族などに頼む」が20.5%、「自分で何とか対応する」が11.8%などとなっています。一方、「どのようにしてよいかわからない」が10.1%などとなっています。



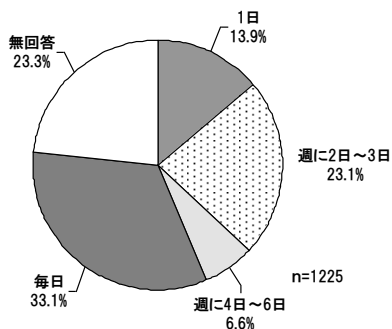
「どのようにしてよいかわからない」割合では、精神障がい者(児)が15.0%と最も多く、次いで、身体障がい者(児)が9.9%、知的障がい者(児)が6.2%となっています。

「どのようにしてよいかわからない」割合では、精神障がい者(児)の40~59歳が22.0%と最も多く、次いで、20~39歳が14.3%、身体障がい者(児)の60~69歳が11.7%、40~59歳が11.4%などとなっています。

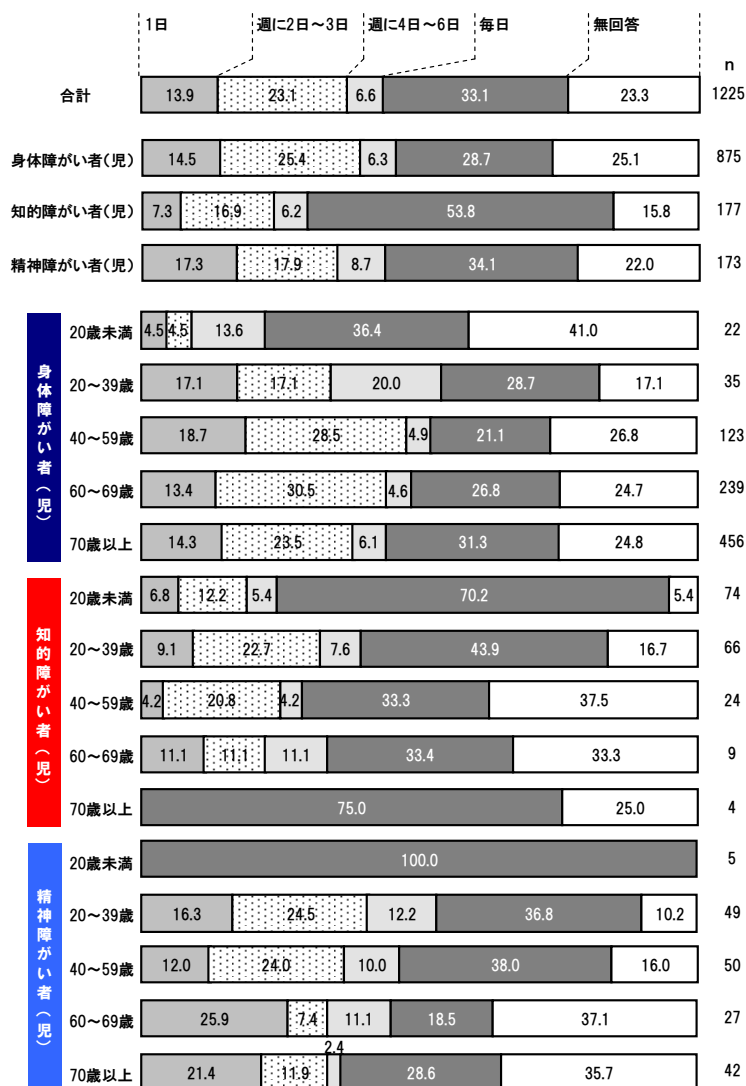


「どのようにしてよいかわからない」割合では、その他の居住地区が33.3%と最も多く、次いで、旧七宝町の精神障がい者(児)が21.6%、旧甚目寺町の精神障がい者(児)が13.8%などとなっています。

【問12】で1～7に○をした方  
 (6)支援に必要な1週間の日数【問12-⑤】



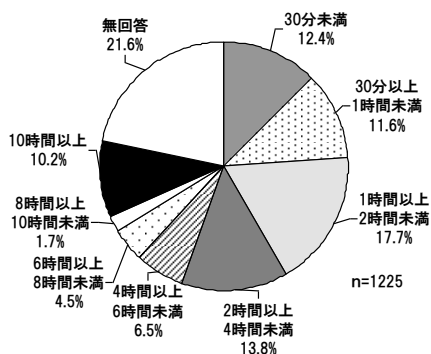
全体では、無回答を除き、「毎日」が33.1%と最も多く、次いで、「週に2日～3日」が23.1%、「1日」が13.9%、「週に4日～6日」が6.6%となっています。



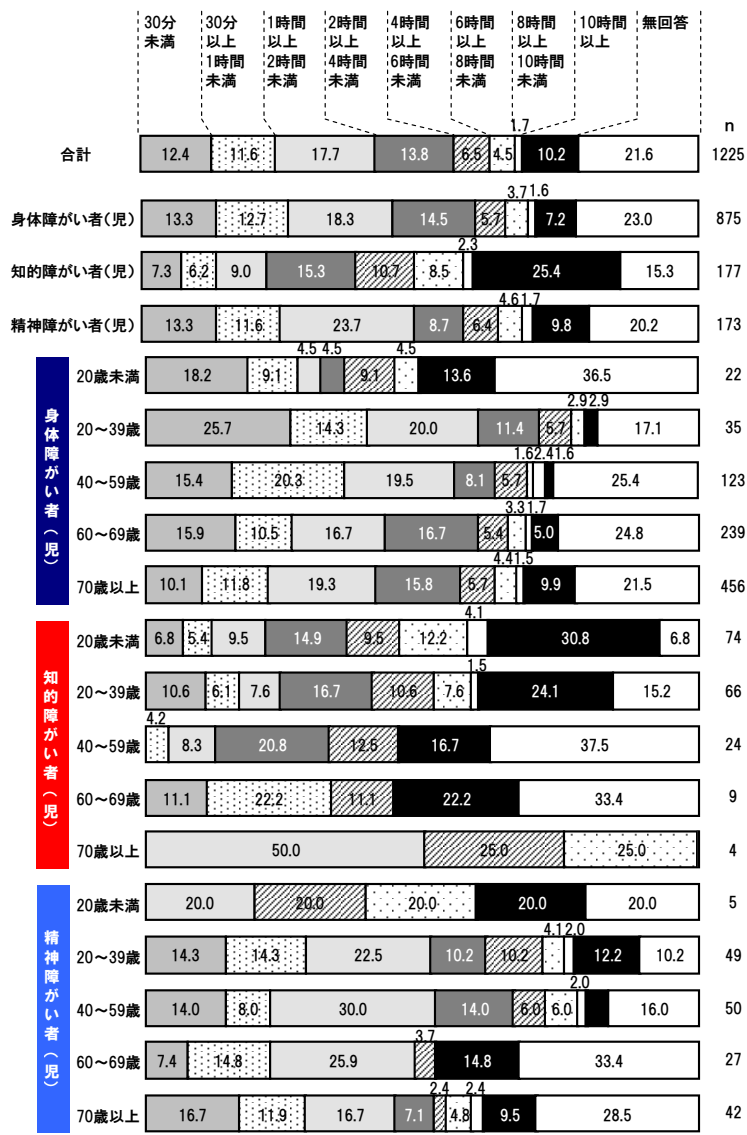
「毎日」の割合では、知的障がい者(児)が53.8%と最も多く、次いで精神障がい者(児)が34.1%、身体障がい者(児)が28.7%となっています。

「毎日」の割合では、精神障がい者(児)の20歳未満が100.0%、知的障がい者(児)の70歳以上が75.0%、20歳未満が70.2%などとなっています。

【問12】で1～7に○をした方  
 (7)支援に必要な1日の延べ時間【問12-⑥】



全体では、無回答を除き、「1時間以上2時間未満」が17.7%と最も多く、次いで、「2時間以上4時間未満」が13.8%、「30分未満」が12.4%、「30分以上1時間未満」が11.6%などとなっています。

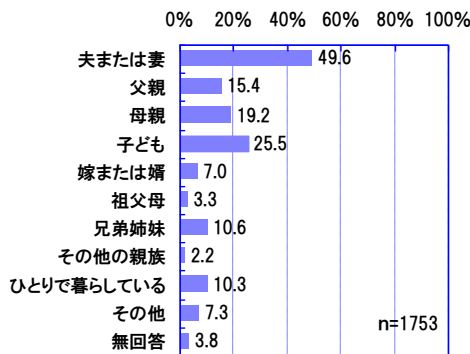


“8時間以上”の割合では、身体障がい者(児)が8.8%、知的障がい者(児)が27.7%、精神障がい者(児)が11.5%となっています。

“8時間以上”の割合では、知的障がい者(児)の20歳未満が34.9%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の20～39歳が25.6%、知的障がい者(児)の60～69歳が22.2%、精神障がい者(児)の20歳未満が20.0%などとなっています。

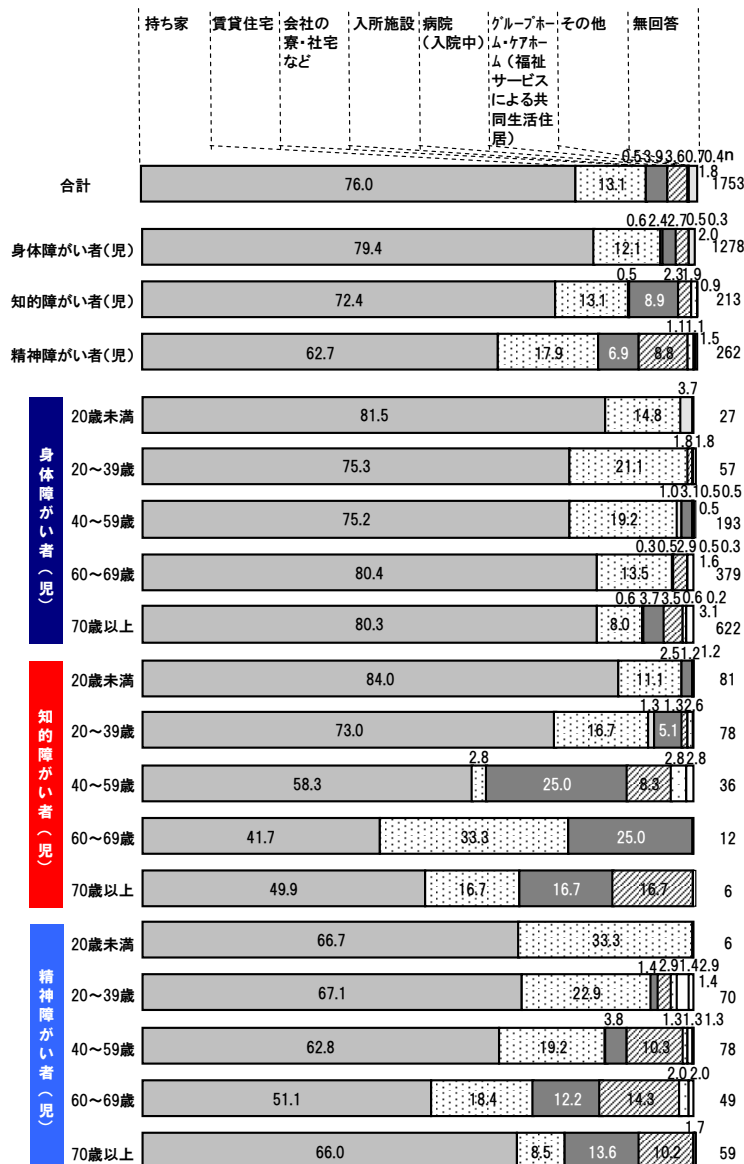
## 6. 日常の暮らしについて

### (1)同居されている方(複数回答)【問13】



「夫または妻」が 49.6%と最も多く、次いで、「子ども」が 25.5%、「母親」が 19.2%、「父親」が 15.4%などとなっています。

### (2)住まいの状況【問14】

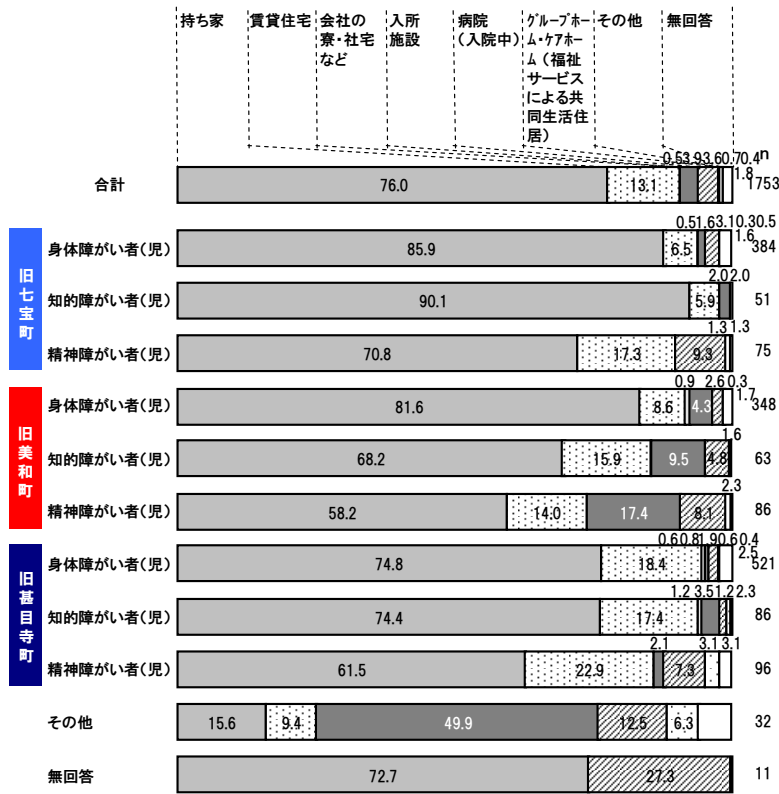


全体では、「持ち家」が 76.0%を占めています。

「入所施設」の割合では、知的障がい者(児)の 40~59歳と 60~69歳がともに 25.0%と最も多く、次いで、70歳以上が 16.7%などとなっています。

また、「賃貸住宅」の割合では、精神障がい者(児)の 20歳未満と知的障がい者(児)の 60~69歳がともに 33.3%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)の 20~39歳が 22.9%などとなっています。





「入所施設」の割合では、その他の居住地区が49.9%と最も多く、次いで、旧美和町の精神障がい者(児)が17.4%、知的障がい者(児)が9.5%などとなっています。

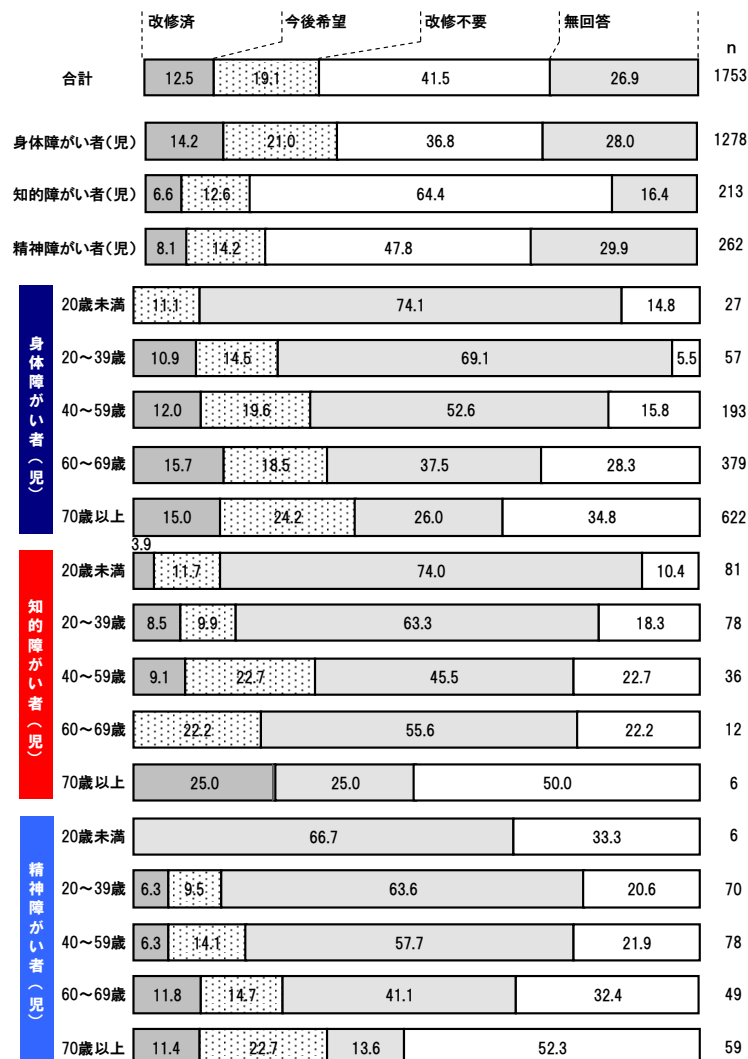
「賃貸住宅」の割合では、旧甚目寺町の精神障がい者(児)が22.9%と最も多く、次いで、身体障がい者(児)が18.4%などとなっています。

【問14】で1～3に○をした方  
 (3)住宅の改修について【問15-①】

「今後希望」の割合では、「風呂」が 20.1%と最も多く、次いで、「玄関(段差など)」が 19.1%、「トイレ」が 15.4%、「階段」が 13.6%などとなっています。

	改修済	今後希望	改修不要	無回答	n
① 玄関(段差など)	12.5	19.1	41.5	26.9	1570
② 風呂	15.2	20.1	37.9	26.8	
③ トイレ	19.2	15.4	38.2	27.2	
④ 居室	9.9	11.5	46.1	32.5	
⑤ 台所	8.9	11.1	47.7	32.3	
⑥ 階段	8.5	13.6	45.4	32.5	
⑦ 廊下	9.6	10.1	47.4	32.9	
⑧ その他	5.1	28.3	64.5		

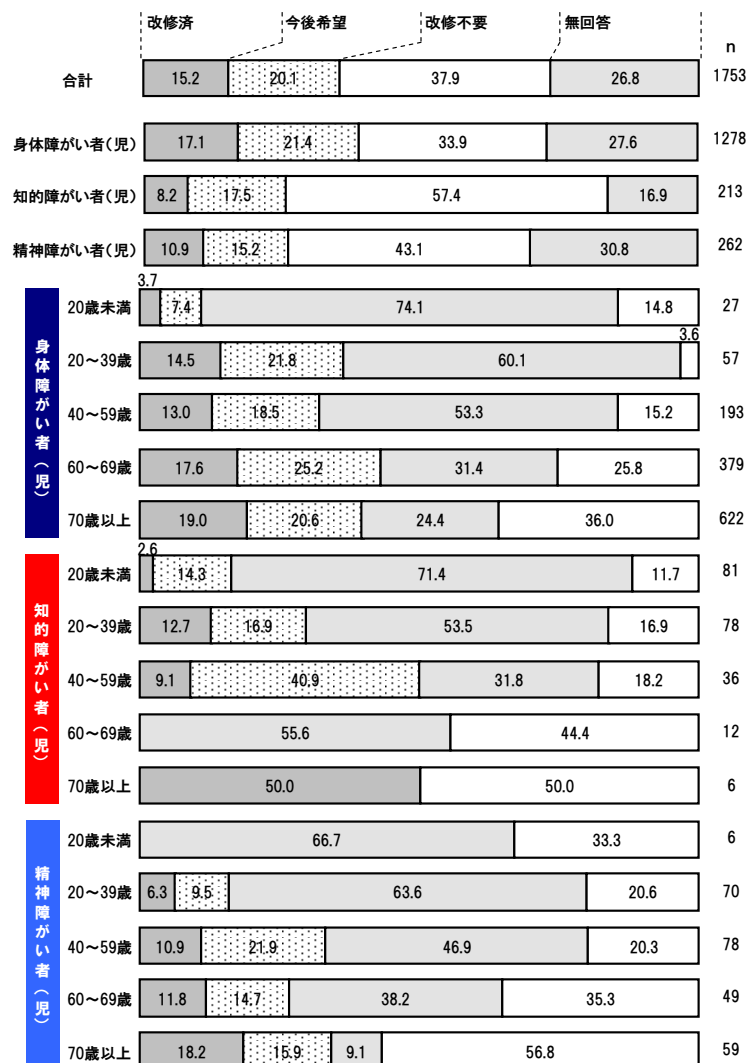
# ① 玄関(段差など)



「今後希望」の割合では、身体障がい者(児)が 21.0%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)が 14.2%、知的障がい者(児)が 12.6%となっています。

「今後希望」の割合では、身体障がい者(児)の 70 歳以上が 24.2%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 40~59 歳と精神障がい者(児)がともに 22.7%などとなっています。

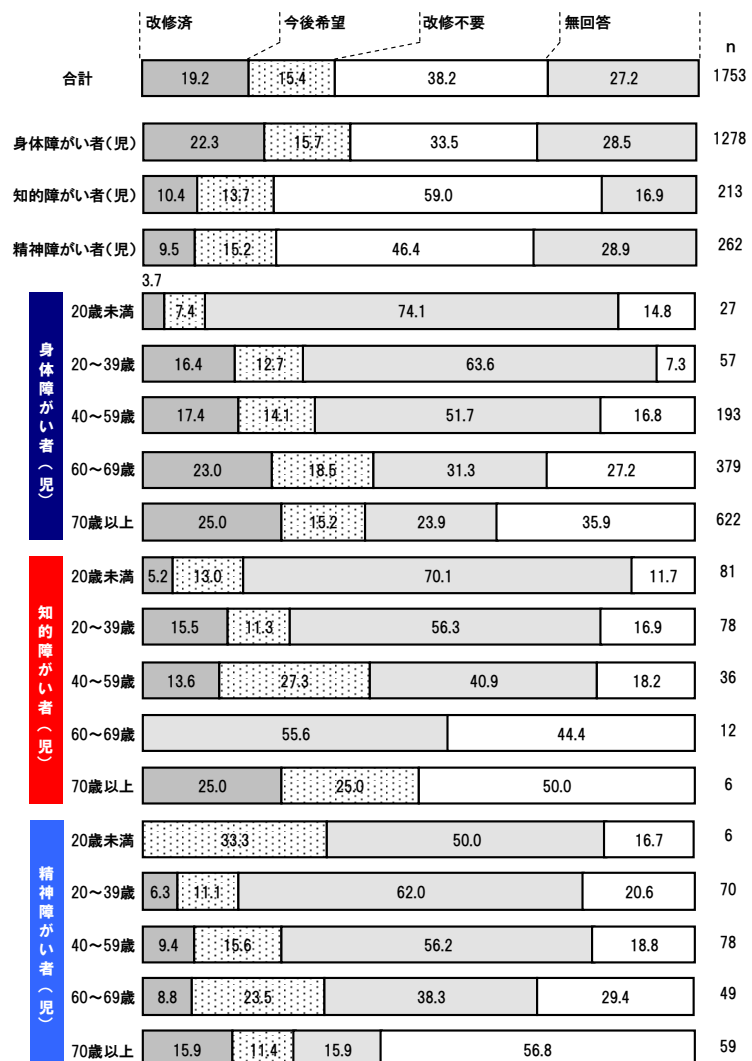
## ② 風呂



「今後希望」の割合では、身体障がい者(児)が 21.4%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)が 17.5%、精神障がい者(児)が 15.2%となっています。

「今後希望」の割合では、知的障害者(児)が 40.9%と最も多く、次いで、身体障害者(児)の 60～69 歳が 25.2%、精神障害者(児)の 40～59 歳が 21.9%、身体障害者(児)の 20～39 歳が 21.8%、身体障害者(児)の 70 歳以上が 20.6%などとなっています。

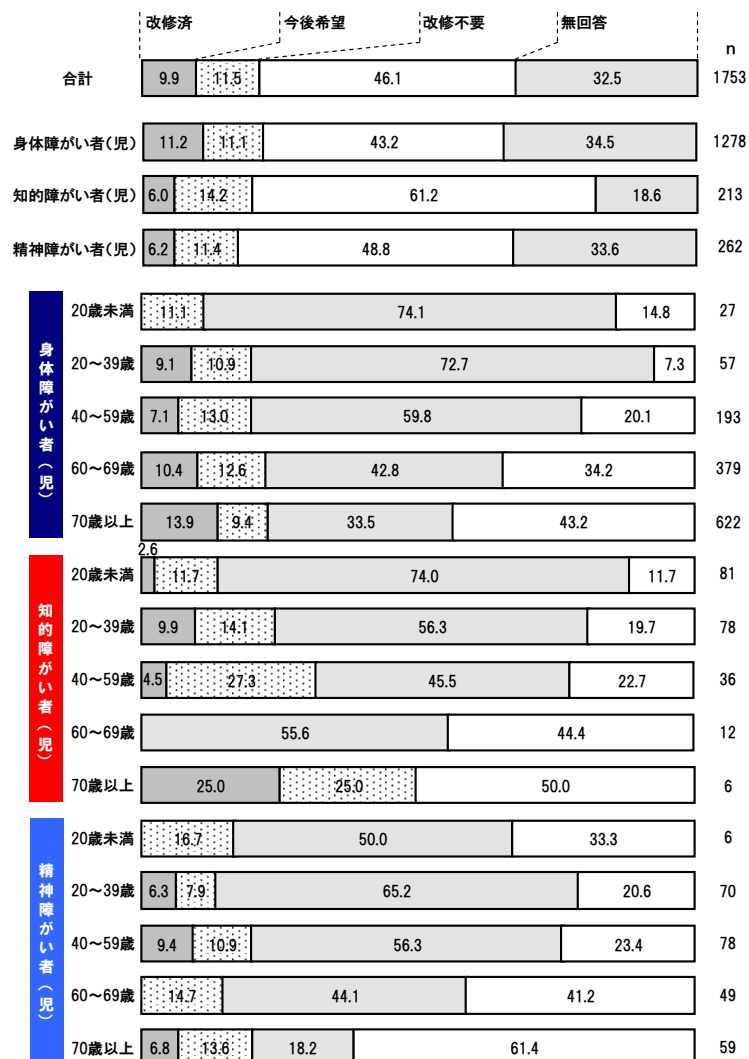
### ③ トイレ



「今後希望」の割合では、身体障がい者(児)が 15.7%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)が 15.2%、知的障がい者(児)が 13.7%となっています。

「今後希望」の割合では、精神障がい者(児)の 20 歳未満が 33.3%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 40~59 歳が 27.3%、知的障がい者(児)の 70 歳以上が 25.0%、精神障がい者(児)の 60~69 歳が 23.5%などとなっています。

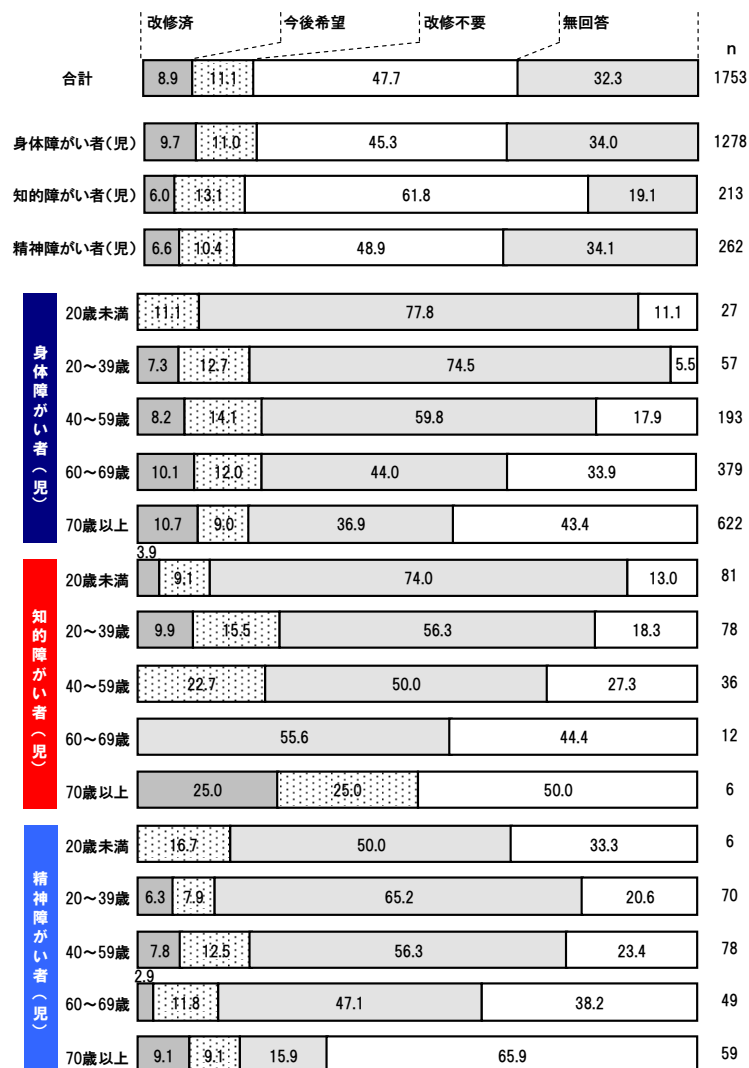
#### ④ 居室



「今後希望」の割合では、知的障がい者(児)が 14.2%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)が 11.4%、身体障がい者(児)が 11.1%となっています。

「今後希望」の割合では、知的障がい者(児)の 40～59歳が 27.3%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 70歳以上が 25.0%などとなっています。

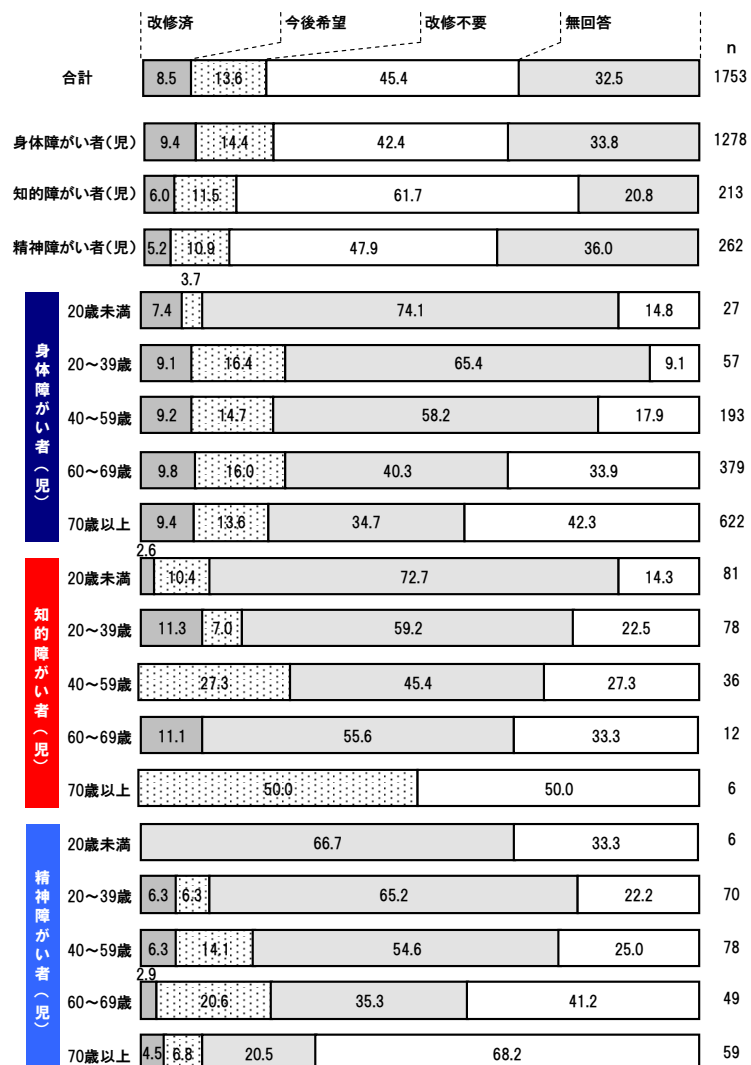
## ⑤ 台所



「今後希望」の割合では、知的障がい者(児)が 13.1%と最も多く、次いで、身体障がい者(児)が 11.0%、精神障がい者(児)が 10.4%となっています。

「今後希望」の割合では、知的障害者(児)の 70 歳以上が 25.0%と最も多く、次いで、知的障害者(児)の 40～59 歳が 22.7%などとなっています。

## ⑥ 階段

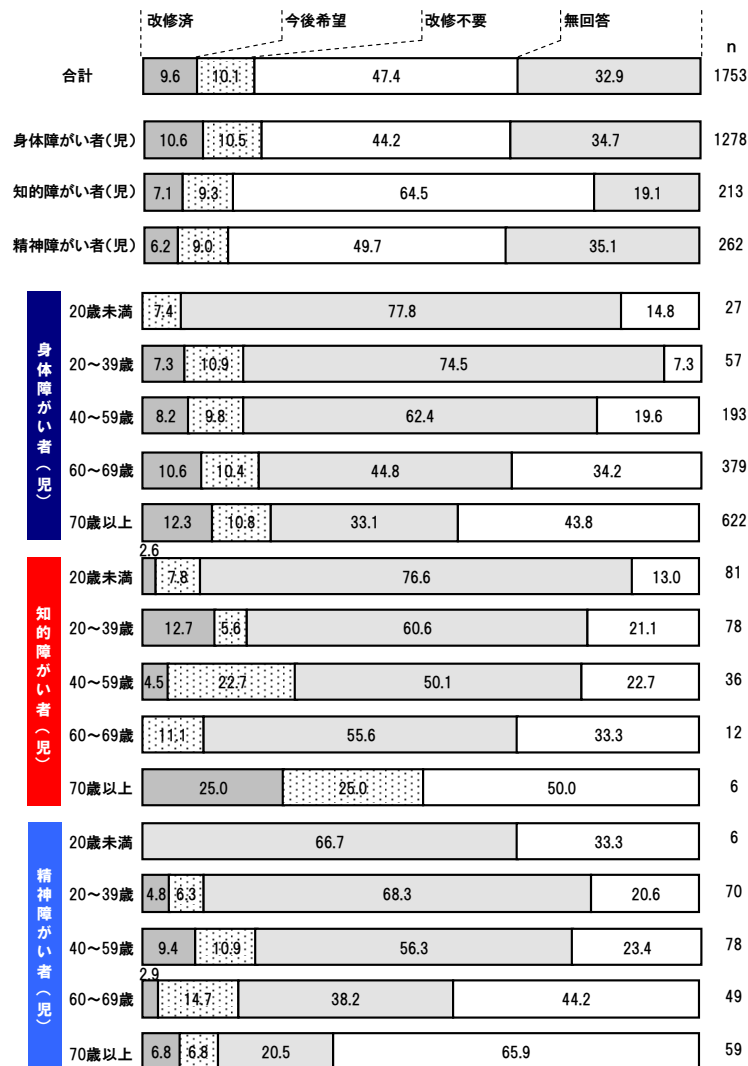


「今後希望」の割合では、身体障がい者(児)が 14.4%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)が 11.5%、精神障がい者(児)が 10.9%となっています。

「今後希望」の割合では、知的障害者(児)の 70 歳以上が 50.0%と最も多く、次いで、知的障害者(児)の 40～59 歳が 27.3%などとなっています。



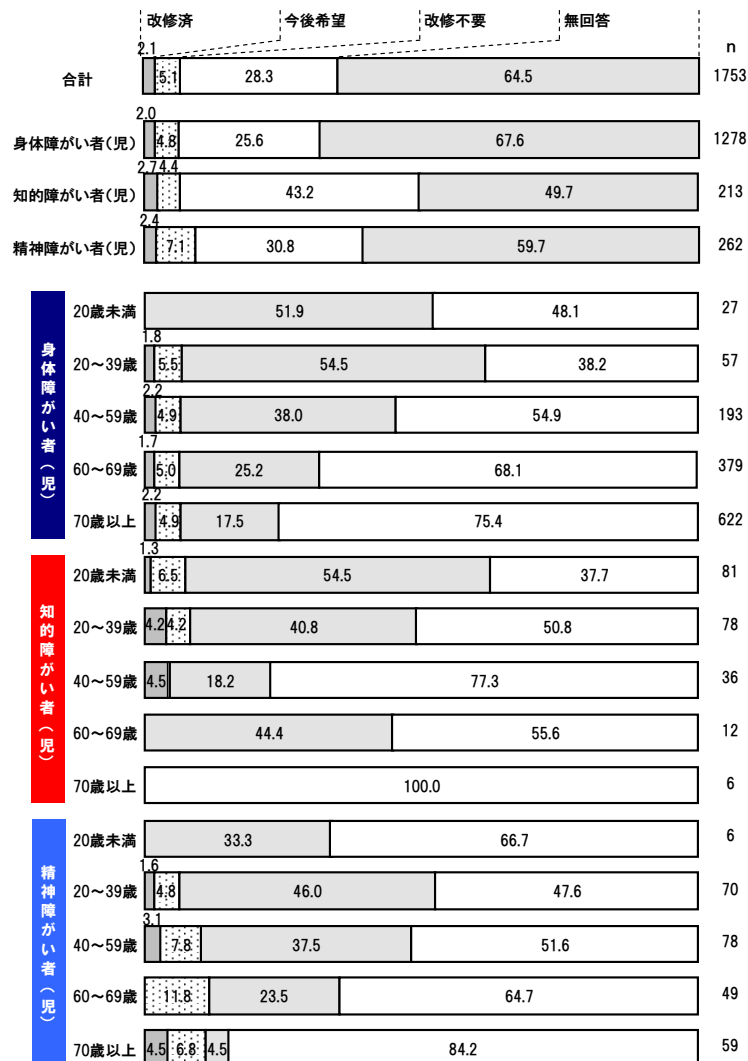
## ⑦ 廊下



「今後希望」の割合では、身体障がい者(児)が 10.5%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)が 9.3%、精神障がい者(児)が 9.0%となっています。

「今後希望」の割合では、知的障がい者(児)の 70 歳以上が 25.0%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 40～59 歳が 22.7%などとなっています。

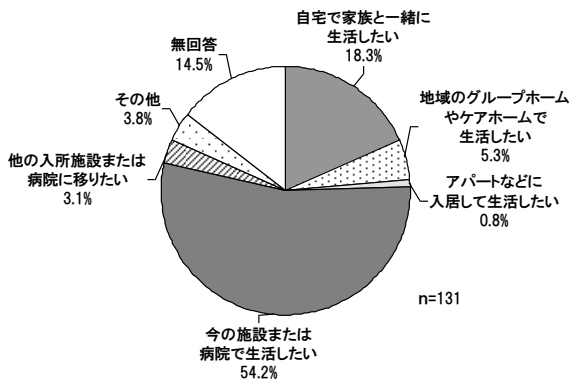
## ⑧ その他



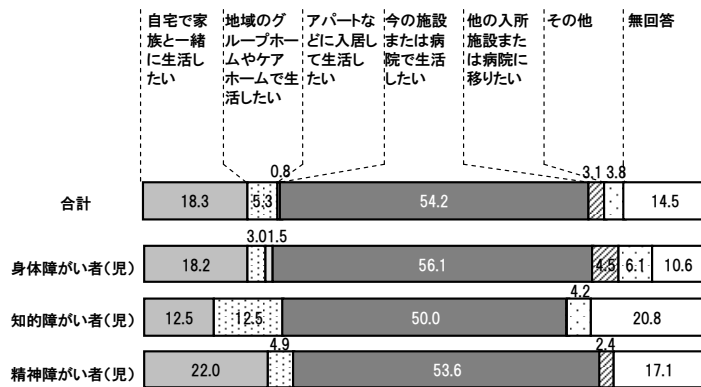
「今後希望」の割合では、精神障がい者(児)が7.1%と最も多く、次いで、身体障がい者(児)が4.8%、知的障がい者(児)が4.4%となっています。

「今後希望」の割合では、精神障がい者(児)の60~69歳が11.8%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)の40~59歳が7.8%などとなっています。

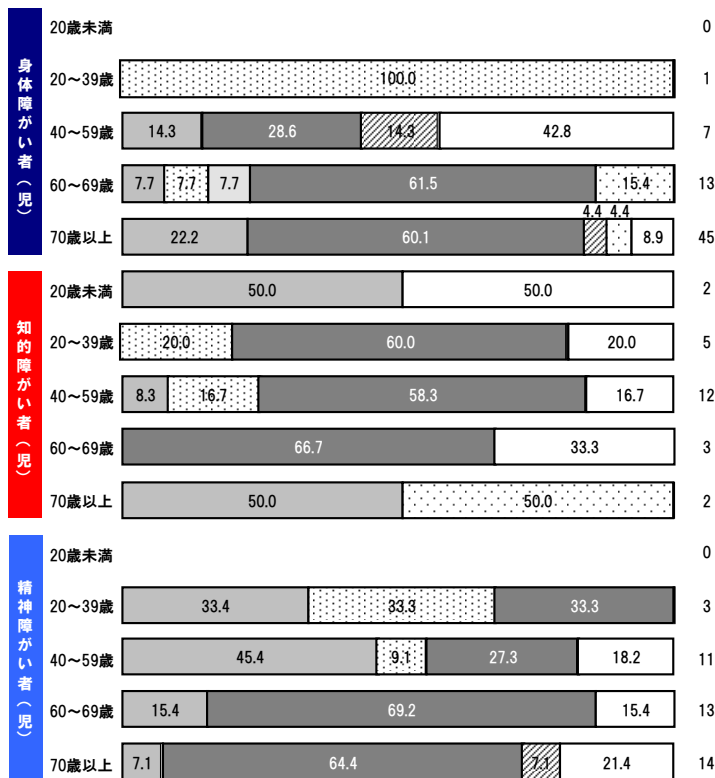
【問14】で4～5に○をした方  
 (3)今後の居住場所【問15-②】



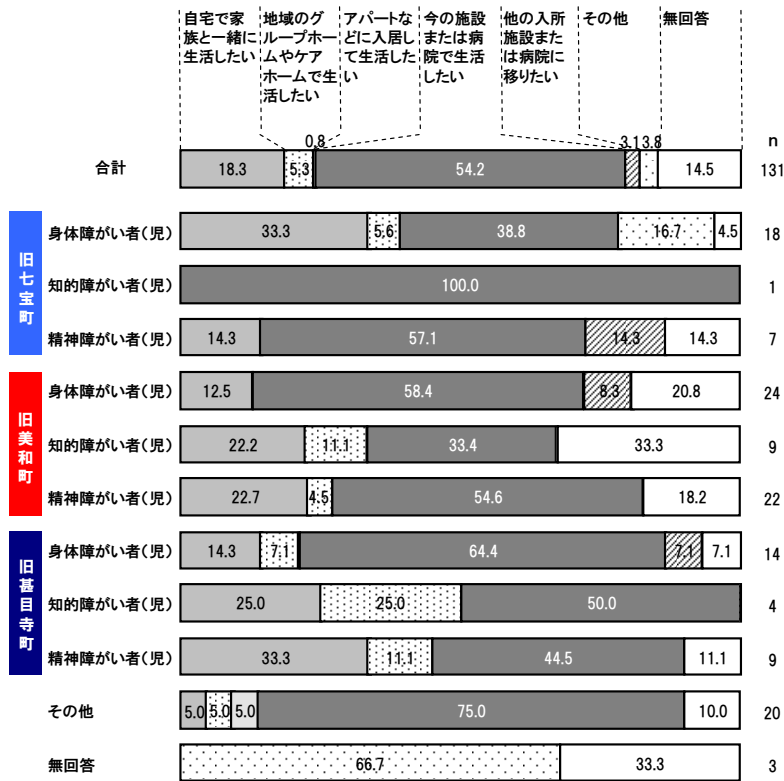
全体では、無回答を除き、「いまの施設または病院で生活したい」が54.2%と最も多く、次いで、「自宅で家族と一緒に生活したい」が18.3%、「地域のグループホームやケアホームで生活したい」が5.3%などとなっています。



「いまの施設または病院で生活したい」割合では、身体障がい者(児)が56.1%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)が53.6%、知的障がい者(児)が50.0%となっています。



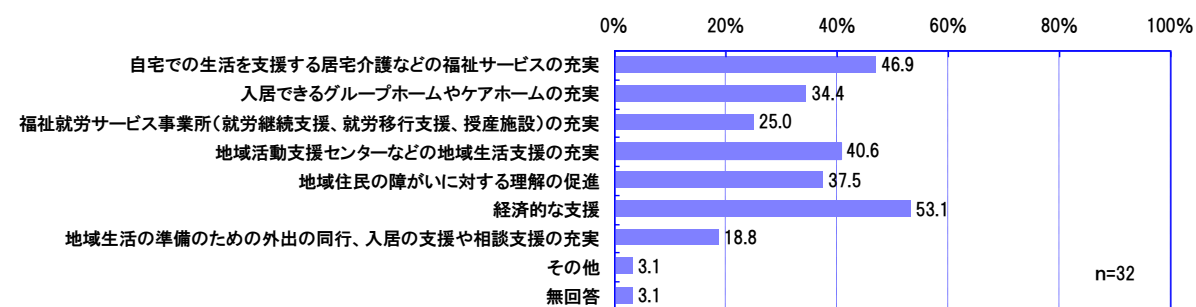
「いまの施設または病院で生活したい」割合では、精神障がい者(児)の60～69歳が69.2%、70歳以上が64.4%、知的障がい者(児)の60～69歳が66.7%となっています。



「いまの施設または病院で生活したい」割合では、旧七宝町の知的障がい者(児)が100.0%、その他の居住地区が75.0%、旧甚目寺町の身体障がい者(児)が64.4%などとなっています。

【問15-②】で1～3に○をした方  
**(4)日常生活に必要なこと(複数回答)【問15-③】**

「経済的な支援」が53.1%と最も多く、次いで、「自宅での生活を支援する居宅介護などの福祉サービスの充実」が46.9%、「地域活動支援センターなどの地域生活支援の充実」が40.6%、「地域住民の障がいに対する理解の促進」が37.5%、「入居できるグループホームやケアホームの充実」が34.4%などとなっています。

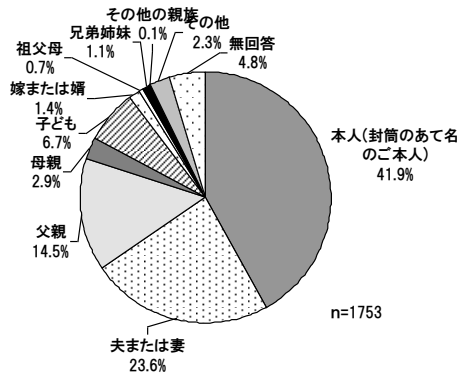


**(主なその他記入)**

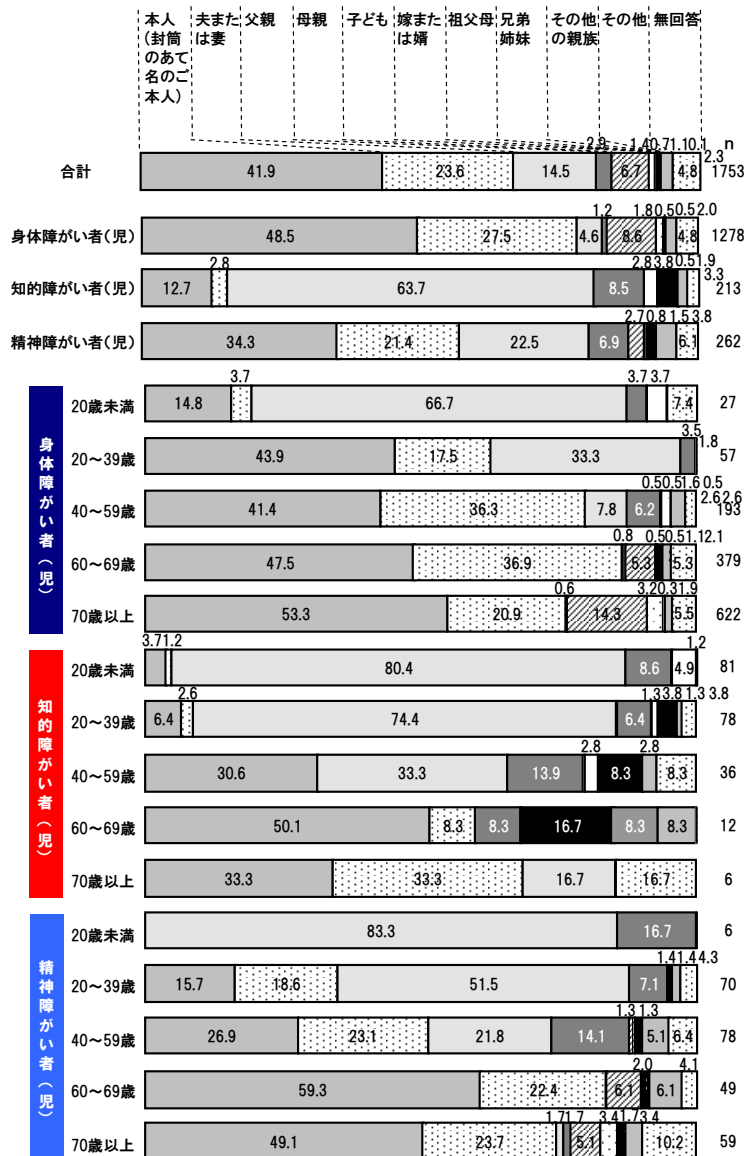
- ✚ どこか見守って下さる人のみえる安心な安全な場所を探しています。
- ✚ 福祉サービスの人材の質の向上！
- ✚ 人工透析中のため、透析食を作って配達してくれる所が欲しい。弁当屋さんなど、食費がかかるため。格安のものがほしい。

## 7. 収入の状況について

### (1) 世帯収入(総収入)の中心の人【問16】



全体では、「本人」が41.9%と最も多く、次いで、「夫または妻」が23.6%、「父親」が14.5%などとなっています。

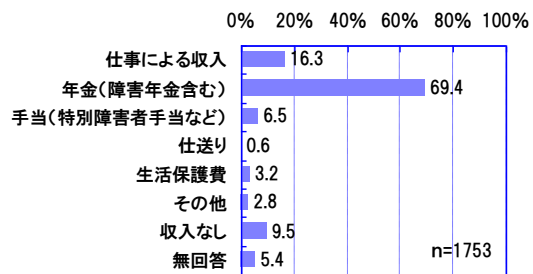


「本人」の割合では、身体障がい者(児)が48.5%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)が34.3%、知的障がい者(児)が12.7%となっています。

「本人」の割合では、精神障がい者(児)の60~69歳が59.3%と最も多く、次いで、身体障がい者(児)の70歳以上が53.3%、知的障がい者(児)の60~69歳が50.1%などとなっています。

## (2)ご本人の収入の種類【問17】

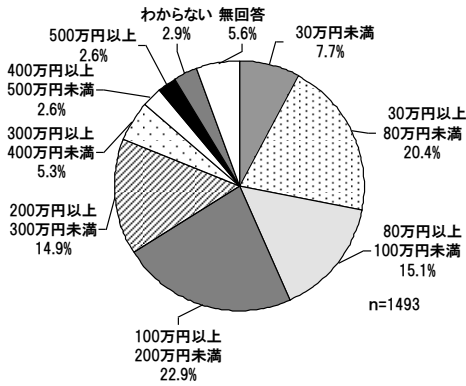
※ご本人が児童（18歳未満）の場合、「7. 収入なし」に○（複数回答）



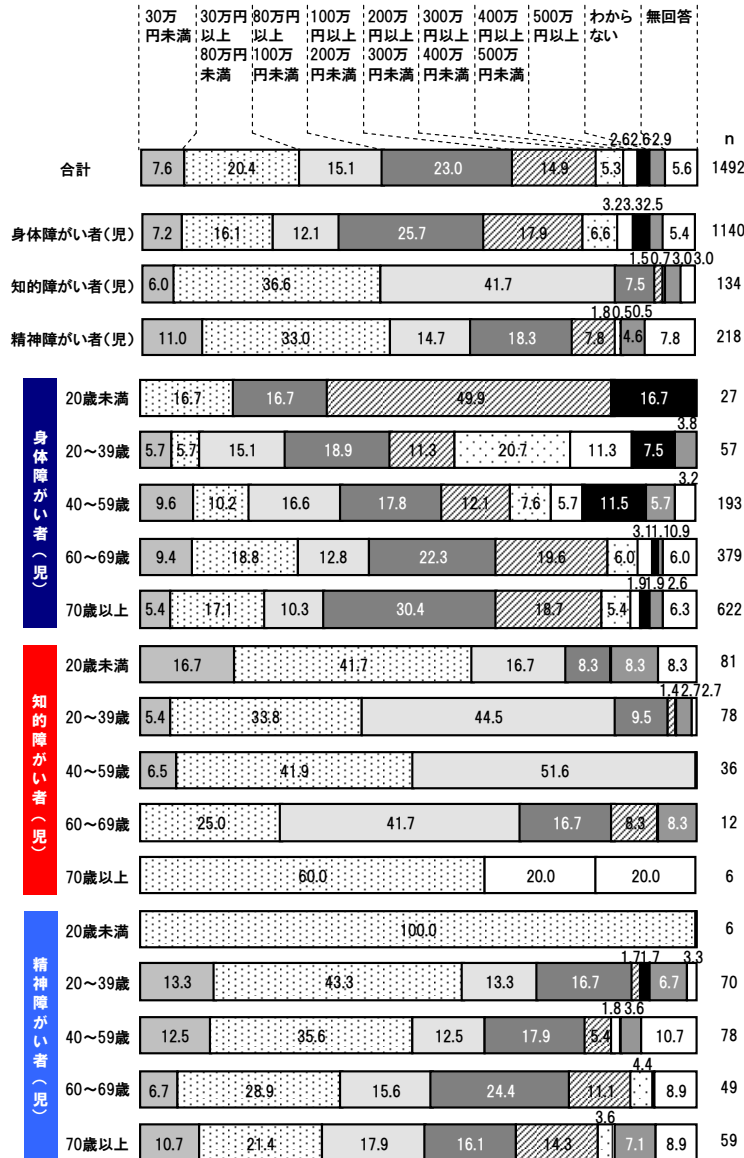
「年金(障害者年金含む)」が 69.4%を占めています。

【問17】で1～6に○をした方にお聞きします。

(3)ご本人の年間の収入【問18】



全体では、「100万円以上 200万円未満」が22.9%と最も多く、次いで、「30万円以上 80万円未満」が20.4%、「80万円以上 100万円未満」が15.1%、「200万円以上 300万円未満」が14.9%などとなっています。



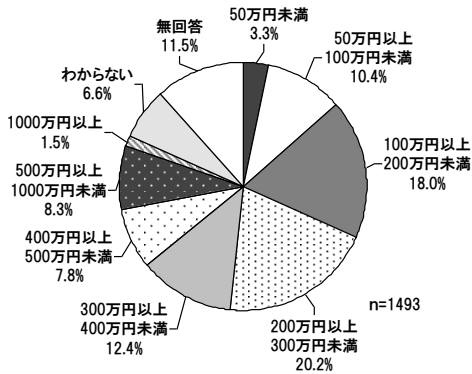
“100万円未満”の割合では、知的障がい者(児)が84.3%で最も多く、次いで、精神障がい者(児)が58.7%、身体障がい者(児)が35.4%となっています。

“100万円未満”の割合では、知的障がい者(児)の40～59歳と精神障がい者(児)の20歳未満がともに100.0%、次いで、知的障がい者(児)の20～39歳が83.7%、知的障がい者(児)の20歳未満が75.1%などとなっています。

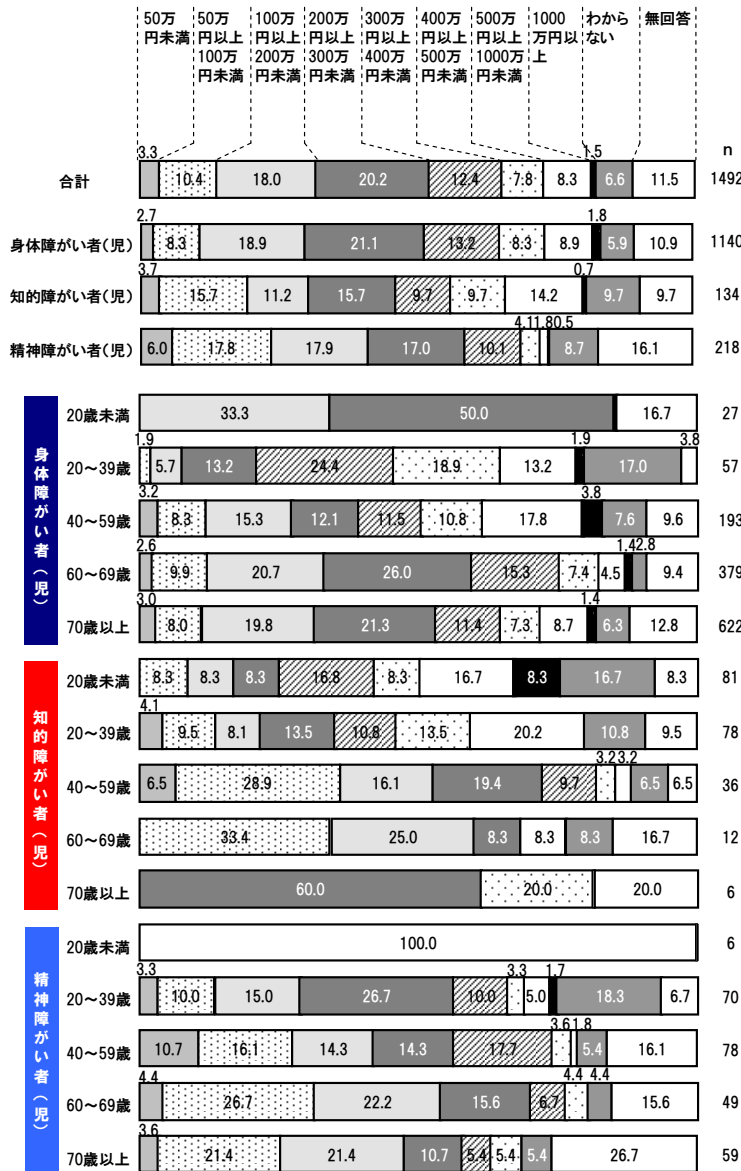


【問17】で1～6に○をした方にお聞きします。

(4)世帯全体の年間の収入【問19】



全体では、「200万円以上 300万円未満」が20.1%と最も多く、「100万円以上 200万円未満」が18.0%、「300万円以上 400万円未満」が12.4%、「50万円以上 100万円未満」が10.4%などとなっています。

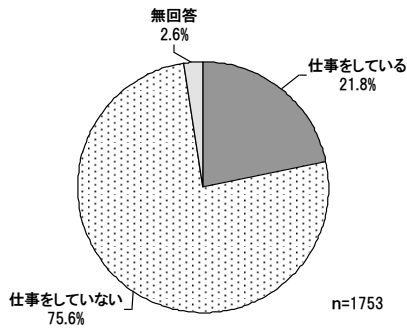


“200万円未満”の割合では、精神障がい者(児)が41.7%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)が30.6%、身体障がい者(児)が29.9%となっています。

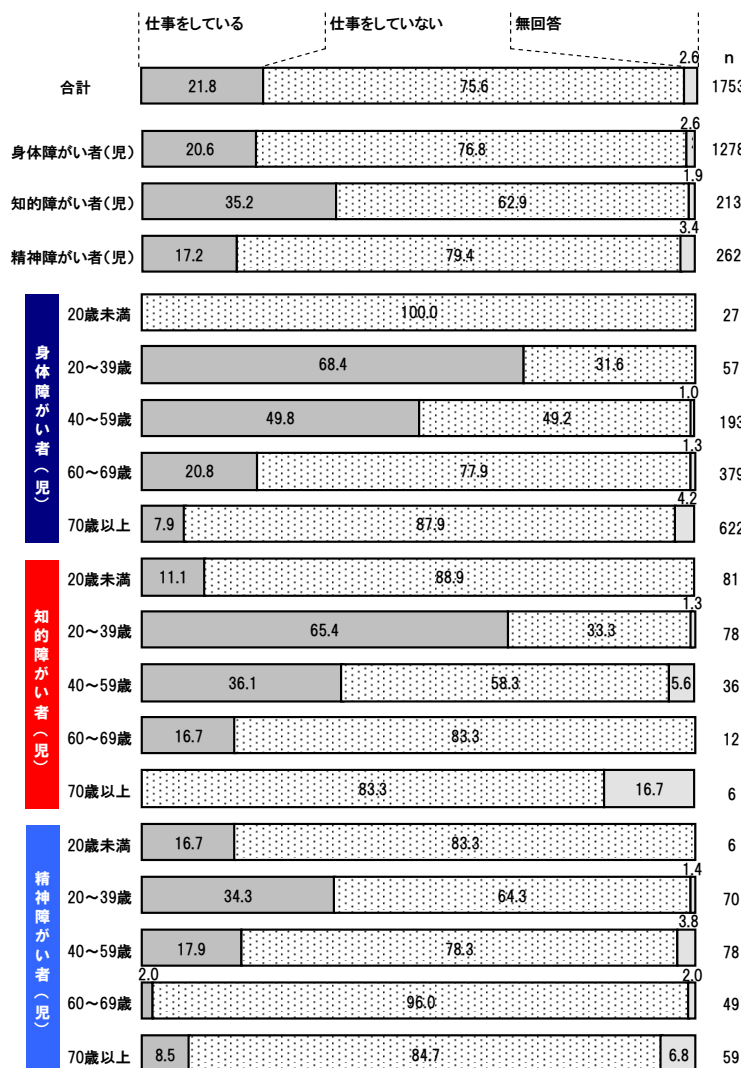
“200万円未満”の割合では、精神障がい者(児)の20歳未満が100.0%、次いで、知的障がい者(児)の60~69歳が58.4%、精神障がい者(児)の60~69歳が53.3%、知的障がい者(児)の40~59歳が51.5%などとなっています。

## 8. 日中の過ごし方について

### (1) 就労の状況【問20】

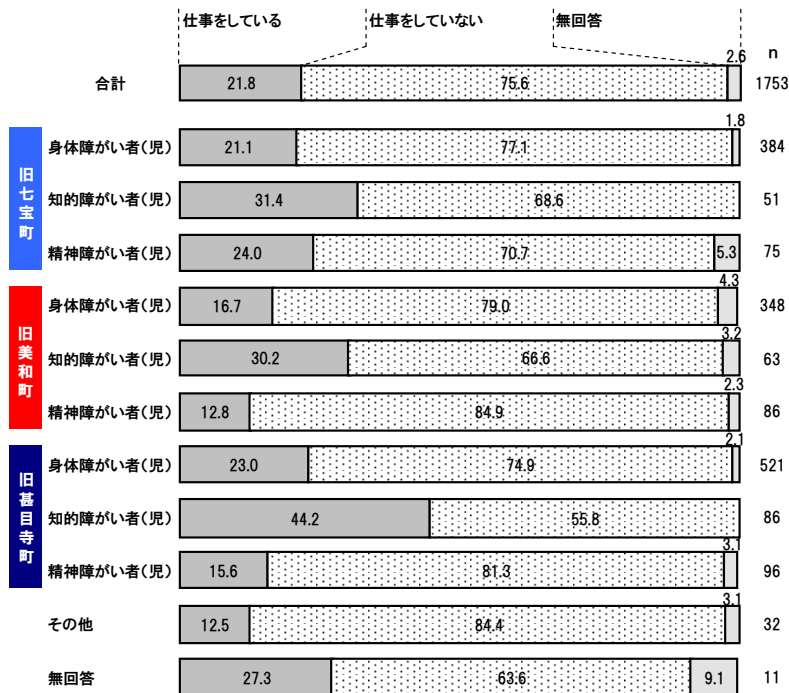


全体では、「仕事をしていない」が 75.6%を占めています。一方、「仕事をしている」が 21.8%となっています。



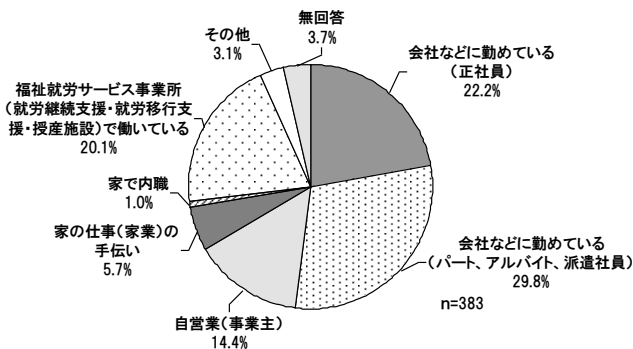
「仕事をしている」割合では、知的障がい者(児)が 35.2%と最も多く、次いで、身体障がい者(児)が 20.6%、精神障がい者(児)が 17.2%となっています。

「仕事をしている」割合では、身体障がい者(児)の 20~39歳が 68.4%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 20~39歳が 65.4%、身体障がい者(児)の 40~59歳が 49.8%などとなっています。

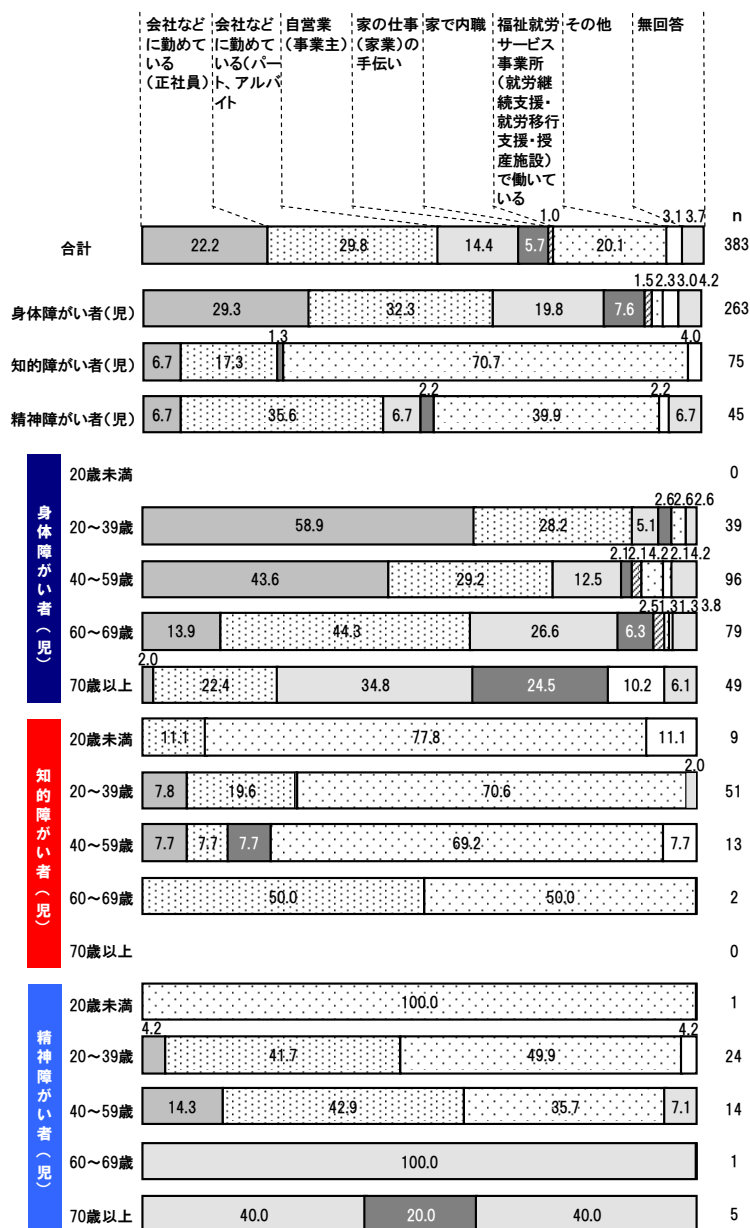


「仕事をしている」割合では、旧菟目寺町の知的障がい者(児)が 44.2%と最も多く、次いで、旧七宝町の知的障がい者(児)が 31.4%、旧美和町の知的障がい者(児)が 30.2%などとなっています。

## (2)仕事の種類【問20-①】

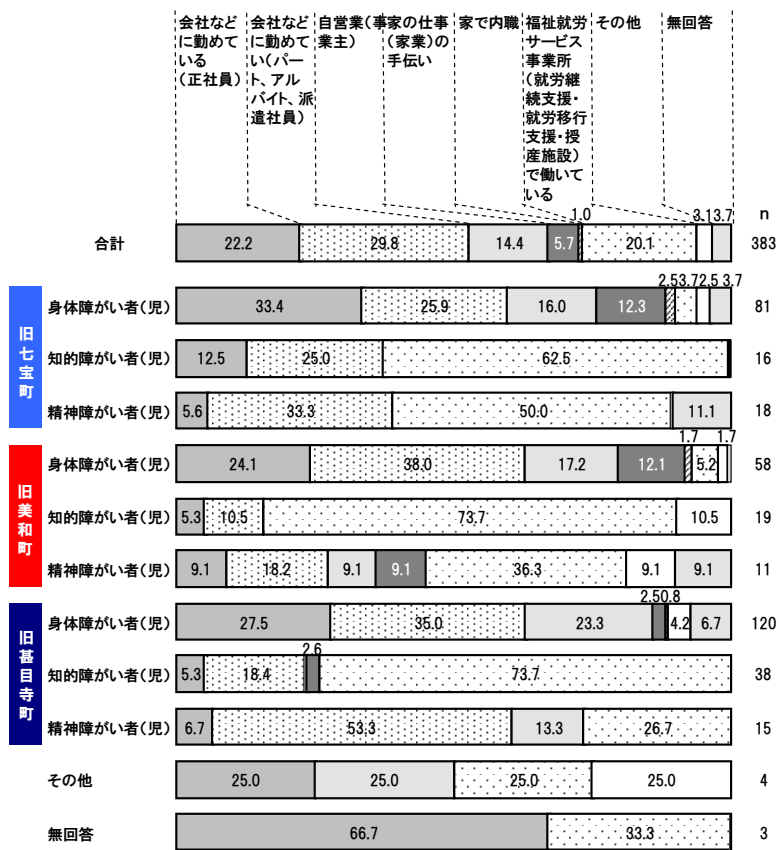


全体では、「会社などに勤めている(パート、アルバイトなど)」が 29.8%と最も多く、次いで、「会社などに勤めている(正社員)」が 22.2%、「福祉就労サービス事業所」が 20.1%などとなっています。



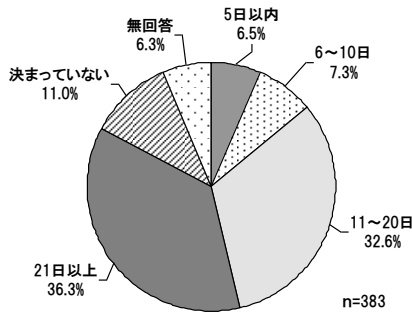
“会社などに勤めている”割合(正社員、パート、アルバイトなど)では、身体障がい者(児)が 61.6%、精神障がい者(児)が 42.3%、知的障がい者(児)が 24.0%となっています。

“会社などに勤めている”割合(正社員、パート、アルバイトなど)では、身体障がい者(児)の 20~39歳が 87.1%と最も多く、次いで、40~59歳が 72.8%、60~69歳が 58.2%、精神障がい者(児)の 40~59歳が 57.2%などとなっています。

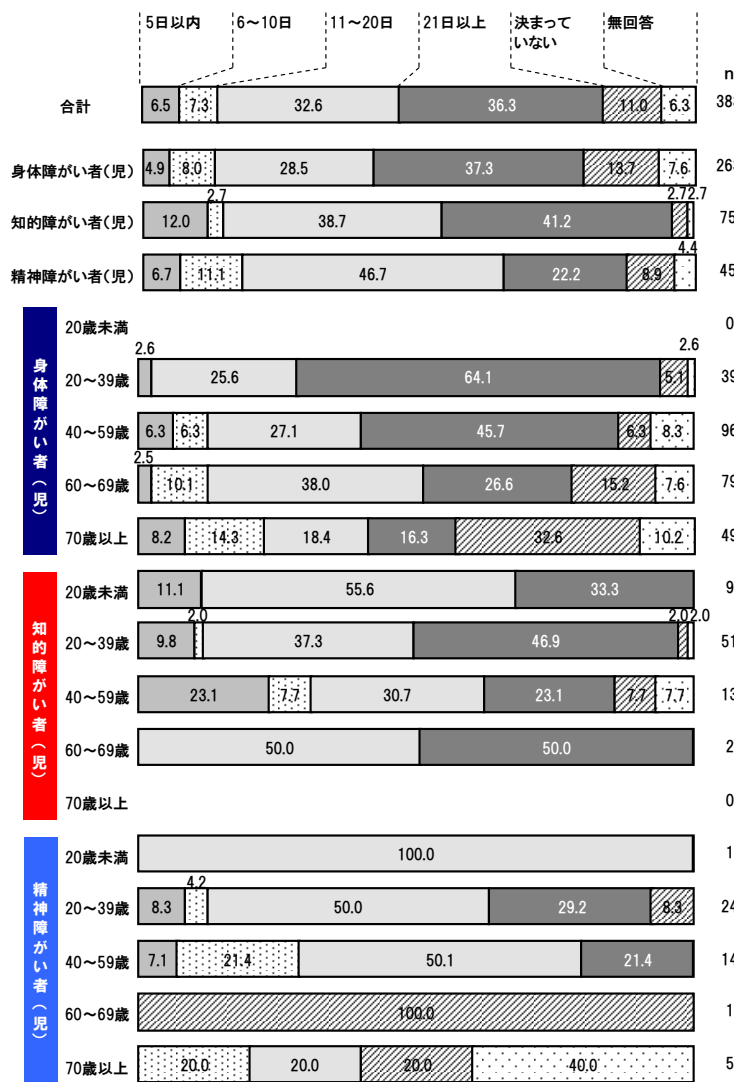


“会社などに勤めている”割合(正社員、パート、アルバイトなど)では、旧甚目寺町の身体障がい者(児)が62.5%と最も多く、次いで、旧美和町の身体障がい者(児)が62.1%、旧甚目寺町の精神障がい者(児)が60.0%、旧七宝町の身体障がい者(児)が59.3%などとなっています。

### (3)1ヵ月の就労日数【問20-②】



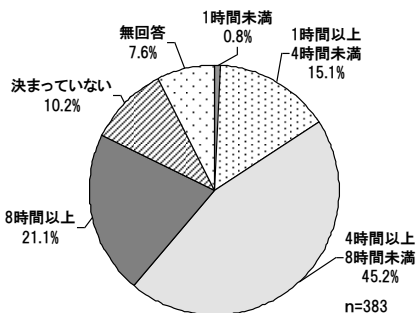
全体では、「21日以上」が 36.3%と最も多く、次いで、「11~20日」が 32.6%などとなっています。一方、「決まっていない」が 11.0%となっています。



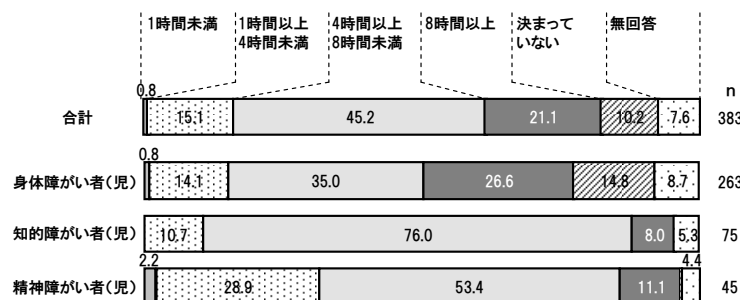
「21日以上」の割合では、知的障がい者(児)が 41.2%、身体障がい者(児)が 37.3%、精神障がい者(児)が 22.2%となっています。

「21日以上」の割合では、身体障がい者(児)の 20~39歳が 64.1%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 60~69歳が 50.0%、知的障がい者(児)の 20~39歳が 46.9%、身体障がい者(児)の 40~59歳が 45.7%などとなっています。

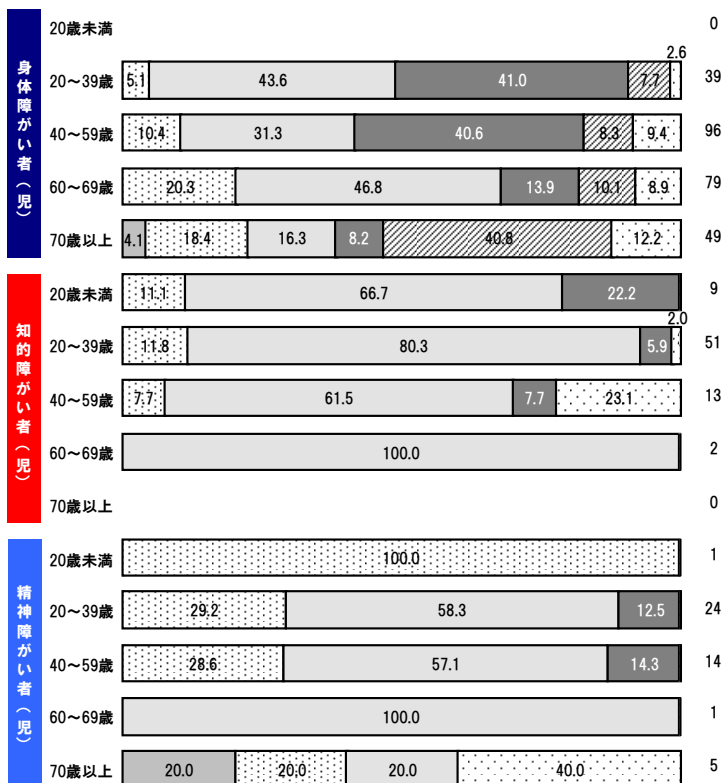
#### (4)1日の就労時間【問20-③】



全体では、「4時間以上8時間未満」が 45.2%と最も多く、次いで、「8時間以上」が 21.1%、「1時間以上4時間未満」が 15.1%などとなっています。一方、「決まっていない」が 10.2%となっています。

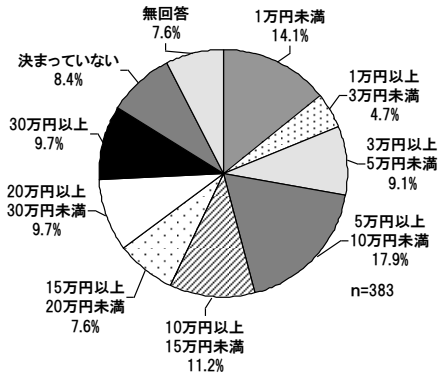


「8時間以上」の割合では、身体障がい者(児)が 26.6%、精神障がい者(児)が 11.1%、知的障がい者(児)が 8.0%となっています。

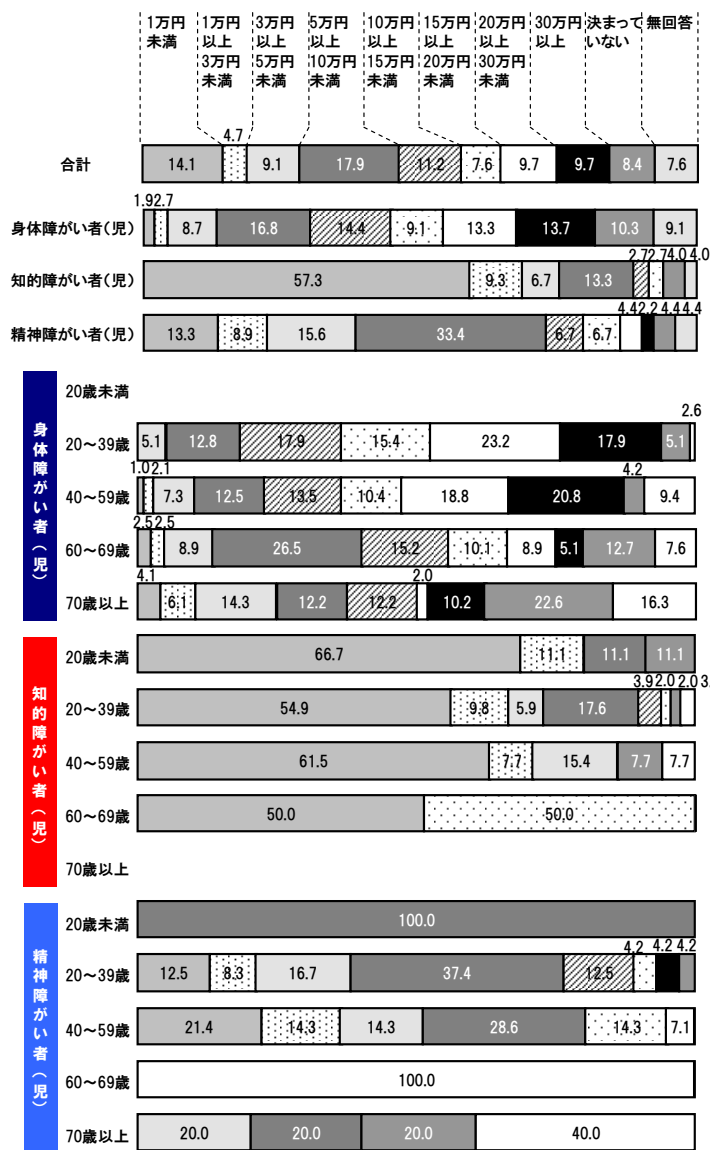


「8時間以上」の割合では、身体障がい者(児)の 20～39歳が 41.0%と最も多く、次いで、45～59歳が 40.6%などとなっています。

(5)1か月間の平均給与・賃金【問20-④】



全体では、「5万円以上10万円未満」が17.9%と最も多く、次いで、「1万円未満」が14.1%、「10万円以上15万円未満」が11.2%などとなっています。



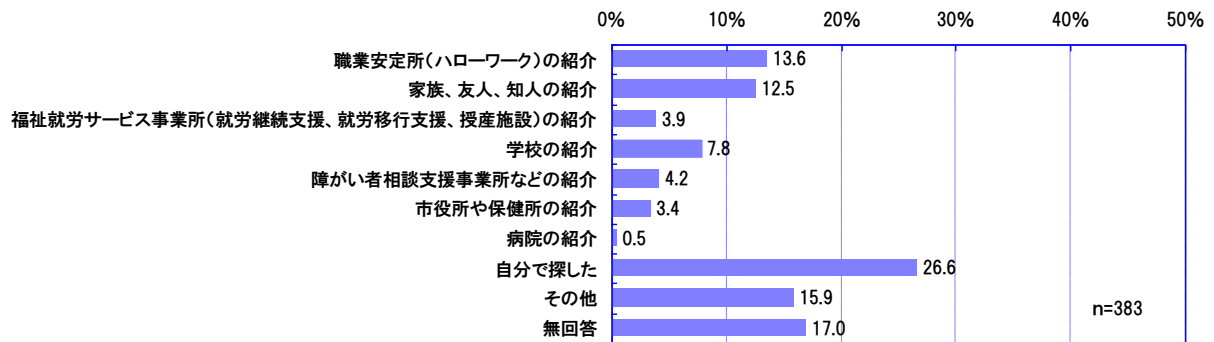
“10万円以上”の割合では、身体障がい者(児)が50.5%、知的障がい者(児)が5.4%、精神障がい者(児)が20.0%となっています。

“10万円以上”の割合では、精神障害者(児)の60~69歳が100.0%と最も多く、身体障がい者(児)の20~39歳が74.4%、次いで、40~59歳が63.5%、知的障がい者(児)の60~69歳が50.0%などとなっています。



## (6)仕事の照会先(複数回答)【問20-⑤】

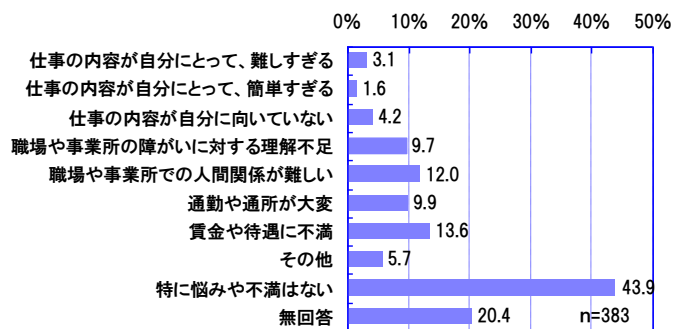
無回答を除き、「自分で探した」が 26.6%と最も多く、次いで、「その他」が 15.9%、「職業安定所(ハローワーク)の紹介」が 13.6%、「家族、友人、知人の紹介」が 12.5%などとなっています。



### (主なその他記入)

- ✚ 新聞の求人広告。
- ✚ 自営業。
- ✚ 親の会。
- ✚ インターネット。
- ✚ シルバー人材センター。

## (7)仕事上の悩みや不満(複数回答)【問20-⑥】

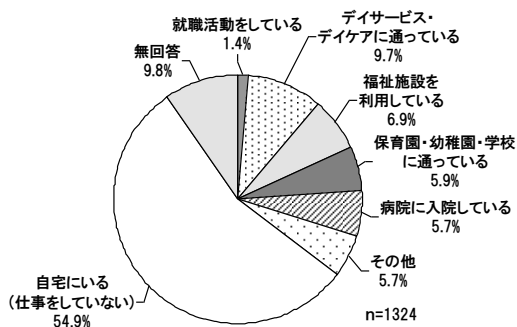


無回答を除き、「特に悩みや不満はない」が 43.9%と最も多く、次いで、「賃金や待遇に不満」が 13.6%、「職場や事業所での人間関係が難しい」が 12.0%などとなっています。

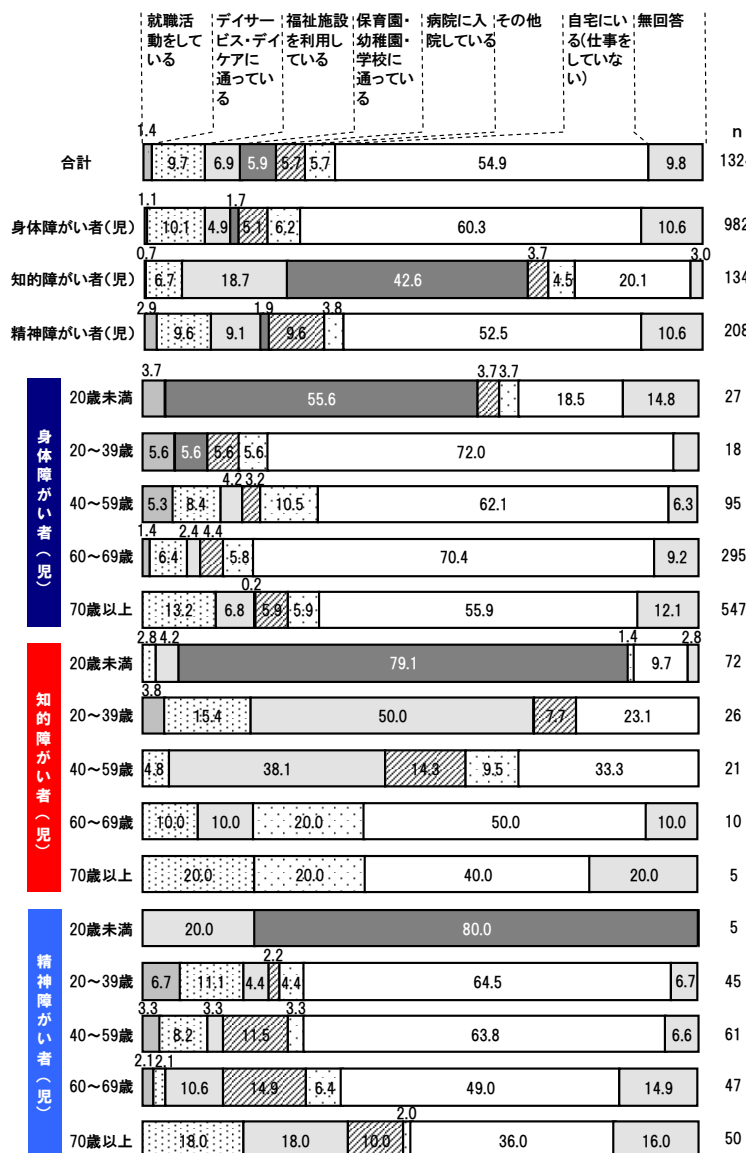
### (主なその他記入)

- ✚ 仕事がありません。不景気で仕事が少なく収入もほとんどなくなりました。
- ✚ 障がいをオープンで 2 年間探したがだめであった為、障がいを隠して就職した為、仕事の理解や人間関係が大変である。症状が悪くなる時がある。
- ✚ 正社員枠がない。
- ✚ 体調が変動するため、続けることが難しい。

【問20】で「2. 仕事をしていない」に○をした方  
 (8)日頃の日中の過ごし方【問21】

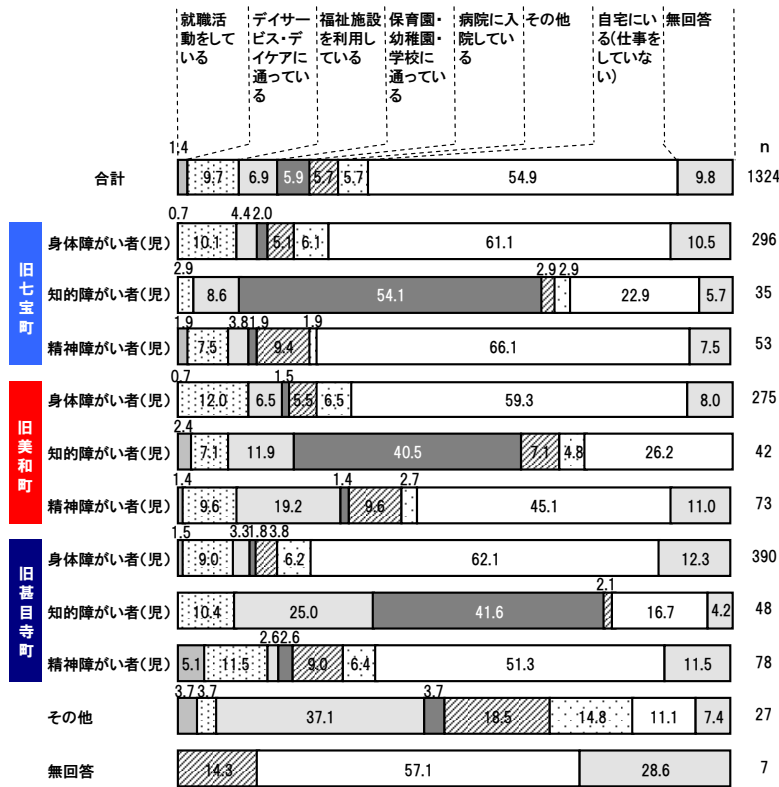


全体では、無回答を除き、「自宅にいる(仕事をしない)」が 54.9%と最も多く、次いで、「デイサービス・デイケアに通っている」が 9.7%などとなっています。



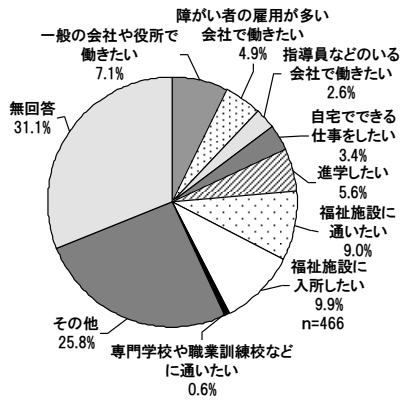
「自宅にいる(仕事をしない)」割合では、身体障がい者(児)が 60.3%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)が 52.5%、知的障がい者(児)が 20.1%となっています。

「自宅にいる(仕事をしない)」割合では、身体障がい者(児)の 20~39歳が 72.0%と最も多く、次いで、身体障がい者(児)の 60~69歳が 70.4%、精神障がい者(児)の 20~39歳が 64.5%、40~59歳が 63.8%などとなっています。



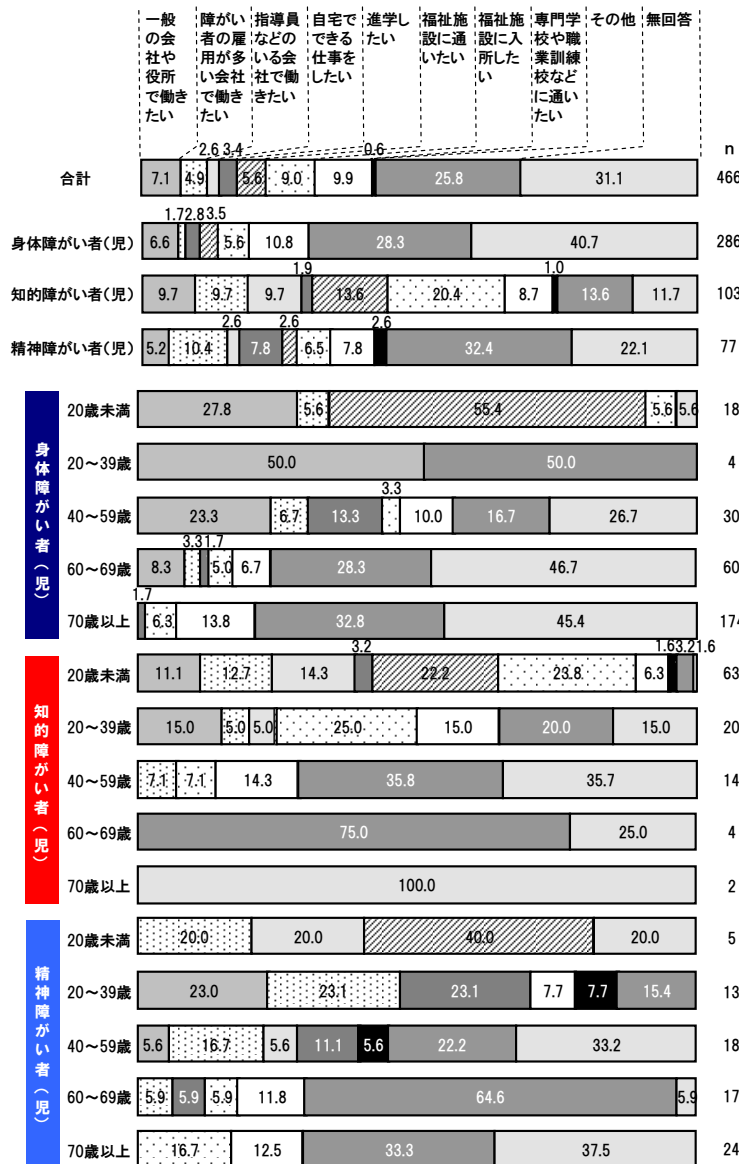
「自宅にいない(仕事をしていない)」割合では、旧七宝町の精神障がい者(児)が66.1%と最も多く、次いで、旧甚目寺町の身体障がい者(児)が62.1%、旧七宝町の身体障がい者(児)が61.1%などとなっています。

【問21】で1～6に○をした方  
 (9)今後の進路について【問21-①】



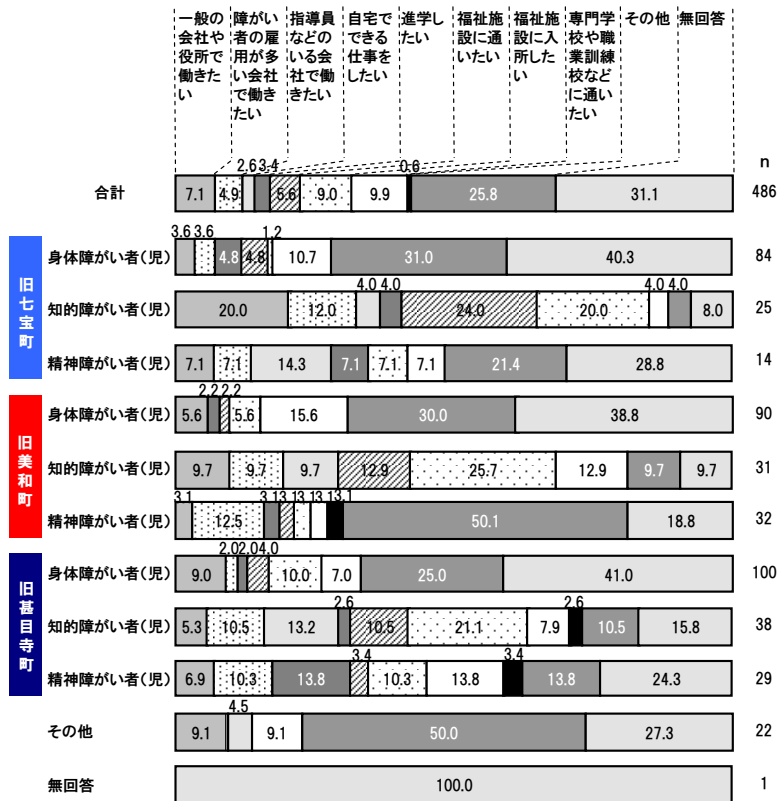
全体では、無回答を除き、「その他」が25.8%と最も多く、次いで、“会社などで働きたい”が14.6%、「福祉施設に入所したい」が9.9%、「福祉施設に通いたい」が9.0%などとなっています。

※「会社で働きたい」:「一般の会社や役所で働きたい」+「障がい者の雇用が多い会社で働きたい」+「指導員などいる会社で働きたい」



“会社などで働きたい”割合では、身体障がい者(児)が8.3%、知的障がい者(児)が29.1%、精神障がい者(児)が18.2%となっています。

“会社などで働きたい”割合では、身体障がい者(児)の20～39歳が50.0%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)の20～39歳が46.1%、精神障がい者(児)の20歳未満が40.0%などとなっています。

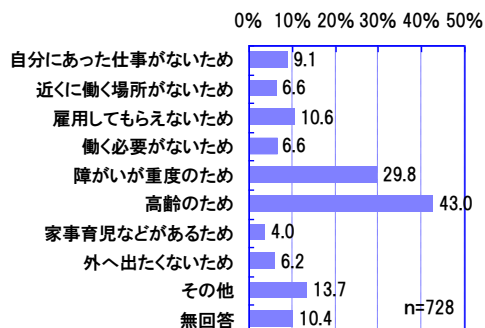


“会社などで働きたい”割合では、旧七宝町の知的障がい者(児)が 36.0%と最も多く、次いで、旧美和町の知的障がい者(児)が 29.1%、旧菟目寺町の知的障がい者(児)が 29.0%などとなっています。

(主なその他記入)

- ✚ リハビリ施設へ行きたい。
- ✚ 特に考えていない。
- ✚ 入院中。
- ✚ 現状のままで良い。

【問21】で「7. 自宅にいる（仕事をしていない）」に○をした方  
 (10)仕事をしていない理由(複数回答)【問22】



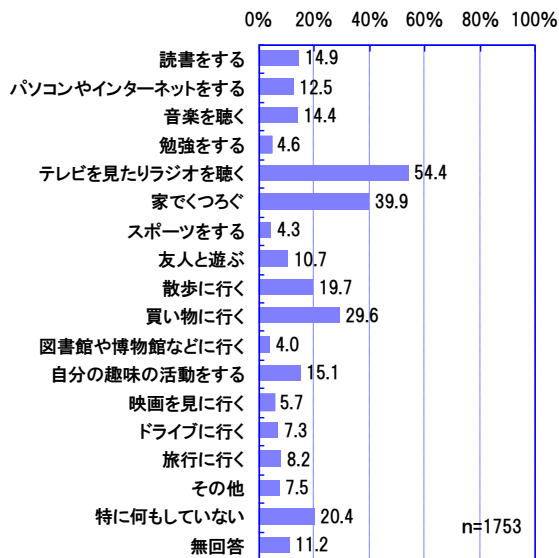
「高齢のため」が 43.0%と最も多く、次いで、「障がいが重度のため」が 29.8%などとなっています。

(主なその他記入)

- ✚ 仕事したくないから。やる気がおこらない。
- ✚ 88才の母親を見ているため。
- ✚ 不景気で仕事がない。
- ✚ 働きたいけど体の事が気になる為。
- ✚ 病気療養中。
- ✚ 何をしたら良いか決めていない。
- ✚ すぐ辞めてしまうため。
- ✚ 息子も精神障害2級で目が離せないため
- ✚ 大学受験のため勉強中。
- ✚ 通院しているため。
- ✚ 精神障害者は働く場がないのが現状です。精神病患者になると中途入社は難しいのが現状です。
- ✚ 求職中
- ✚ 歩行困難なため、一人で外へ出れない。
- ✚ 働いてももうまくいかない。他に私以上に介護の必要な子供がいるため。

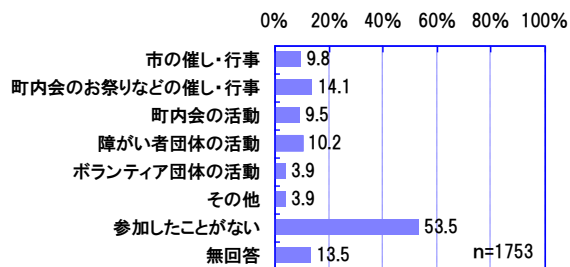
## 9. 休日などの余暇の過ごし方について

### (1) 休日の過ごし方(複数回答)【問23】



「テレビを見たりラジオを聴く」が 54.4%と最も多く、次いで、「家でくつろぐ」が 39.9%、「買い物に行く」が 29.6%などとなっています。一方、「特に何もしていない」が 20.4%などとなっています。

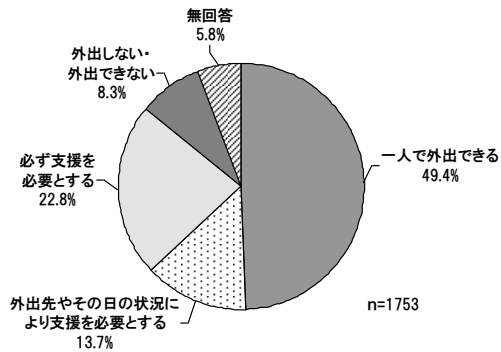
### (2) 地域活動や行事へ参加状況(複数回答)【問24】



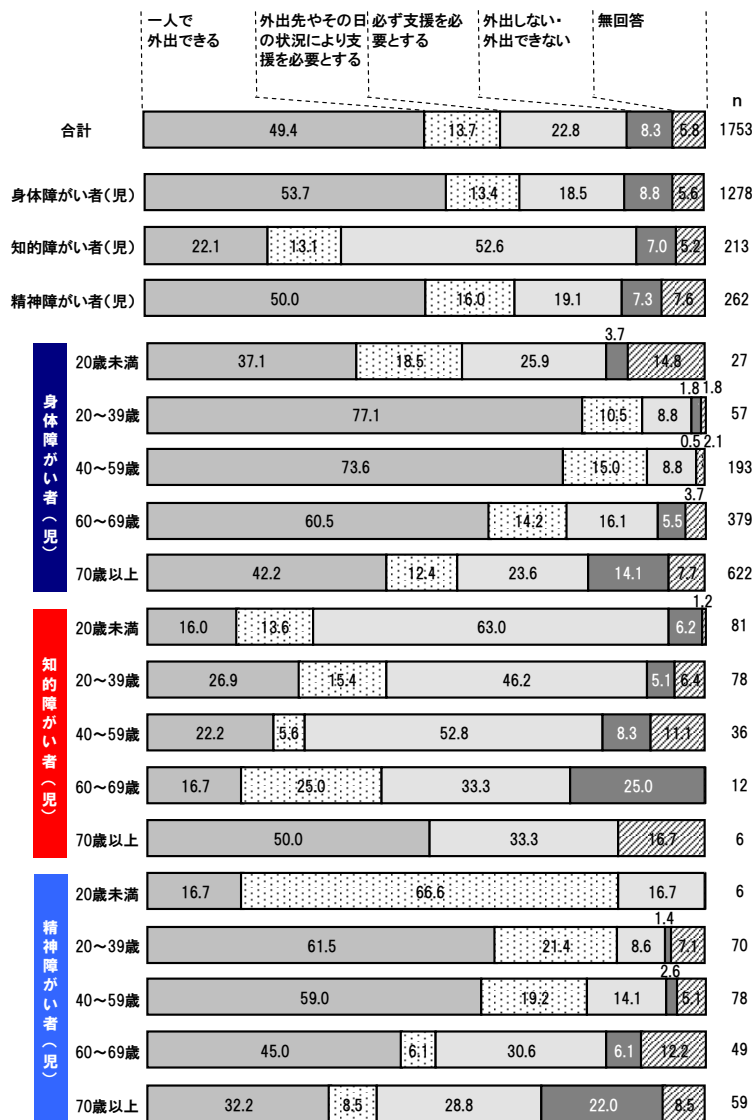
「参加したことがない」が 53.5%を占めています。

## 10. 外出の状況について

### (1) 外出する際の支援の必要性【問25】



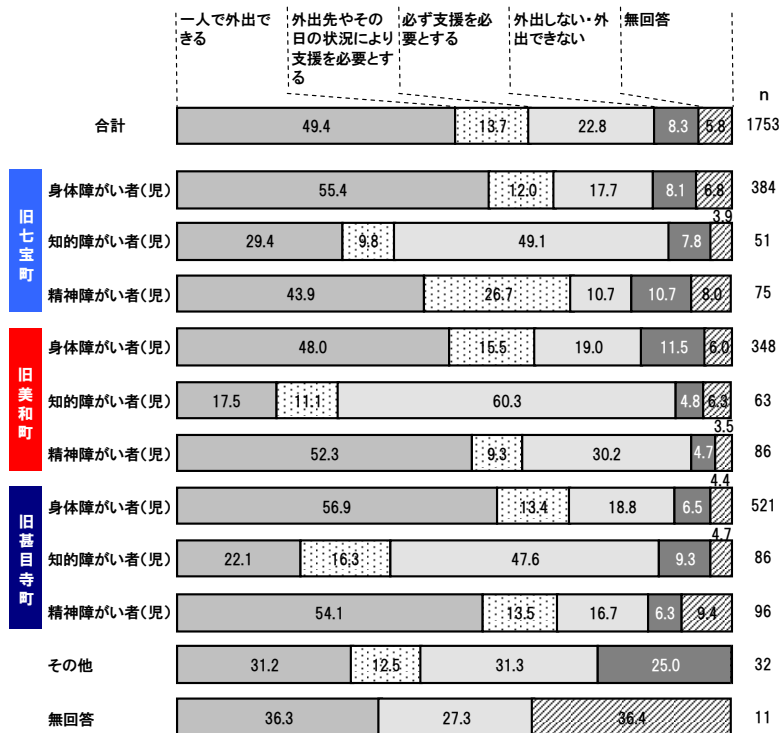
全体では、「一人で外出できる」が 49.4%と最も多く、次いで、「必ず支援を必要とする」が 22.8%、「外出先やその日の状況により支援を必要とする」が 13.7%、「外出しない・外出できない」が 8.3%となっています。



「必ず支援を必要とする」割合では、知的障がい者(児)が 52.6%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)が 19.1%、身体障がい者(児)が 18.5%となっています。

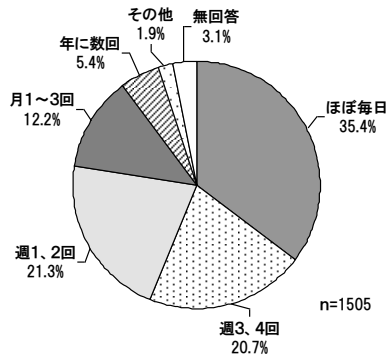
「必ず支援を必要とする」割合では、知的障がい者(児)の 20歳未満が 63.0%と最も多く、次いで、40～59歳が 52.8%、20～39歳が 46.2%などとなっています。



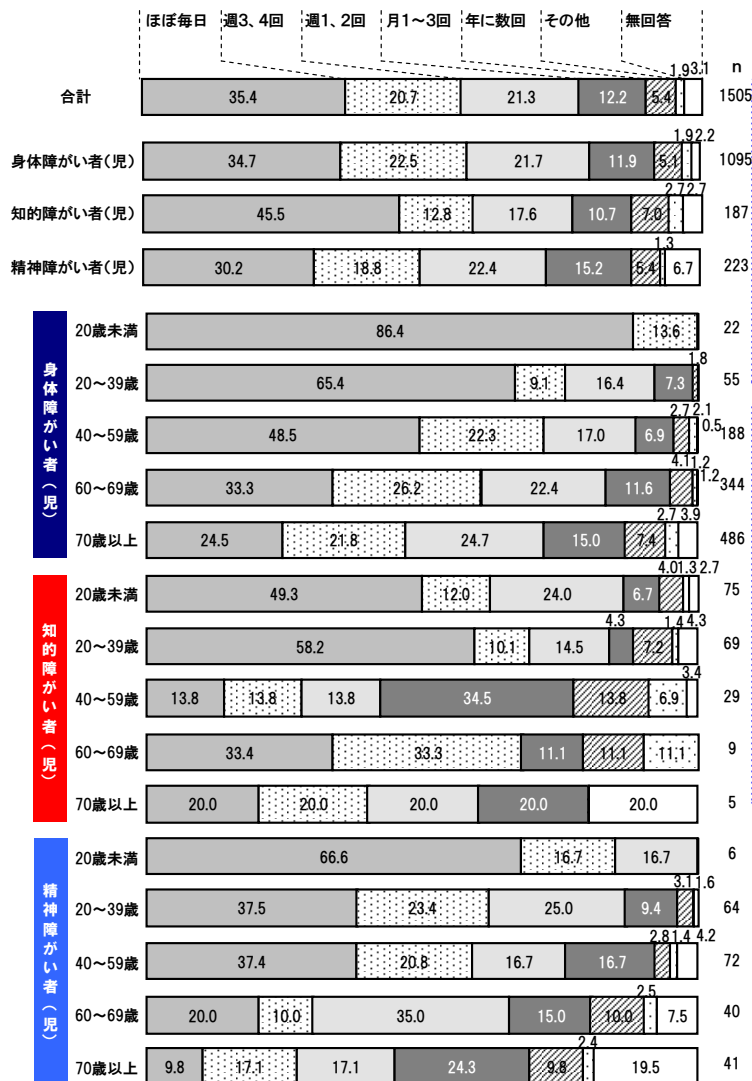


「必ず支援を必要とする」割合では、旧美和町の知的障がい者(児)が60.3%と最も多く、次いで、旧七宝町の知的障がい者(児)が49.1%、旧甚目寺町の知的障がい者(児)が47.6%などとなっています。

## (2)外出の頻度【問26】

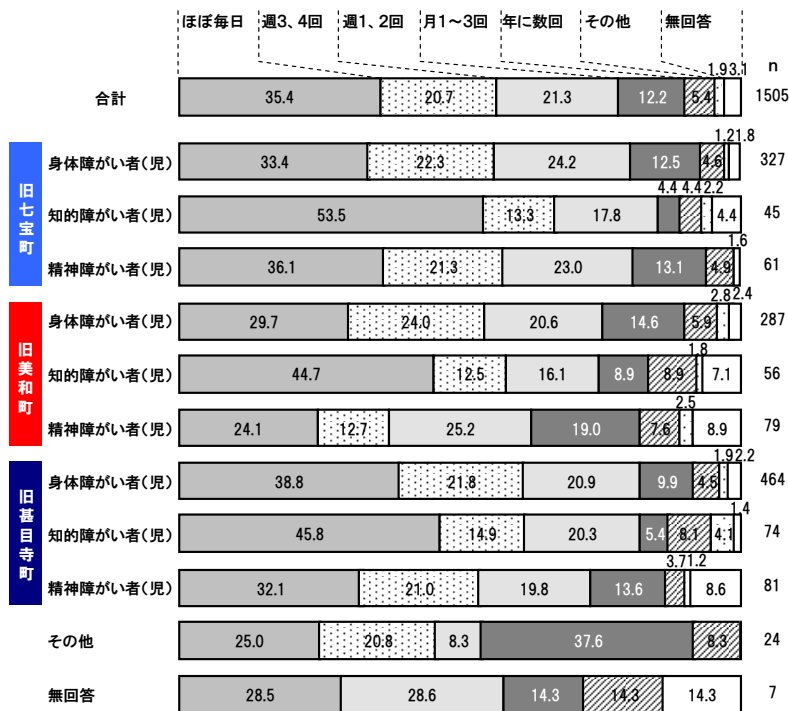


全体では、「ほぼ毎日」が 35.4%と最も多く、次いで、「週1, 2回」が 21.3%、「週3, 4回」が 20.7%などとなっています。



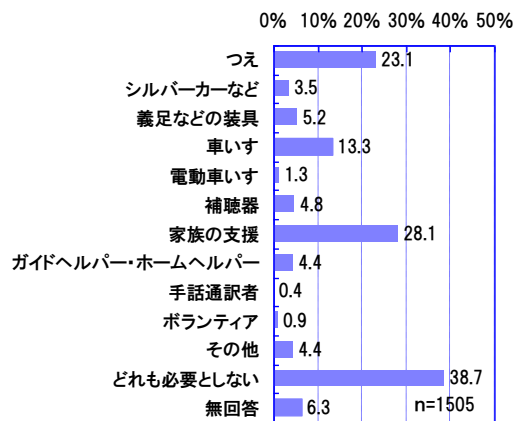
「月に1~3回」と「年に数回」を合わせた割合では、身体障がい者(児)が 17.0%、知的障がい者(児)が 17.7%、精神障がい者(児)が 20.6%となっています。

「月に1~3回」と「年に数回」を合わせた割合では、知的障がい者(児)の 40~59歳が 48.3%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)の 70歳以上が 34.1%、精神障がい者(児)の 60~69歳が 25.0%などとなっています。



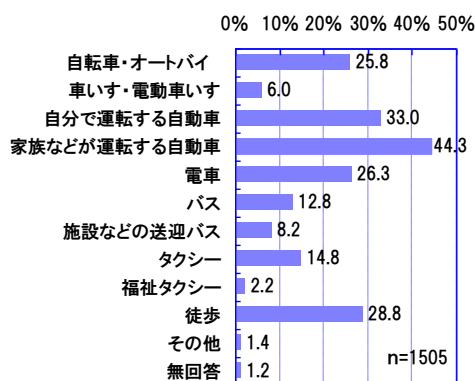
「月に1~3回」と「年に数回」を合わせた割合では、その他の居住地区が45.9%と最も多く、次いで、旧美和町の精神障がい者(児)が26.6%、旧美和町の身体障がい者(児)が20.5%などとなっています。

(3)外出する時の補装具の利用や支援者(介助者)の必要性(複数回答)【問27】



「どれも必要としない」が38.7%と最も多く、次いで、「家族の支援」が28.1%、「つえ」が23.1%、「車いす」が13.3%などとなっています。

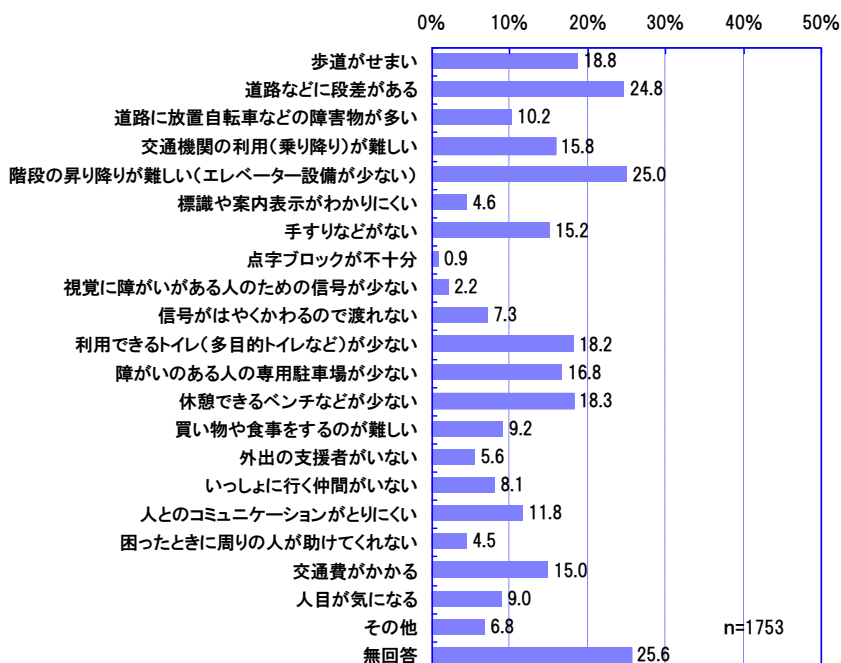
#### (4)外出する時の交通手段(複数回答)【問28】



「家族などが運転する自動車」が44.3%と最も多く、次いで、「自分で運転する自動車」が33.0%、「徒歩」が28.8%、「電車」が26.3%「自転車・オートバイ」が25.8%などとなっています。

#### (5)外出する時に困ること(複数回答)【問29】

無回答を除き、「階段の昇り降りが難しい(エレベーター設備が少ない)」が25.0%と最も多く、「道路に段差がある」が24.8%、「歩道がせまい」が18.8%、「休憩できるベンチなどが少ない」が18.3%、「利用できるトイレ(多目的トイレなど)が少ない」が18.2%などとなっています。



#### (主なその他記入)

- ✚ 町内、市内を巡回する公共交通手段が無い。
- ✚ 外出できる体でない。
- ✚ AED が外出先にない。(どこにあるかわからない。)
- ✚ 外に出たくない
- ✚ 急病になった時に外部とのアクセスすることができない。
- ✚ 相手の人の声が聞こえない。

## (6)外出をしやすくするための支援について、ご意見やご要望【問30】

記載内容別に、主なものを掲載します。( )内は、(記入者:本人性別・年齢・手帳所持者別)を表します。

### ■ 駅や道路、歩道、階段のバリアフリー

- |                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ➤ エスカレーターに 80 才になってから危なくて足が出せなくて乗れなくなりました。電車とホームとの段差、また間隔が広いと危なくて降りるのが恐ろしく不安で 1 人では電車での外出はできません。(本人:女性・80 歳以上・身体障害者手帳)                                                                                 |
| ➤ 公共交通機関の利用した際、エレベーターやスロープの少なさやないことに驚きました。全介助なら介助者がいるのでまだましですが、多少自分で動ける方も出かけたくなくなりますね。(母親:男性・6~14 歳・身体障害者手帳・療育手帳)                                                                                      |
| ➤ 道路のでこぼこがひどいので、きれいに整備してほしい。(本人:女性・50~59 歳・身体障害者手帳)                                                                                                                                                    |
| ➤ 交通量が多い道路の車道と歩道の間には、ガードレール(パイプ形)を設置して欲しい。現在、車道と歩道の間には、コンクリートを数10センチ嵩上げた構造物が設置されている区間が大部分で、ガードレールの設置区間は交差点等、ごく僅かに限られている。障がい者のみならず、健常者の方にもガードレールの設置は人命上、必要である。また、歩道のでこぼこを直してほしい。(本人:男性・65~69 歳・身体障害者手帳) |

### ■ 障害者用駐車場の整備と確保

- |                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ➤ 障がい者専用駐車場が少なく、ない所への外出はあきらめるなど、外出先が制限されてしまう。また、専用スペースに無関係の車が止まっているなど、出かけた先で困ることがよくあります。(嫁または婿:女性・80 歳以上・身体障害者手帳) |
| ➤ 障がい者用駐車場が少なく、健常者が駐車してしまっ止めることができない。トイレを多目的にすると、健常者が長時間使い、障がい者の方が困っている所をよく見かける。(本人:女性・50~59 歳・身体障害者手帳)           |

### ■ 市内循環バスの運行

- |                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ➤ あま市内を巡回するバスを走らせてほしい。(本人:男性・60~64 歳・身体障害者手帳)                                                                |
| ➤ 公共の乗り物がなく(ぜんぜん)タクシーか歩くかどっち。他の町で行っているくるりんバスなどあればいいと思います。名鉄甚目寺駅中心に運行してください。無料でなくてもいい。(本人:男性・70~74 歳・身体障害者手帳) |
| ➤ 車の免許もありません。今の時点では、役場にも歩いて行けれますが、今後、市内循環バスみたいのがあると便利です。(本人:女性・50~59 歳・身体障害者手帳)                              |

## ■ 通院等のタクシー券の支給

- 目が見えないので、前のように(タクシー券)がないのであまりいけない。医者にどうしてもいかなければならないので、重度の障がい者には別格に前の海部郡の時のようにタクシー券を出して下さい。これはくれぐれもお願いします。(本人:男性・75～79歳・身体障害者手帳)
- 週2回リハビリに通います。リハビリ病院が遠いため、タクシーで片道3,500円かかりますから車で行きます。名古屋市のようにタクシー券が出ないですか？(本人:男性・75～79歳・身体障害者手帳)
- 家族が仕事の時、病院へ通院するのにタクシーを利用しなければいけないので、タクシー券を援助してほしいと思います。タクシー券は通院するための利用としてです。(本人:女性・60～64歳・身体障害者手帳)
- 何年か前までは町よりタクシー券をいただいていたので、病院なども自分一人でタクシーで行けてました。親が2人とも仕事しているので、本人が病気になったりどこかへ行きたくても思う様にならず、困る時が多々あります。できればまたタクシー券をお願いします。(母親:男性・20～29歳・療育手帳)

## ■ 公共交通機関運賃の補助

- 公共交通機関の交通費補助があると助かる。(母親:男性・20～29歳・精神障害者保健福祉手帳)
- 名古屋市交通局は、療育手帳があると本人と付き添い一人は半額の料金になりますが、一番利用する名鉄電車は割引がありません。そういう割引があると、もっと公共交通機関を利用して出かけることができると思います。電車代はけっこうかかります。(母親:女性・6～14歳・療育手帳)

## ■ 付き添いでくれる介助者や支援者の確保

- 重度障がいや寝たきりの為、ベツトより車いすに乗せてリフト利用後、福祉車両への移動時に1番気がはります。もし、手がすべり下に落とした場合、1人では立たすことはできません。その時、(だれか)そばにいてくれるだけで安心です。(本人:男性・60～64歳・身体障害者手帳)
- 病院で自分の順番がきた時に呼ばれても分からないことがあります。手話通訳者みたいに、教えてくれる人がいるといいですね。(本人:女性・40～49歳・身体障害者手帳)
- 外出しやすくする為に、何をしたらいいかはそれぞれの障がい者によってさまざまであり、現在の状況においても多様な施策を打ち出している状況と考えられます。したがって、障がい者が選定する支援者を決め、それが適切であると認定されれば、外出しやすくなると思いますが、ただ支援者に対する生きがいや労力に対するなんらかのメリット等が図られる適切な施策を打ち出すことが重要で、例えば支援者に対し税金の優遇を図るとか等の支援者に対することにも配慮することが重要ではないかと思えます。(夫または妻:女性・60～64歳・身体障害者手帳)

## ■ 気になる視線や周囲の理解

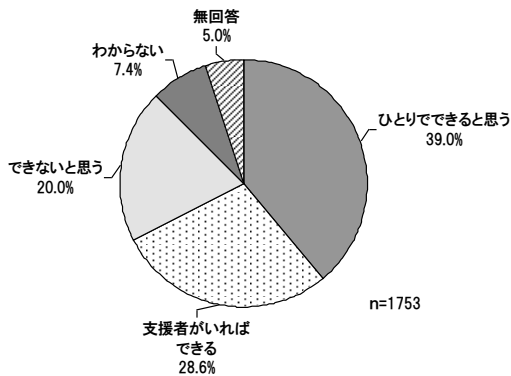
- 周囲の人が差別した視線で障がい児・者の行動をみない事。(母親:男性・6～14歳・療育手帳)
- 知的障がい者に対する理解(健常者、周囲の理解)が不十分なため、時々笑われる。(本人はひとりごとが多かったり、行動が不自然なので)学校等でもっと教育を。(母親:男性・6～14歳・療育手帳)

## ■ その他

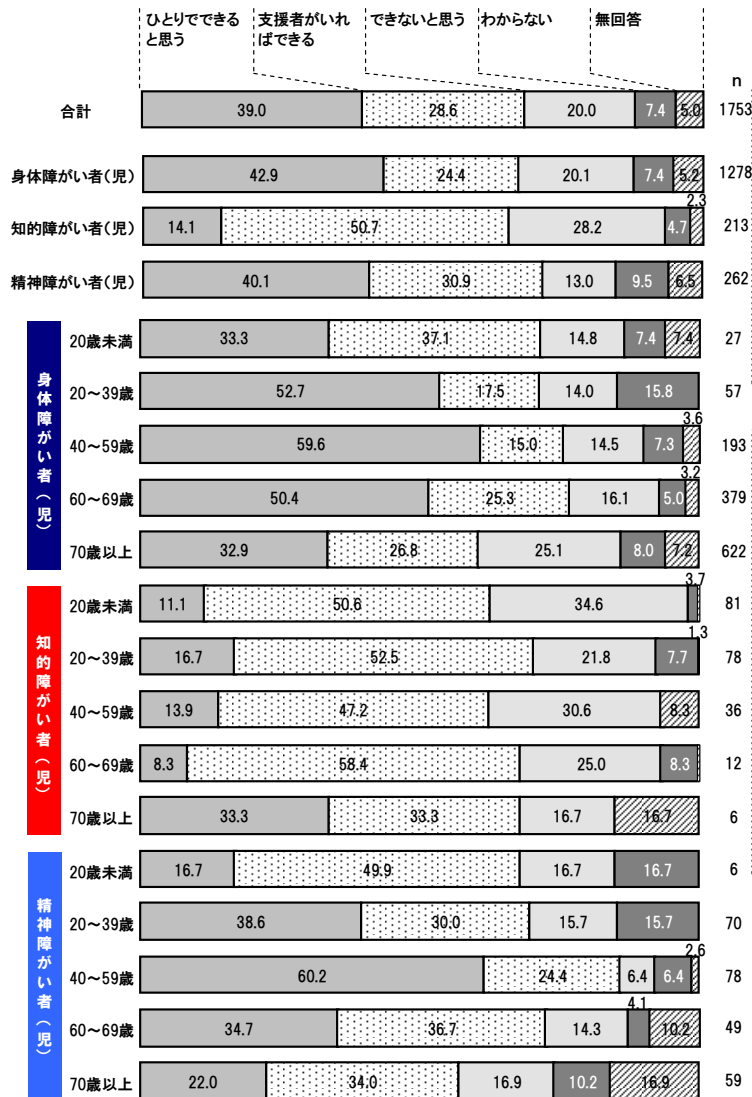
- 外食は大変難しい。デパートなど以外では、多目的トイレがほとんどない為、出かけるときは常に頭の中はトイレの事ばかり気にしてしまう。(子ども:女性・65～69歳・身体障害者手帳)
- 徒歩での外出が困難なので車が必要ですが、収入が少なくガソリン代が気になり外出を控えてしまうので、ガソリン代の補助が欲しい。(本人:男性・30～39歳・身体障害者手帳)
- 障がいにはいろいろあると思いますが、私の場合は、重い物の持ち運びの制限、階段での移動等、旅行など一人での行動ができるのに、皆についていけないなど、友との旅行にも遠慮がちになってしまいます。自分で行ける障がい者の楽しい集い、日帰り旅行(自費)の企画はないのでしょうか。元気な障がい者より。(本人:女性・60～64歳・身体障害者手帳)

# 11. 災害時の対応について

## (1) 災害時における避難【問31】



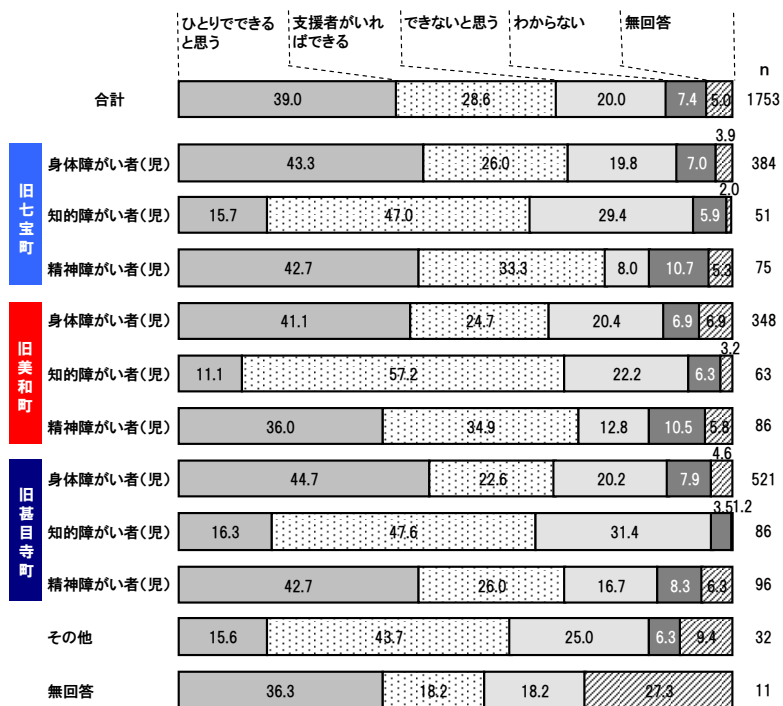
全体では、「ひとりできると思う」が 39.0%と最も多く、次いで、「支援者がいればできると思う」が 28.6%となっています。一方、「できないと思う」が 20.0%となっています。



「できないと思う」割合では、身体障がい者(児)が 20.1%、知的障がい者(児)が 28.2%、精神障がい者(児)が 13.0%となっています。

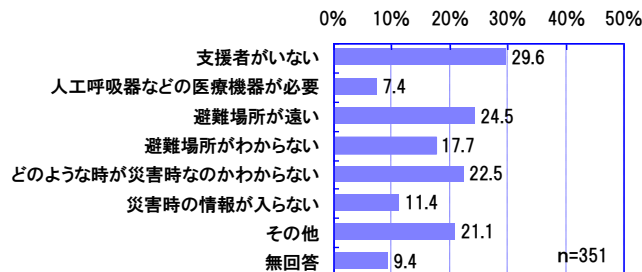
「できないと思う」割合では、知的障がい者(児)の 20歳未満が 34.6%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 40~59歳が 30.6%、身体障がい者(児)の 70歳以上が 25.1%、知的障がい者(児)の 60~69歳が 25.0%などとなっています。





「できないと思う」割合では、旧甚目寺町の知的障がい者(児)が31.4%と最も多く、次いで、旧七宝町の知的障がい者(児)が29.4%、その他の居住地区が25.0%などとなっています。

【問31】で「3. できないと思う」に○をした方  
**(2)避難できない理由(複数回答)【問31-①】**

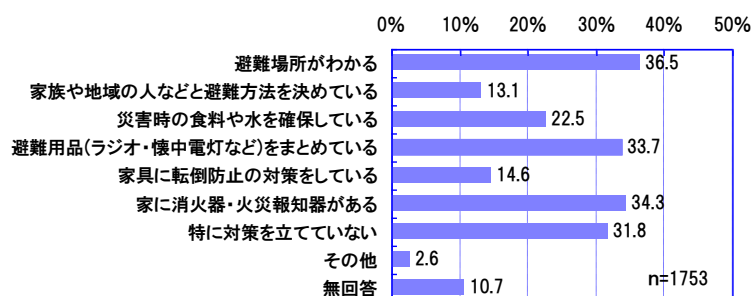


「支援者がいない」が 29.6%と最も多く、次いで、「避難場所が遠い」が 24.5%、「どのような時が災害時なのかわからない」が 22.5%などとなっています。

**(主なその他記入)**

- ✚ 移動手段がない。
- ✚ 歩行が困難。
- ✚ 目が不自由。
- ✚ 寝たきりの為、1人では動けない。
- ✚ 避難場所での床での生活が出来ない事と、トイレなども困難だと思う。
- ✚ 避難場所で静かにしてられない。
- ✚ 人間関係や人の行動に合わせられない。
- ✚ 車椅子が必要。
- ✚ 自分では寝返りもできなく、意思表示もできない寝たきりなので、短時間で避難場所まで連れてゆくのは不可能。
- ✚ 自分で判断はできない。「避難」がそもそも理解できない。
- ✚ 支援者も高齢の為
- ✚ 手話通訳者がいるかいないか分からない。

**(3)災害時の対策(複数回答)【問32】**



「避難場所がわかる」が 36.5%と最も多く、次いで、「家に消火器・火災報知機がある」が 34.3%、「避難用品(ラジオ・懐中電灯など)をまとめている」が 33.7%などとなっています。一方、「特に対策を立てていない」が 31.8%となっています。

**(主なその他記入)**

- ✚ 薬の確保。
- ✚ 施設の避難訓練に参加している。
- ✚ 緊急通報システムの設置。

#### (4)災害対策についてご意見やご要望【問33】

記載内容別に、主なものを掲載します。( )内は、(記入者:本人性別・年齢・手帳所持者別)を表します。

##### ■ 障がいの特性に応じた情報提供と避難誘導

➤ 役所の広報車等で、広報してもらっても聞き取れません。他に分かりやすい方法で教えてくれるといいですね。(本人:女性・40～49歳・身体障害者手帳)
➤ 避難場所が分かって、そこまで歩いて行くのが困難である。(夫または妻:男性・75～79歳・身体障害者手帳)
➤ 障がいがある者にとって、どのような対策になっているか知りたい。(本人:男性・50～59歳・身体障害者手帳)
➤ 地震、風水害などの災害のお知らせメールを使用してほしい。(本人:女性・40～49歳・身体障害者手帳)

##### ■ 個々の障がいの特性に応じた福祉避難所の設置

➤ 複数の病の為避難生活はできないと思います。(本人:男性・65～69歳・身体障害者手帳)
➤ 障がいにも色々あり避難場所にトイレ(最低でも洋式トイレがあればいいのですが、あっても行けない)動き回る子達は周りの人とのコミュニケーションがとれにくく、パニックを起こす。体が重く動きが遅い場合には、避難場所までの移動に時間がかかる。もちろん車椅子利用者も簡単には移動できない。一時的には近くに避難し、その後、指定の場所みたいな所を作ってもらい、改めて避難する方向では。それには、近所の区長、民生委員さんの協力で近所で高齢者、障がい者、障がい児者の確認マップみたいなものが必要かと思います。(母親:女性・20～29歳・身体障害者手帳)
➤ 今回の東日本大震災では、発達障がいのある子達は避難先をいろいろと変わったが、なかなか落ち着く場所がないというように聞いています。災害時に障がい児(者)が必ず避難できる場所を確保してほしいと思います。(母親:女性・6～14歳・療育手帳)
➤ 車椅子がないと生活できないし、ベットがないと寝起きができないから障がい者専用の避難場所を決めてほしいです。(夫または妻:男性・50～59歳・身体障害者手帳)

### ■ 地域の身近な支援者の確保

- |                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ➤ 近所の人が見回りに来てくれると助かる。(本人:女性・75～79 歳・身体障害者手帳)                                                                      |
| ➤ とにかく地域で協力すること。(本人:男性・50～59 歳・精神障害者保健福祉手帳)                                                                       |
| ➤ 本人が母親よりも体重が倍くらいあり、母親 1 人ではとても俊敏な動きには対応できません。どなたか男性の方で、災害時には必ず助けに来て下さることを決めておいて頂けたら・・・と思います。(母親:女性・40～49 歳・療育手帳) |

### ■ 薬や医療の必要性と確保

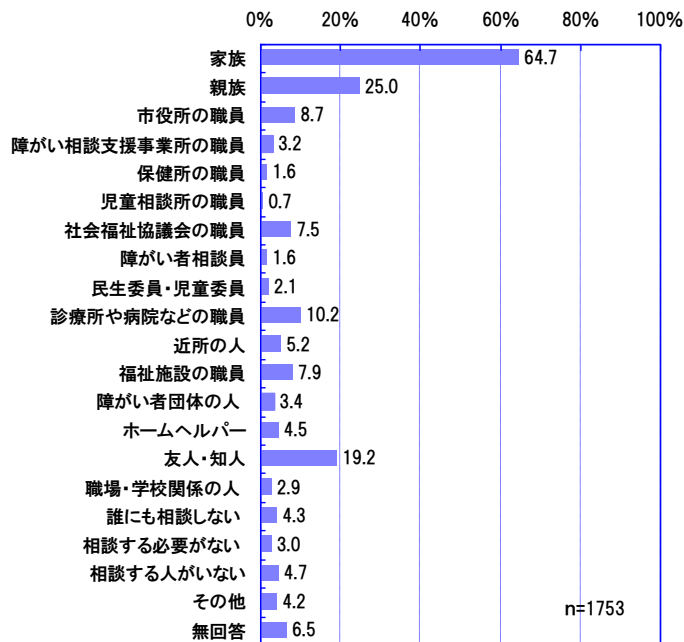
- |                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| ➤ 避難が長くなると重度障がいのため、避難所での生活が出来ないと思う。医療的処置も必要なので、なんとか避難場所に行けたとしても不安が大きい。(本人:女性・20～29 歳・身体障害者手帳) |
| ➤ 医療機関に連絡ができるようにしてほしい。薬がないと生命にかかわります。(本人:女性・50～59 歳・身体障害者手帳)                                  |

### ■ その他

- |                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------|
| ➤ 災害時の対応については、特に考えていませんでしたが、実際にあった場合はどうしたら良いのかわかりません。(子ども:女性・70～74 歳・身体障害者手帳) |
| ➤ 避難用品を一式用意して欲しい。(本人:女性・身体障害者手帳)                                              |
| ➤ 近くの川の増水がこわい。ポンプ等はあるても動くか不安です。(本人:女性・60～64 歳・身体障害者手帳)                        |

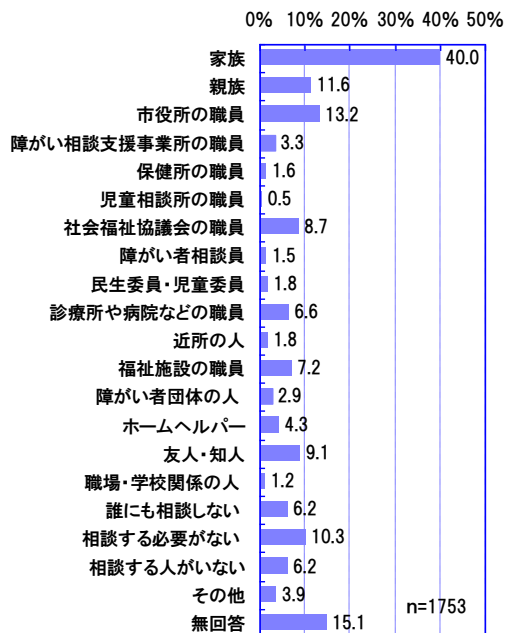
## 12. 相談先などについて

### (1) 悩み事や困った時の相談相手(複数回答)【問34】



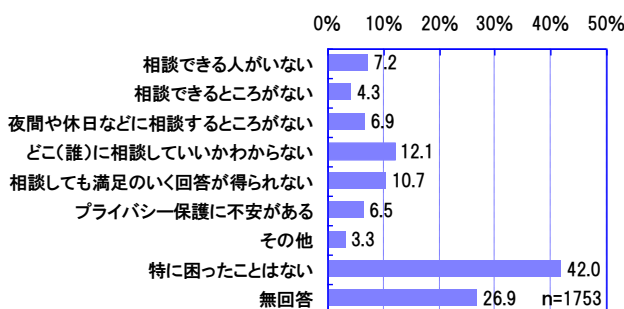
「家族」が 64.7%と最も多く、次いで、「親族」が 25.0%、「友人・知人」が 19.2%などとなっています。

### (2) 福祉サービスの利用についての相談相手(複数回答)【問35】



無回答を除き、「家族」が 40.0%と最も多く、次いで、「市役所の職員」が 13.2%、「親族」が 11.6%などとなっています。

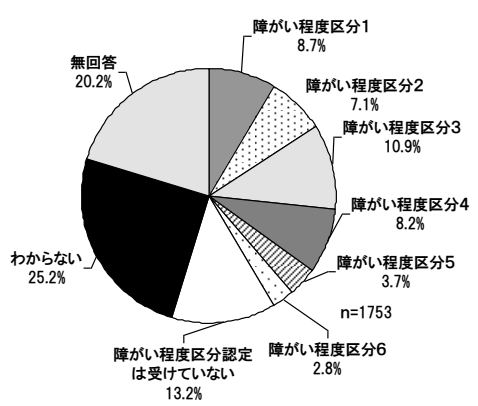
### (3) 相談について困ること(複数回答)【問36】



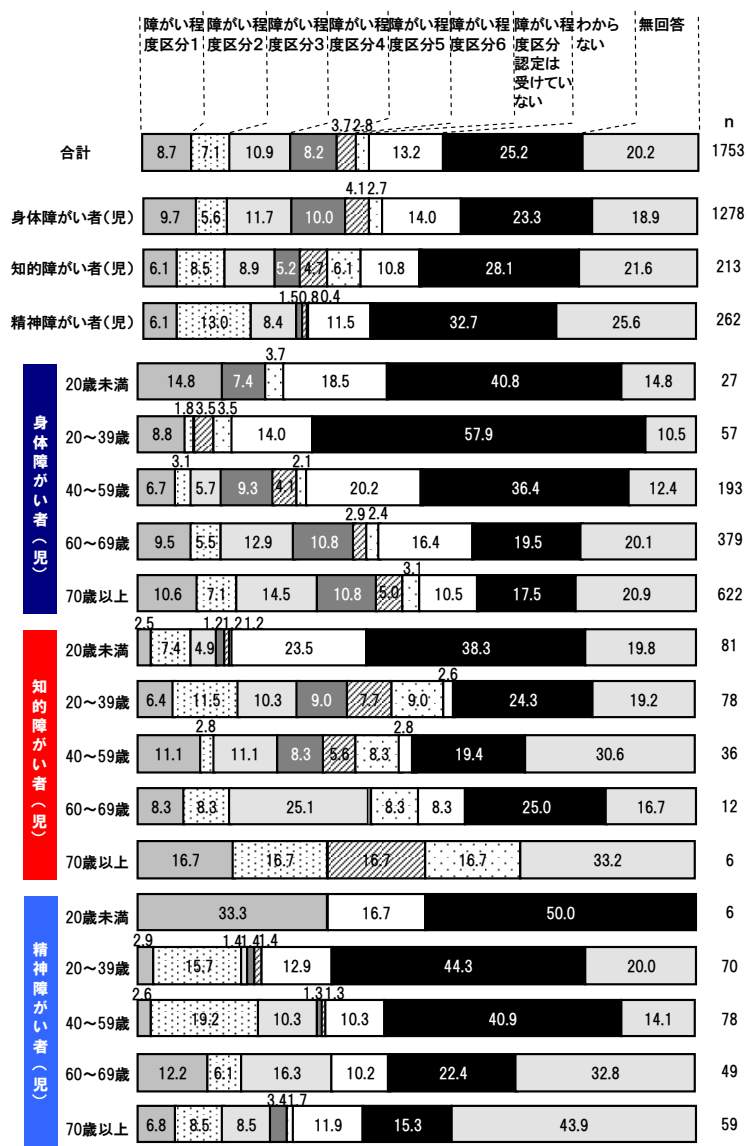
無回答を除き、「特に困ったことはない」が 42.0%と最も多く、次いで、「どこ(誰)に相談していいかわからない」が 12.1%、「相談しても満足いく回答が得られない」が 10.7%などとなっています。

# 13. 福祉サービスの利用状況と今後の利用意向について

## (1)障がい程度区分【問37】



全体では、無回答を除き、「わからない」が25.2%と最も多く、次いで、「障害程度区分認定は受けていない」が13.2%、「区分3」が10.9%などとなっています。

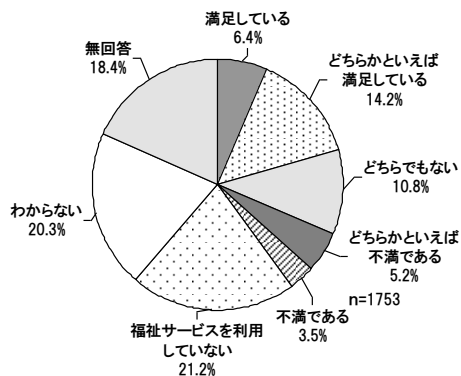


「障害程度区分認定は受けていない」割合では、身体障がい者(児)が14.0%、知的障がい者(児)が10.8%、精神障がい者(児)が11.5%となっています。

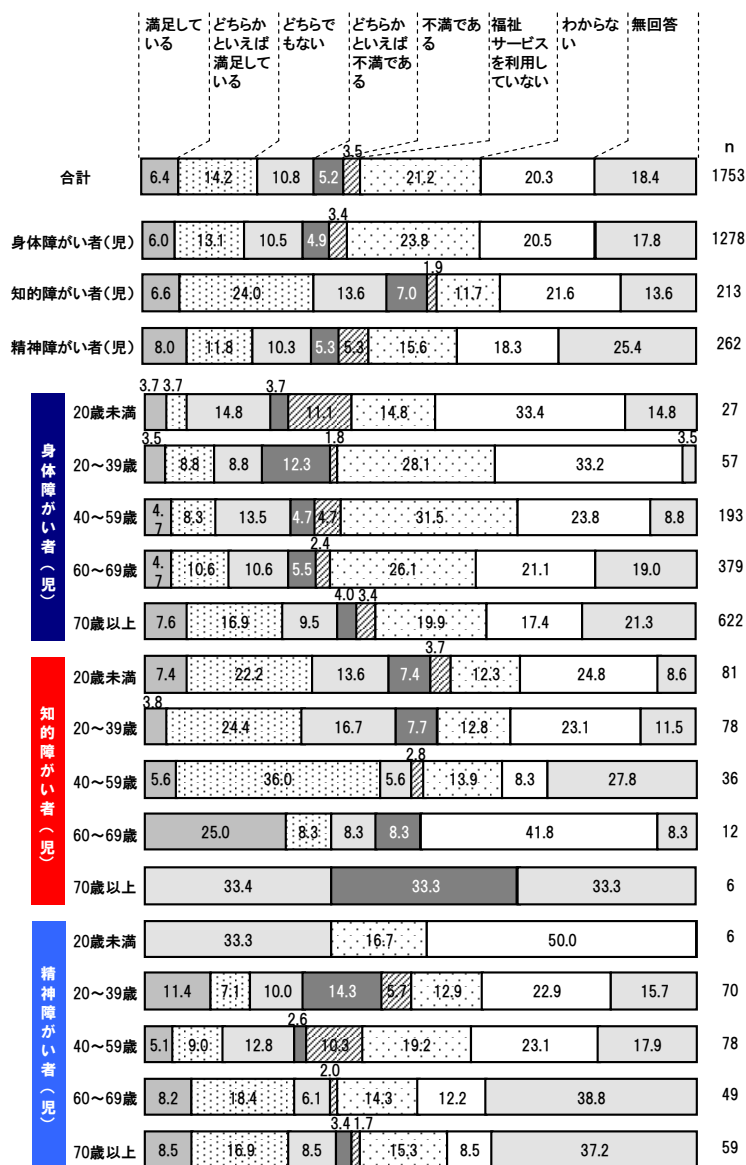
「障害程度区分認定は受けていない」割合では、知的障がい者(児)の20歳未満が23.5%と最も多く、次いで身体障がい者(児)の40~59歳が20.2%、身体障がい者(児)の20歳未満が18.5%などとなっています。

※20歳未満の「障害程度区分認定は受けていない」割合が高い理由として、18歳未満の障がい児には、障害程度区分を設けないことが挙げられる。

## (2)福祉サービスの内容の満足度【問38】



全体では、“満足している”割合(「満足している」+「どちらかといえば満足している」を合わせた割合)が20.6%、“不満である”割合(「不満である」+「どちらかといえば不満である」を合わせた割合)が8.7%などとなっています。



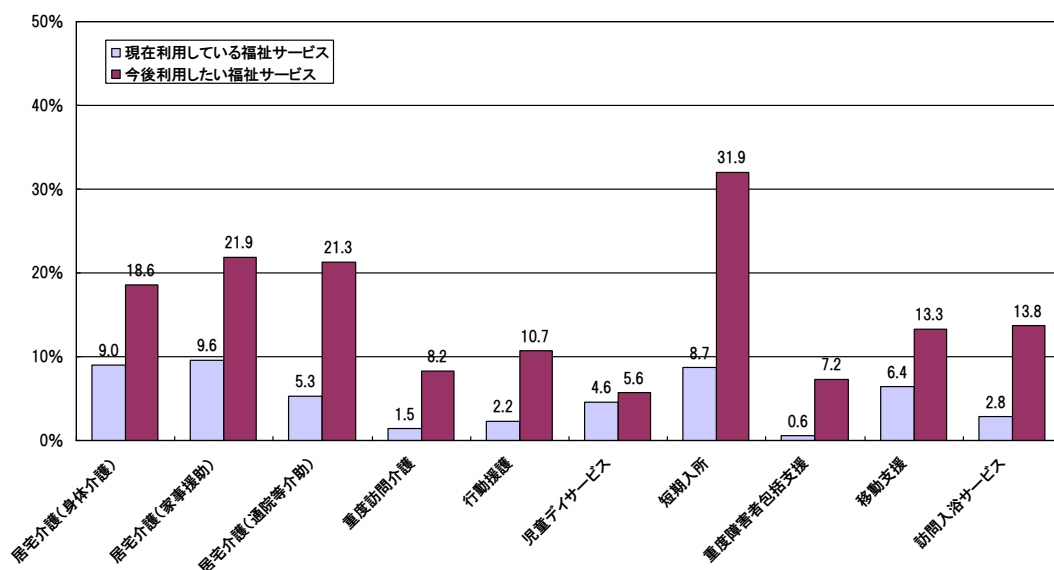
“不満である”割合では、身体障がい者(児)が8.3%、知的障がい者(児)が8.9%、精神障がい者(児)が10.6%となっています。

“不満である”割合では、知的障がい者(児)の70歳以上が33.3%と最も多く、次いで、精神障がい者(児)の20~39歳が20.0%、身体障がい者(児)の20歳未満が14.8%などとなっています。

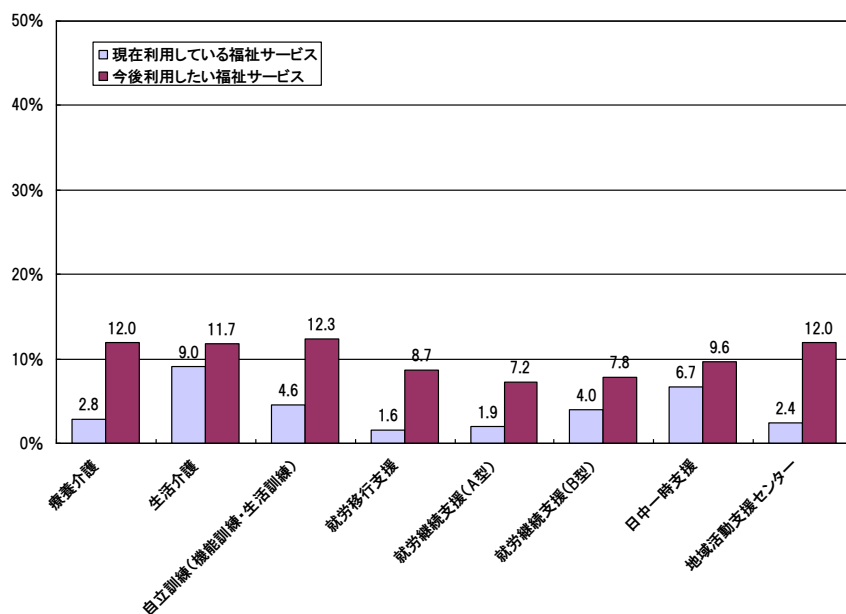
### (3)福祉サービスの利用状況と利用意向(複数回答:無回答を除く)【問39】

障がい福祉サービスの利用状況と利用意向の比較では、「短期入所」が 23.2 ポイント増、「相談支援」が 19.6 ポイント増、「居宅介護(通院等介助)」が 16.0 ポイント増、「居宅介護(家事援助)」が 12.3 ポイント増、「施設入所支援」が 11.7 ポイント増、「訪問入浴サービス」が 11.0 ポイント増などとなっています。

#### 訪問系・その他

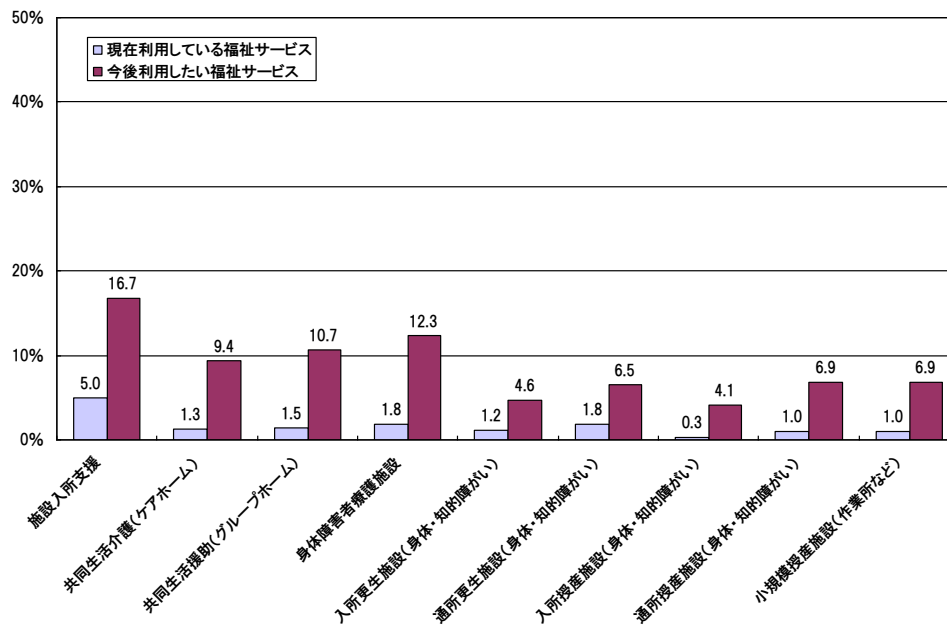


#### 日中活動系

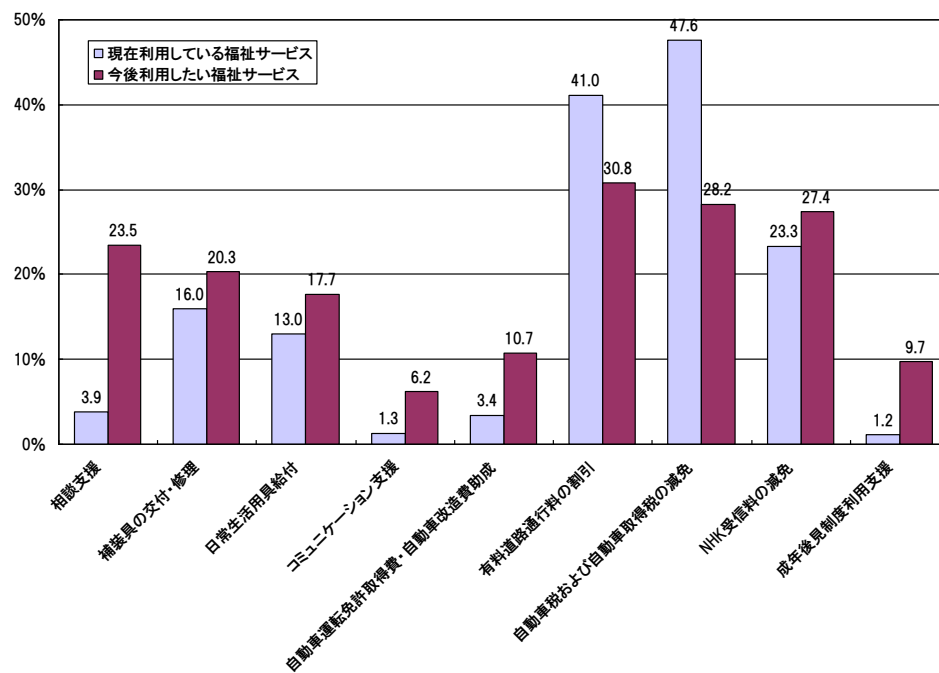




## 居住系・旧法施設等支援

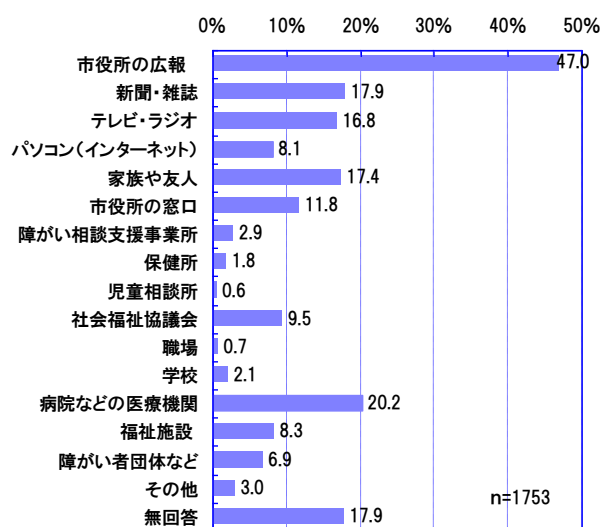


## 相談支援・各種制度



## 14. 福祉に関する情報入手について

### (1) 福祉に関する情報の入手先(複数回答)【問40】



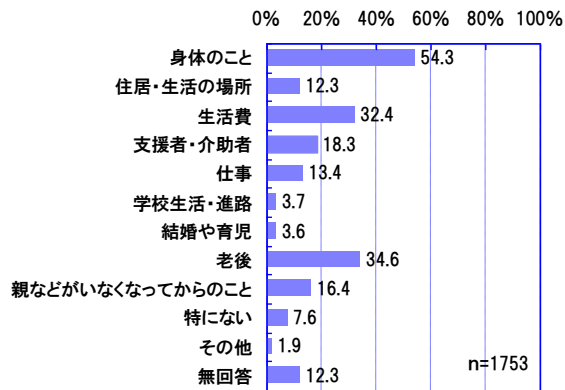
「市役所の広報」が 47.0%と最も多く、次いで、「病院などの医療機関」が 20.2%、「新聞・雑誌」が 17.9%、「家族や友人」が 17.4%、「テレビ・ラジオ」が 16.8%などとなっています。

### (主なその他記入)

困っている時にどこに相談したらよいかわからない。

## 15. これからの生活について

### (1) これからの生活で不安なこと(複数回答)【問41】

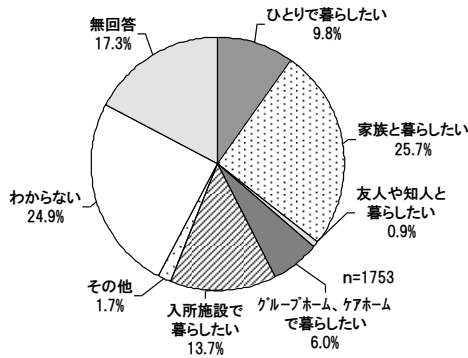


「身体のこと」が 54.3%と最も多く、次いで、「老後」が 34.6%、「生活費」が 32.4%などとなっています。

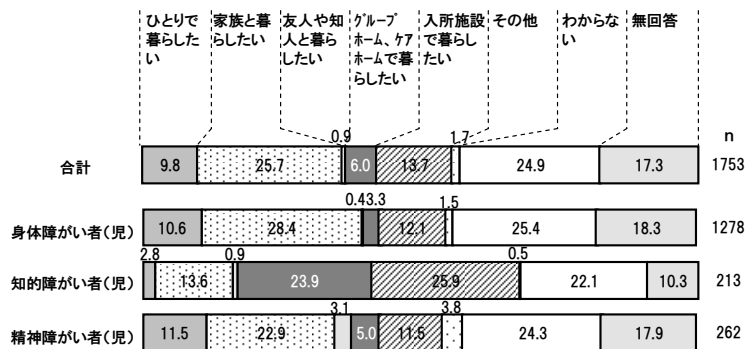
#### (主なその他記入)

- ✚ 母親が高齢なので、母親自身が介護が必要となりつつあるので、その点が悩み。
- ✚ からかわれたり、嫌がらせを受ける。
- ✚ 災害時が不安。

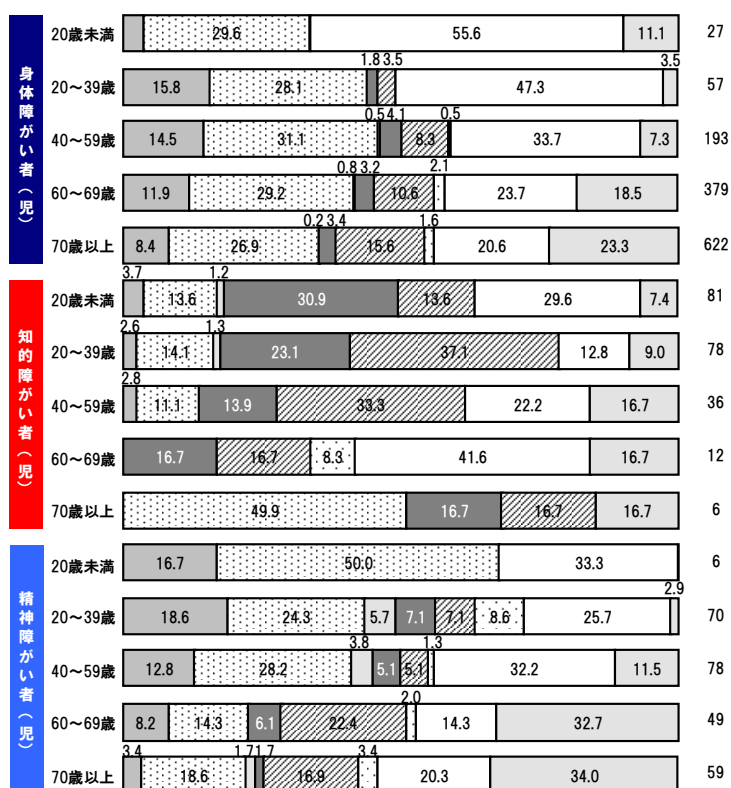
## (2) 支援者(介助者)がいなくなった後の生活【問42】



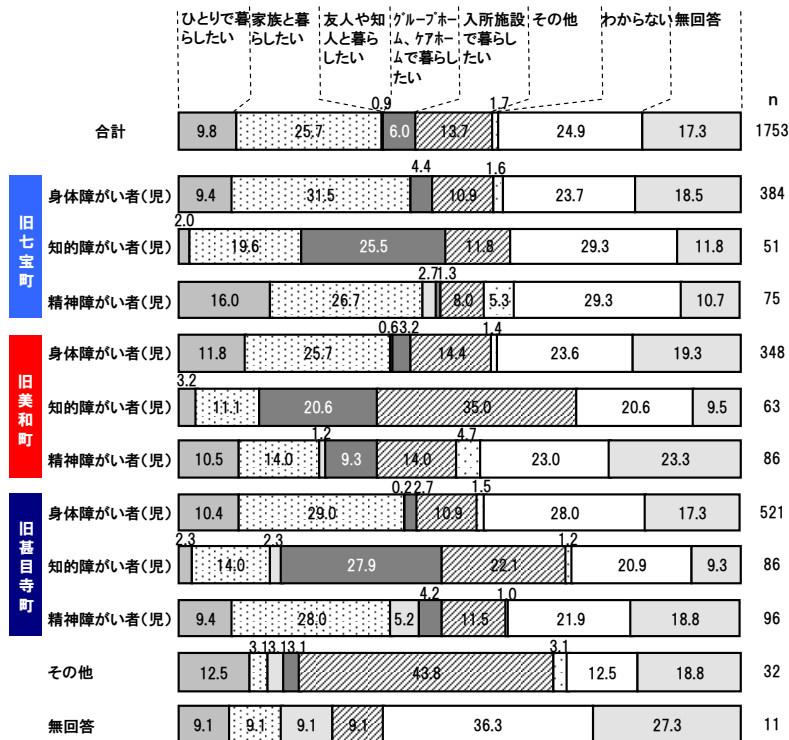
全体では、「家族と暮らしたい」が 25.7%と最も多く、次いで、「わからない」が 24.9%、「入所施設で暮らしたい」が 13.7%などとなっています。



「入所施設で暮らしたい」と「グループホーム・ケアホームで暮らしたい」割合は、ともに知的障がい者(児)が 25.9%、23.9%と多くなっています。



「家族と暮らしたい」割合では、精神障がい者(児)の 20歳未満が 50.0%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 70歳以上が 49.9%などとなっています。「入所施設で暮らしたい」割合では、知的障がい者(児)の 20~39歳が 37.1%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 40~59歳が 33.3%などとなっています。「グループホームやケアホームで暮らしたい」割合では、知的障がい者(児)の 20歳未満が 30.9%と最も多く、次いで、知的障がい者(児)の 20~39歳が 23.1%などとなっています。



「家族と暮らしたい」割合では、旧七宝町の身体障がい者(児)が31.5%と最も多く、次いで、旧甚目寺町の身体障がい者(児)が29.0%、旧甚目寺町の精神障がい者(児)が28.0%などとなっています。「入所施設で暮らしたい」割合では、そのほか43.8%と最も多く、次いで、旧美和町の知的障がい者(児)が35.0%などとなっています。また、「グループホーム・ケアホームで暮らしたい」割合では、旧甚目寺町の知的障がい者(児)が27.9%と最も多く、次いで、旧七宝町の知的障がい者(児)が25.5%、旧美和町の知的障がい者(児)が20.6%などとなっています。

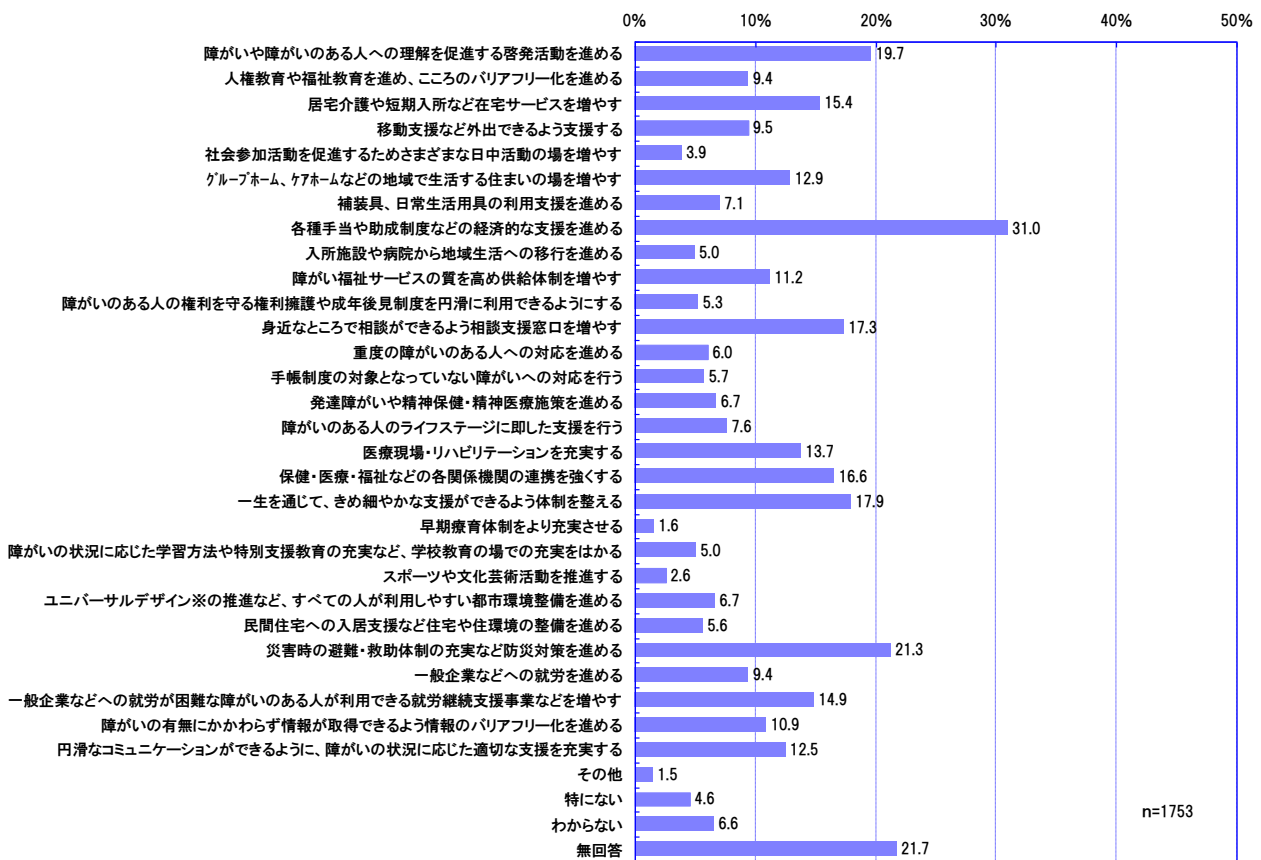
### (主なその他記入)

- ✚ 結婚生活がしたい。
- ✚ その時になって家族と話し合いをしたい。
- ✚ ホームヘルパー、家政婦等の支援を受け、委託で暮らしたい。それができない様な、身体機能になれば施設へ入るしかないと思う。
- ✚ 考えたくない。

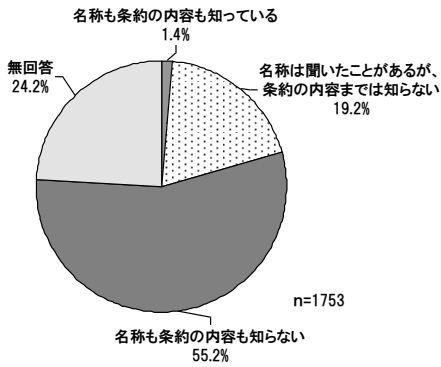
## 16. 今後の障がい福祉施策について

### (1) 今後の障がい福祉施策について(複数回答)【問43】

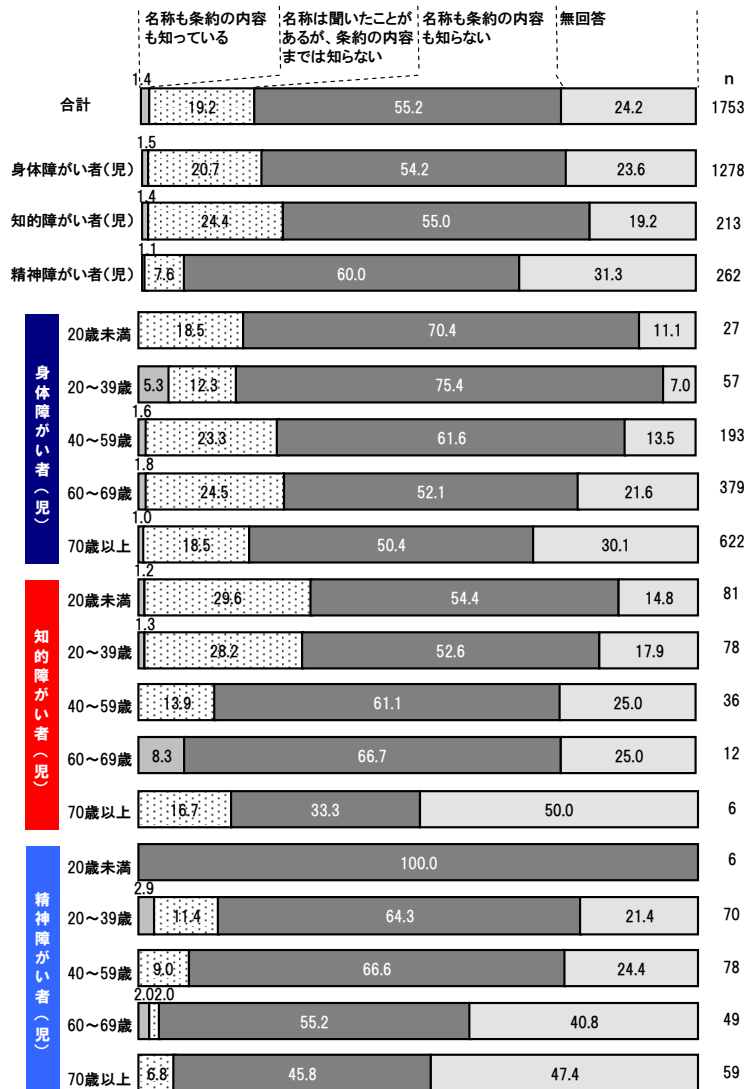
無回答を除き、「各種手当や助成制度などの経済的な支援を進める」が 31.0%と最も多く、次いで、「災害時の避難・救助体制の充実など防災対策を進める」が 21.3%、「障がいや障がいのある人への理解を促進する啓発活動を進める」が 19.7%、「一生を通じて、きめ細やかな支援ができるよう体制を整える」が 17.9%、「身近なところで相談ができるよう相談支援窓口を増やす」が 17.3%、「保健・医療・福祉などの各関係機関の連携を強くする」が 16.6%などとなっています。



## (2)「障がい者権利条約」について【問44】



全体では、「名称も条約の内容も知らない」が 55.2% を占めています。



「名称も条約の内容も知らない」割合では、身体障がい者(児)が 54.2%、知的障がい者(児)が 55.0%、精神障がい者(児)が 60.0% となっています。

「名称も条約の内容も知らない」割合では、精神障がい者(児)の 20 歳未満が 100.0%、身体障がい者(児)の 20~39 歳が 75.4%、20 歳未満が 70.4% などとなっています。

## 17. 障がい福祉施策に関するご意見やご要望など(自由記入)

記載内容別に、主なものを掲載します。( )内は、(記入者:本人性別・年齢・手帳所持者別)を表します。

### ■ 福祉サービスや施設等の要望

- |                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>➤ あま市内に入所施設をお願いします。家族に何かあった場合、日頃から慣れさせて、安心してお願いできる施設が近くにあれば良いと思います。他の市にお願いするのではなく、あま市にあれば地域の方にも身近で理解もして頂けるようになると思います。お願いします。(母親:女性・30~39歳・身体障害者手帳・療育手帳)</p>                                                                            |
| <p>➤ 障がい者が働くことのできる福祉施設は、だんだんと定員になりつつあり、わが子が働くようになる頃は、希望するところでは働くことができなくなるのではないかと思い、とても心配しています。みんなが安心して働ける施設をぜひ作ってほしいと思います。親なき後のグループホーム等もだんだんと作っていただきたいと思います。どうぞ、ご自分の子供の事だったらと思って、考えていただきたいと思います。よろしく願いいたします。(母親:女性・6~14歳・療育手帳)</p>        |
| <p>➤ 入所施設へ入ることができ、親もほっとしています。子供も月に2回外泊してきますが、帰る前日には持ち物の整理をして、当日には喜んで行きます。仕事はあまりありませんが、玉ねぎの皮むきが大好きです。ありがとうございました。父81歳、母72歳。(母親:女性・40~49歳・療育手帳)</p>                                                                                         |
| <p>➤ 数年間で福祉サービスはかなり充実してきたと思いますが、まだまだ枠だけで中身が伴っていなかったりということもありますので、これからは「質」の向上を考えていく時期と思います。サービスが充実してくると、逆にしっかりとした親子関係ができる前に他人に任せる事ができすぎて、親が子供の障がいを受け入れできないままになってしまうというマイナス面もあると思います。あまり小さいうちからのサービスの多用は注意すべきだと思います。(母親:男性・15~17歳・療育手帳)</p> |



## ■ 福祉のまちづくり、福祉施策に関すること

- あま市は先駆的などところを見習って、行政・親・支援者と協力して障がいをもった人が生まれてから命がなくなるまで安心してすごせる体制を確立することを要望致します。私はできることは協力していきますので、声をかけてほしい。発達障がいは外見ではわかりづらい障がいです。障がいを持った親たちは、周囲からつめたい視線をとてもしんどく受けとめています。もっと周囲の理解ができるよう、啓発活動をしているグループがあるので、協力して周知してもらえると良いと思います。今回の震災のように集団ですごさなければならぬ場合は、同じ敷地内でもいいが場所だけは完全に別にしてほしい。老人とも別がいいです。支援体制の強化を願います。合併したメリットが何も感じる事ができません。先日の民生委員さんの用紙も項目が少なすぎると思われます。歩けないけど初対面の人にはダメとか、発達障がいの方々はあるだけの項目では、不十分すぎます。消防の方が安否確認をされて避難させてくれようとしてもムリです。もっと 1 人ひとりにあったコメントを書く所がほしかった。空き店舗等を利用して、障がい者たちが自立できるような活動拠点となると良いと思います。(母親:男性・6～14 歳・療育手帳)
- 障がい者が安心して生活して行ける社会にさせていただくことが希望です。(本人:男性・65～69 歳・身体障害者手帳)
- 自分の意思を伝えることができない。障がい者でも一生涯住み慣れた町で、安心して暮らせるように、各関係機関が連携してサポートしてほしい。(母親:男性・20～29 歳・療育手帳)
- 障がい者への施策が現況においてほとんどであるが、支援する人に配慮した施策が極めて少ないのは非常に残念に思います。したがって支援者に対しての施策を打ち出すことにより、障がい者本人も安心感を持つと同時に、尊ばれるものと考えます。(夫または妻:女性・60～64 歳・身体障害者手帳)

## ■ 経済的援助や助成

- 3 町合併する前は、障がい者福祉タクシー料金の助成がありました。合併後は心身障がい者扶助料少し多く頂ける様になりましたが、足の悪いものにとりましては、病院へ通うのにタクシーを呼んで行く為お金がかかり、老人にはとつても出費が辛いので、以前の様にタクシー券がもらえたら有難いと思います。ぜひお願い致します。(本人:女性・80 歳以上・身体障害者手帳)
- 生活を助けてください。(お金がない)(本人:男性・65～69 歳・身体障害者手帳)
- 手当や支援金の額が少な過ぎてとてもそれだけでは生活ができない。人並みの生活ができる額になればと思います。(本人:男性・30～39 歳・精神障害者保健福祉手帳)
- 無料でいろんなことが得られるようにしてもらいたい。制限も多いがもっと幅のあるものにしてもらいたい。(夫または妻:男性・60～64 歳・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳)

## ■ 利用しやすい公共施設や道路・交通

- |                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ➤ 電車を利用したくても駅までが遠いので、交通手段を増やしてほしい(バスなど)。(本人:男性・20~29歳・身体障害者手帳)                                                                              |
| ➤ 福祉サービスを利用するため外出するが、その往復の通路がガタガタで歩道が狭く、自転車に乗って行ける安全なスペースがないので、いつも家族で心配している。転んで骨折したりしないよう、早めに補修、拡張工事をして安全確保してほしい。(本人:女性・70~74歳・精神障害者保健福祉手帳) |
| ➤ あま市病院の早期実現。(本人:男性・75~79歳・身体障害者手帳)                                                                                                         |

## ■ 役所の対応や手続きについて

- |                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ➤ 説明書の内容が分かりづらい。職員の説明不足もあり。不親切。(本人:男性・50~59歳・身体障害者手帳)                                                                                                           |
| ➤ 役場にもっと親切に人の話を聞いてほしい。アドバイスもしてほしいと思いました。(本人:女性・60~64歳・精神障害者保健福祉手帳)                                                                                              |
| ➤ 障がい者手帳など種類が多すぎて更新連絡の都度手続きしているので、障がい手帳等の一覧表があると良いと思う。家族(血縁関係のみ)の分類には入るがほとんど同居したことがない。最近、親が亡くなっているので施設と市役所が頼りで、特にあま市役所窓口の職員は皆対応が良く助かっています。(兄弟姉妹:男性・50~59歳・療育手帳) |

## ■ 就労支援

- |                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ➤ 本人は現在施設へ生活介護で通っています。軽い仕事をさせてもらっていますが、食事代にもならない工賃です。以前、私と二人で内職をしたときはかなりできました。残念に思うのはできることがあるのに仕事がないことです。(母親:男性・40~49歳・療育手帳)                                                                                      |
| ➤ 会社に障がい者を雇用しているということで手帳をコピーされましたが、実際、自分には何もメリットがないので何の為に働いているのか分からなくなることがある。会社だけでなく、雇用されている障がい者にも、世間に役に立っているんだということを何か表わしていただけたら、もっと働きたいという障がい者も増えると思います。働いてからの雇用保険も短時間の加入も進めていただきたいと思います。(本人:女性・30~39歳・身体障害者手帳) |
| ➤ 障がい者でも働きやすい環境を整えてほしい。(本人:男性・40~49歳・精神障害者保健福祉手帳)                                                                                                                                                                 |

## ■ 相談や情報提供体制

- 本人や家族は生活していくことが中心で、なかなか目が外に向かない。本人に有利に思われることは、役所からどんどん情報提供してほしい。教えてほしい。待っていることしかできないから。(父親:男性・30~39歳・身体障害者手帳・療育手帳)
- ありきたりの相談でなく何もできなくても親身な対応をお願いしたい。(本人:男性・65~69歳・身体障害者手帳)
- このアンケートで福祉サービスがいろいろあるのがわかりました。相談員、場所もいくつかあるんですね。でも何を相談していいかわからない状況でなかなかこちらから出向くことも介助中ではできません。社会福祉協議会など普段何をしているのかさっぱりです。(母親:男性・6~14歳・身体障害者手帳・療育手帳)

## ■ 日常生活の不安等

- 今は生活には大きな問題は有りませんが、これから先心配です。あくまで自分のことは自分でやって行きたいが…。人さまの手を借りるようになるかも知れません。(本人:男性・65~69歳・身体障害者手帳)
- 1年1年親も年を取り弱ってきているので、親がいなくなった後の子供の将来のことが心配です。(母親:男性・30~39歳・療育手帳)
- 身体障がい者となってから、人生に対する考えが大きく変わりました。希望が持てません。周りの人に迷惑をかけて生きることは辛いです。何か良い方法はないでしょうか。(本人:女性・50~59歳・身体障害者手帳)
- 社会福祉協議会に20年以上お世話になっており、よく助けていただいております。今後のことはとても不安です。(その他の親族:女性・80歳以上・身体障害者手帳)

## ■ 差別や偏見をなくす障害者理解や教育に関すること

- 内部障がい者だけに外観だけで健常者だと思われてしまいます。(体験上のうえの意見です)(ただし、車椅子、電動椅子以外です)(本人:男性・30~39歳・身体障害者手帳)
- 手術を受けたおかげですっかり元気になりましたが、胸に大きな傷が残っています。女の子なので、人権教育等は大変関心があり、期待しています。市の職員の方々には大変お世話になりました。とても気持ちの良い対応で、ありがとうございました。(母親:女性・0~5歳・身体障害者手帳)
- 学校で障がいに対する理解や協力等、道徳面などから教育する時間をもうけていただきたい。本人の将来の就業問題など不安です。(母親:男性・6~14歳・身体障害者手帳)

### ■ 災害時や緊急時等の安心・安全に関すること

- |                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------|
| ➤ 大きな災害が起きた場合、避難所が遠いので不安。(本人:女性・70～74 歳・身体障害者手帳)                            |
| ➤ 災害時に本人を連れて避難する方法がないので、近くの施設や病院などからの支援があるとありがたい。(夫または妻:男性・60～64 歳・身体障害者手帳) |

### ■ アンケートについて

- |                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ➤ 毎年同じようなアンケートが行われているわりに、行政にそれがフィードバックされていないように感じる。毎年行うのなら、年々少しでもなんらかの目に見えるようなアンケートで得られた意見を反映したものを、わかりやすく行政の取り組みとして見せていただきたい。(本人:男性・40～49 歳・身体障害者手帳) |
| ➤ 項目が多いアンケートは聞き取り調査にしてほしい。(本人:男性・75～79 歳・身体障害者手帳)                                                                                                    |
| ➤ 障がい福祉施策の内容のアンケートに名称も条約の内容が分からないのに、いろんな質問があって難しい問題があって、私はアンケートは初めてです。(本人:女性・40～49 歳・療育手帳)                                                           |

### ⑤その他:15 件